

いなべ市
こども計画に関するアンケート調査
結果報告書

令和7年11月
いなべ市

目 次

I アンケート調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査概要.....	1
3 報告書の見方.....	2
4 追加的な分析のための指標の作成について.....	2
II 中学2年生対象調査結果.....	4
1. あなた自身について.....	4
2. 普段の生活や居場所について.....	9
3. あなたの考えや気持ちについて.....	13
4. 将来のことや働くことについて.....	23
5. ご家庭のことについて.....	29
6. いなべ市のこども政策等について.....	32
III 高校3年生対象調査結果.....	34
1. あなた自身について.....	34
2. 普段の生活や居場所について.....	39
3. あなたの考えや気持ちについて.....	44
4. 将来のことや働くことについて.....	53
5. ご家庭のことについて.....	59
6. いなべ市のこども政策等について.....	62
IV 18～39 歳対象調査結果.....	64
1 あなた自身について.....	64
2. 普段の生活について.....	68
3. 地域社会との関係について.....	75
4. あなた自身に関する意識・考え方について.....	77
5. 相談について.....	95
6. いなべ市のこども政策等について.....	97
V 教職員・保育士対象調査結果.....	104
1. あなたの勤務状況について.....	104
2. 「こどもの権利」について.....	105
3. 就労環境と働きがいについて.....	109
VI 関係機関・団体対象調査結果.....	116
1. 機関・団体について.....	116
2. こども・若者の状況について.....	117
3. こども・若者に対する支援の状況・課題について.....	121
4. 市での取り組みについて.....	126

I アンケート調査の概要

1 調査の目的

本調査は「いなべ市こども計画」の策定にあたり、中学生・高校生及び18～39歳の市民の皆様や市内に勤務する教職員及び保育士の皆様に現在の状況や意識等、また、こども・子育てに携わる関係機関・団体の皆様に活動状況や本市に住む子ども達の様子等についてお伺いし、計画づくりの基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 調査概要

項目	中学2年生対象調査	高校3年生対象調査	18～39歳対象調査
調査対象者	市内在住の中学2年生	市内在住の高校3年生に相当する年齢の方	市内在住の18～39歳の方※
調査期間	令和7年9月29日（月）～10月13日（月）	令和7年9月29日（月）～10月13日（月）	令和7年9月29日（月）～10月13日（月）
調査方法	郵送配布・郵送回収による本人記入方式及びWEB回答方式	WEB回答方式	各種市公式SNSやホームページでの告知、WEB回答方式
配布数	382件	405件	-
有効回収数	210件	107件	197件
有効回収率	55.0%	26.4%	-

※18～39歳対象調査については、一部市外在住者と思われる回答もありましたが、いなべ市の関係人口と想定し集計に含めています。

項目	教職員対象調査	保育士対象調査	関係機関・団体対象調査
調査対象者	市内に勤務する教職員の方	市内に勤務する保育士の方	市内で活動する関係機関・団体の方
調査期間	令和7年9月29日（月）～10月13日（月）	令和7年9月29日（月）～10月13日（月）	令和7年9月29日（月）～10月13日（月）
調査方法	WEB回答方式	WEB回答方式	WEB回答方式
配布数	287件	206件	50件
有効回収数	155件	107件	30件
有効回収率	54.0%	51.9%	60.0%

3 報告書の見方

- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- ◇「その他」「不明・無回答」を除き、回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛けをしています。
- ◇集計対象者数（n値）が少ない（10件未満）クロス集計について、分析対象外としています。クロス集計の区分によっては、表中に集計対象者数（n値）が数件の項目なども掲載していますが、統計的な分析はできない値のため、取り扱いには注意が必要です。

4 追加的な分析のための指標の作成について

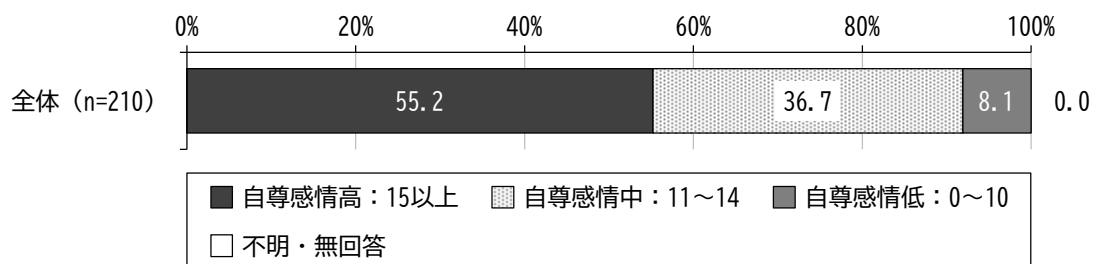
中学2年生・高校3年生・18～39歳対象調査の結果を、さらに様々な角度から分析するため、調査結果に基づいて指標を設定しています。設定する指標とその算出方法は以下のとおりです。

■自尊感情

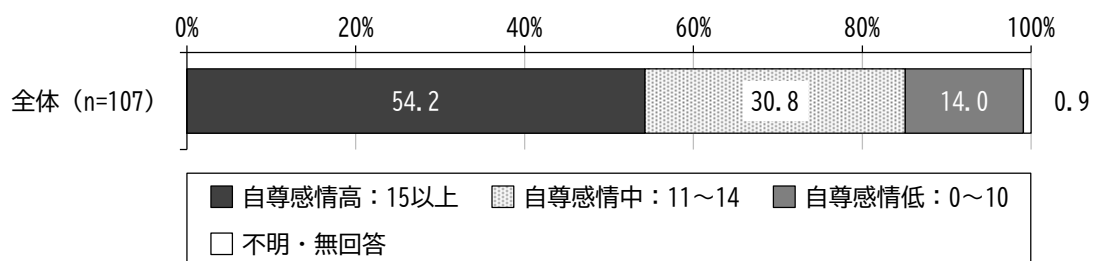
自分自身を良いところがあると自己評価できているかの指標として、自尊感情得点を設定しました。具体的には以下の質問と回答に基づいて指標を算出しています。

算出に用いる質問と回答	得点化の方法
質問：あなたの思いや気持ち（あなた自身の意識や考え方）について、最も近いものを教えてください。 ①頑張れば、いいことがある ②新しいことにチャレンジするのが好きだ ③自分は家族に大事にされている ④とても仲の良い友だちがいる ⑤自分のことが好きだ ⑥自分はだれかの役にたっている	①～⑥のそれぞれについて、回答を以下のように点数化します。 そう思う：3点 どちらかといえばそう思う：2点 どちらかといえばそう思わない：1点 そう思わない：0点 ①～⑥の点数を合算した合計得点が15点以上を自尊感情高、11～14点を中、10点以下を低とします。 ※調査結果をもとにした相対的な区分です。

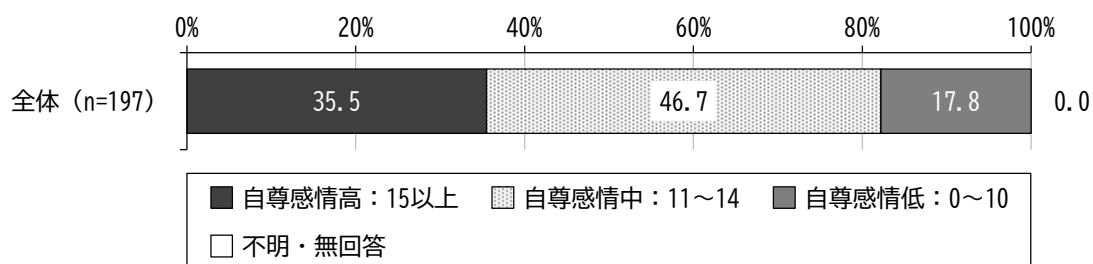
●中学2年生



●高校3年生



●18～39 歳

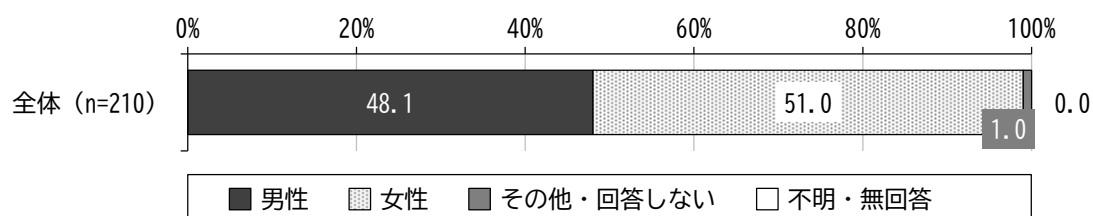


Ⅱ 中学2年生対象調査結果

1. あなた自身について

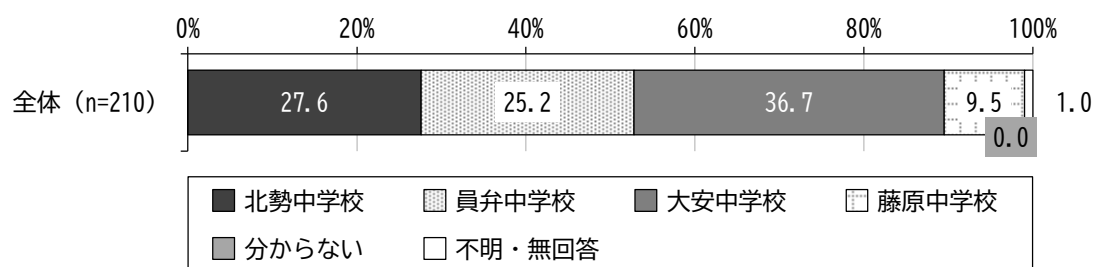
問1 あなたの性別をお答えください。(単数回答)

「男性」が48.1%、「女性」が51.0%、「その他・回答しない」が1.0%となっています。



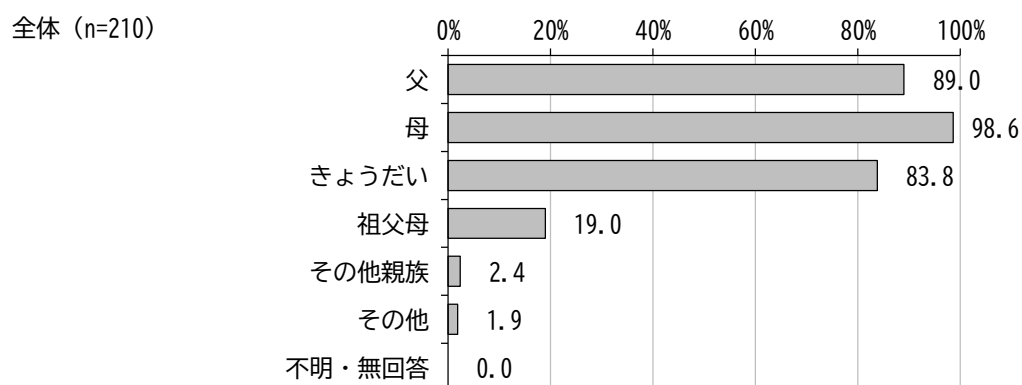
問2 あなたのお住まいの中学校区をお答えください。(単数回答)

「大安中学校」が36.7%と最も高く、次いで「北勢中学校」が27.6%、「員弁中学校」が25.2%となっています。



問3 現在、あなたと同居している方をお答えください。(複数回答)

「母」が98.6%と最も高く、次いで「父」が89.0%、「きょうだい」が83.8%となっています。



【その他回答】

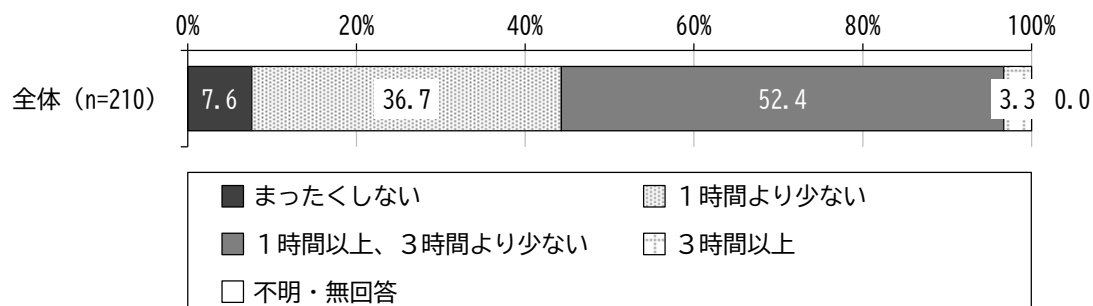
・叔父 ・ペット ・猫

問4 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどのくらいの時間勉強をしますか。

※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間を含みます。(それぞれ単数回答)

①学校がある日(月～金曜日)

「1時間以上、3時間より少ない」が52.4%と最も高く、次いで「1時間より少ない」が36.7%、「まったくしない」が7.6%となっています。



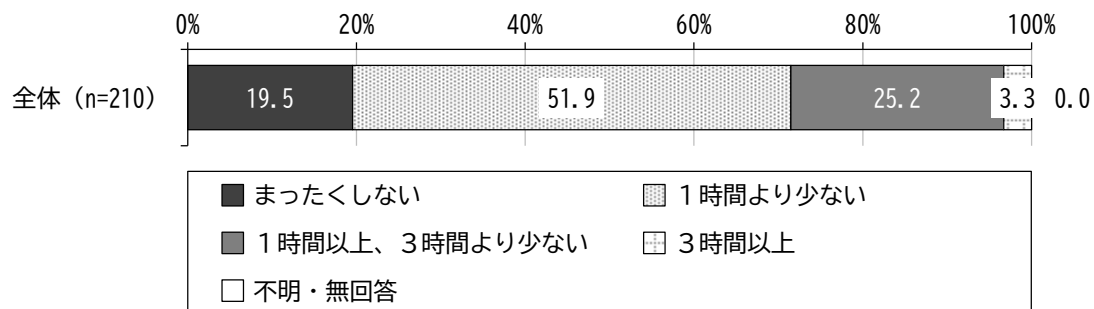
《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、[自尊感情高：15以上][自尊感情中：11～14]では「1時間以上、3時間より少ない」、[自尊感情低：0～10]では「1時間より少ない」が最も高く、「まったくしない」が他の区分と比較して高くなっています。

単位：%		まったくしない	1時間より少ない	よ1り時間 少ない以上、 3時間	3時間以上	不明・無回答
全体 (n=210)		7.6	36.7	52.4	3.3	0.0
自尊感情別	自尊感情高：15以上 (n=116)	6.0	33.6	57.8	2.6	0.0
	自尊感情中：11～14 (n=77)	6.5	36.4	53.2	3.9	0.0
	自尊感情低：0～10 (n=17)	23.5	58.8	11.8	5.9	0.0

②学校がない日（土・日曜日・祝日）

「1時間より少ない」が51.9%と最も高く、次いで「1時間以上、3時間より少ない」が25.2%、「まったくしない」が19.5%となっています。



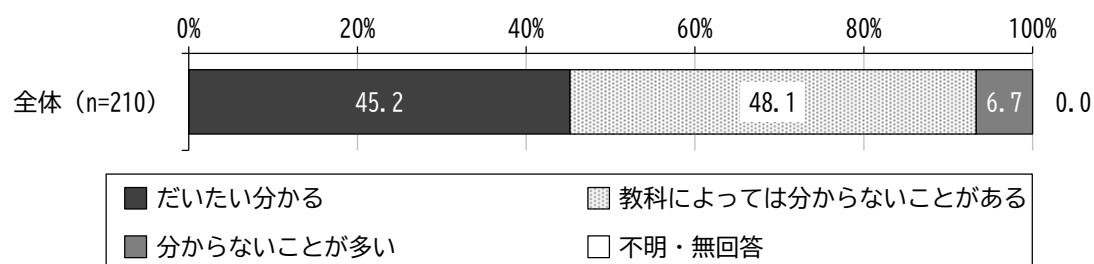
《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、すべての区分で「1時間より少ない」が最も高くなっています。〔自尊感情低：0～10〕では、「まったくしない」が他の区分と比較して高くなっています。

単位：%		まったくしない	1時間より少ない	よ1り時間 少ない以上、 3時間	3時間以上	不明・無回答
全体（n=210）		19.5	51.9	25.2	3.3	0.0
自尊感情別	自尊感情高：15以上 （n=116）	18.1	53.4	22.4	6.0	0.0
	自尊感情中：11～14 （n=77）	16.9	50.6	32.5	0.0	0.0
	自尊感情低：0～10 （n=17）	41.2	47.1	11.8	0.0	0.0

問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(単数回答)

「教科によっては分からないことがある」が48.1%と最も高く、次いで「だいたい分かる」が45.2%、「分からないことが多い」が6.7%となっています。



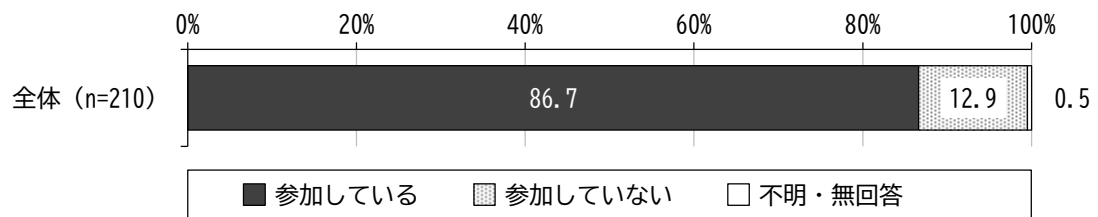
《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15以上〕では「だいたい分かる」、〔自尊感情中：11～14〕〔自尊感情低：0～10〕では「教科によっては分からないことがある」が最も高くなっています。〔自尊感情低：0～10〕では「分からないことが多い」が他の区分と比較して高くなっています。

単位：%		だいたい分かる	教科によっては分からないことがある	分からないことが多い	不明・無回答
全体 (n=210)		45.2	48.1	6.7	0.0
自尊感情別	自尊感情高：15以上 (n=116)	58.6	39.7	1.7	0.0
	自尊感情中：11～14 (n=77)	28.6	62.3	9.1	0.0
	自尊感情低：0～10 (n=17)	29.4	41.2	29.4	0.0

問6 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。
(単数回答)

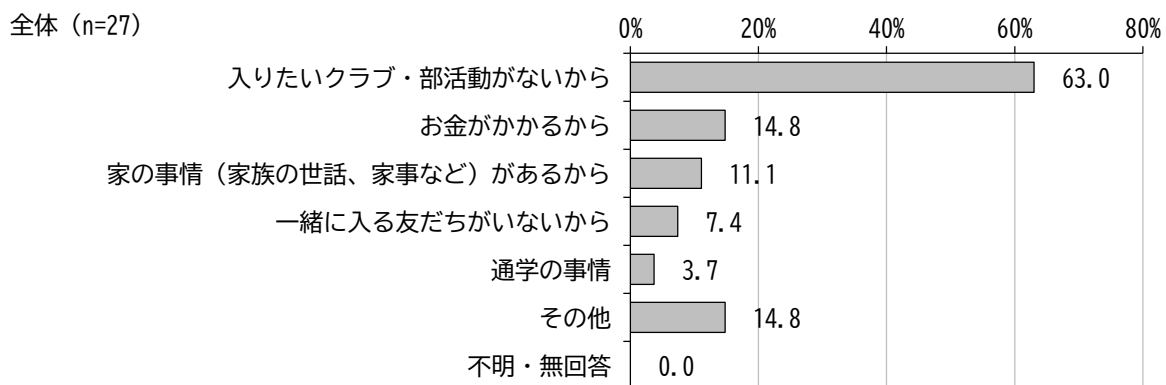
「参加している」が86.7%と、「参加していない」の12.9%を上回っています。



問6で「参加していない」を選んだ方

問7 参加していない理由は何ですか。(複数回答)

「入りたいクラブ・部活動がないから」が63.0%と最も高く、次いで「お金がかかるから」が14.8%、「家の事情（家族の世話、家事など）があるから」が11.1%となっています。



【その他回答】

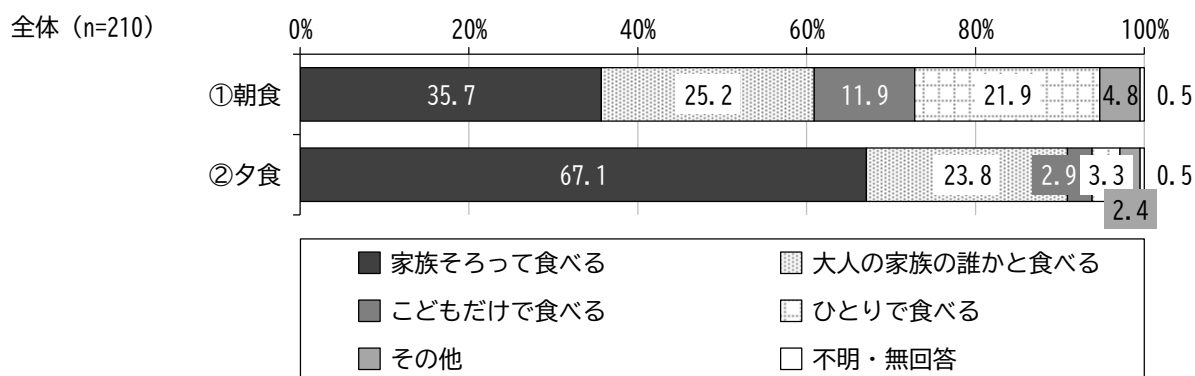
・外部で習い事 ・放課後に勉強するため ・興味が無い ・習い事を他にしているので忙しい為

2. 普段の生活や居場所について

問8 あなたは、普段誰と朝食、夕食をとることが多いですか。(①、②それぞれ単数回答)

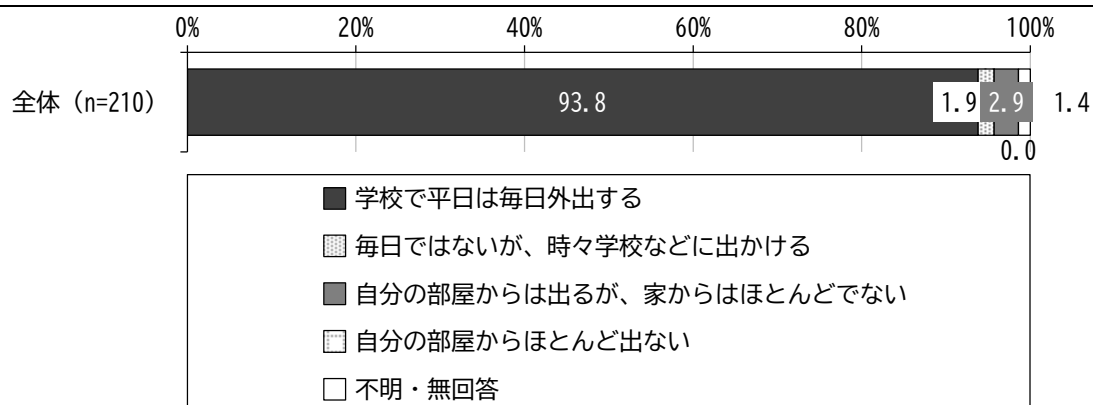
〔①朝食〕では「家族そろって食べる」が35.7%と最も高く、次いで「大人の家族の誰かと食べる」が25.2%、「ひとりで食べる」が21.9%となっています。

〔②夕食〕では「家族そろって食べる」が67.1%と最も高く、次いで「大人の家族の誰かと食べる」が23.8%、「ひとりで食べる」が3.3%となっています。



問9 あなたは普段、どのくらい外出していますか。(単数回答)

「学校で平日は毎日外出する」が93.8%と最も高く、次いで「自分の部屋からは出るが、家からはほとんどでない」が2.9%、「毎日ではないが、時々学校などに出かける」が1.9%となっています。



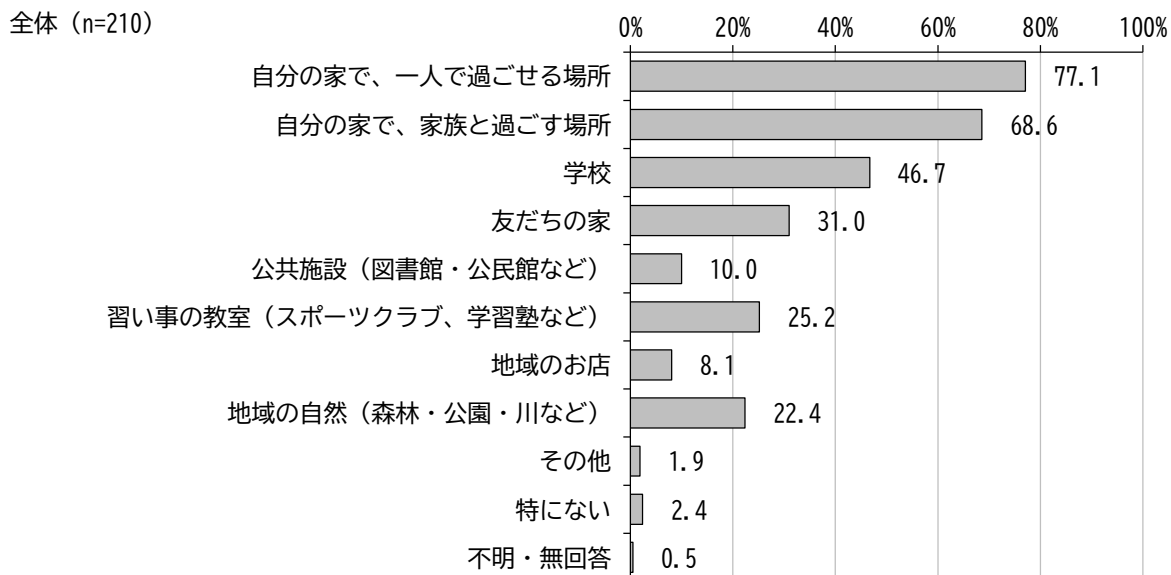
問9で「毎日ではないが、時々学校などに出かける」～「自分の部屋からほとんど出ない」を選んだ方
問10 今の状態となった思い当たるきっかけはありますか。(複数回答)

「理由が分からない」が50.0%（5件）と最も高く、次いで「学校へ行きにくくなった」が30.0%（3件）となっています。

全体（n=10）	件数	%
学校へ行きにくくなった	3	30.0
友人との関係がうまくいかなかった	0	0.0
家族との関係がうまくいかなかった	0	0.0
その他	0	0.0
理由が分からない	5	50.0
不明・無回答	2	20.0

問11 あなたが気楽にいられる場所はどこなところですか。(複数回答)

「自分の家で、一人で過ごせる場所」が77.1%と最も高く、次いで「自分の家で、家族と過ごす場所」が68.6%、「学校」が46.7%となっています。



【その他回答】

・ゲームセンター ・猫がいるところ ・空がきれいに見えるところ ・母親の実家

《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15以上〕では「自分の家で、家族と過ごす場所」、〔自尊感情中：11～14〕〔自尊感情低：0～10〕では「自分の家で、一人で過ごせる場所」が最も高くなっています。

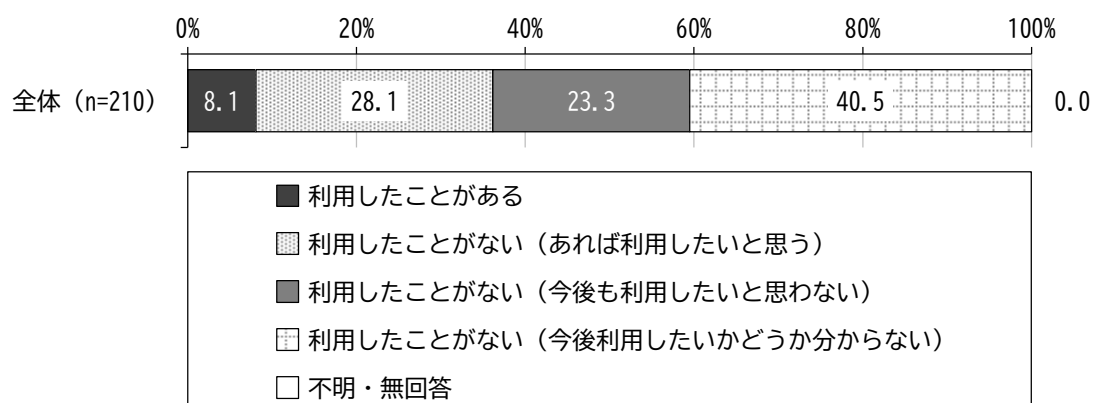
また、〔自尊感情高：15以上〕〔自尊感情中：11～14〕では自分の家が上位2項目となっていますが、〔自尊感情低：0～10〕では「地域のお店」「地域の自然（森林・公園・川など）」が2番目に高くなっています。

単位：％		自分の家で、一人で過ごす場所	自分の家で、家族と過ごす場所	学校	友だちの家	公共施設（図書館・公民館など）	習い事の教室（スポーツクラブ、学習塾など）	地域のお店	地域の自然（森林・公園・川など）	その他	特になし	不明・無回答
全体（n=210）		77.1	68.6	46.7	31.0	10.0	25.2	8.1	22.4	1.9	2.4	0.5
自尊感情別	自尊感情高：15以上（n=116）	73.3	81.0	63.8	35.3	12.9	31.0	7.8	30.2	2.6	1.7	0.0
	自尊感情中：11～14（n=77）	77.9	62.3	28.6	29.9	6.5	22.1	6.5	11.7	1.3	3.9	1.3
	自尊感情低：0～10（n=17）	100.0	11.8	11.8	5.9	5.9	0.0	17.6	17.6	0.0	0.0	0.0

問12 あなたは、次の①～③のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。（それぞれ単数回答）

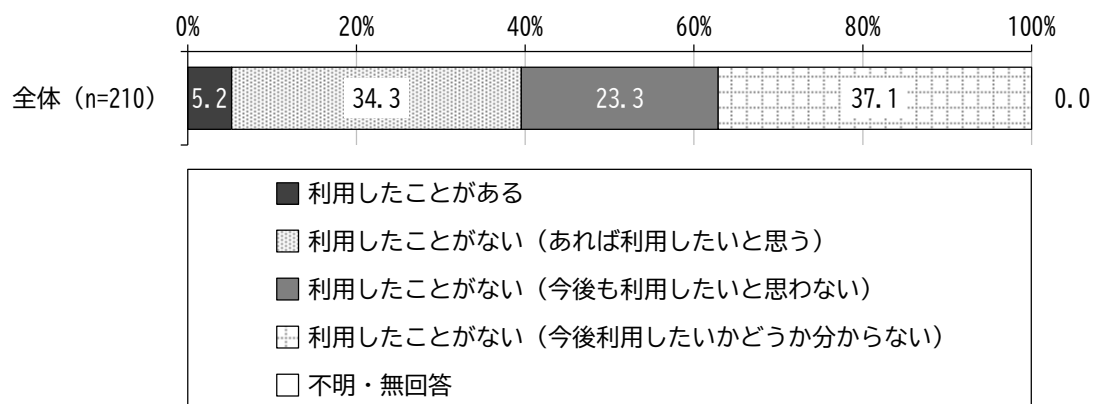
①（自分や友人の家以外で）食事を無料か安く食べることができる場所（こども食堂など）

「利用したことがない（今後利用したいかどうか分からない）」が40.5%と最も高く、次いで「利用したことがない（あれば利用したいと思う）」が28.1%、「利用したことがない（今後も利用したいと思わない）」が23.3%となっています。



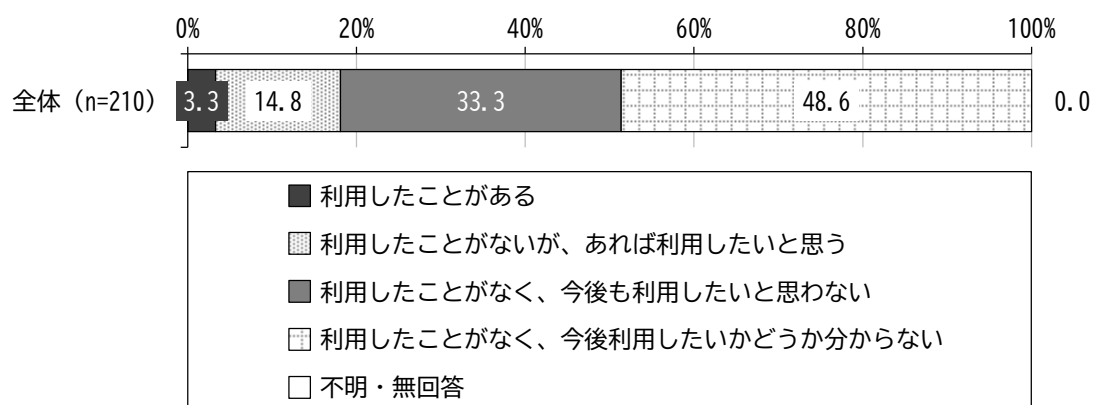
②勉強を無料で教えてくれる場所

「利用したことがない（今後利用したいかどうか分からない）」が 37.1%と最も高く、次いで「利用したことがない（あれば利用したいと思う）」が 34.3%、「利用したことがない（今後も利用したいと思わない）」が 23.3%となっています。



③（家や学校以外で）何でも相談できる場所（電話やネットの相談を含む）

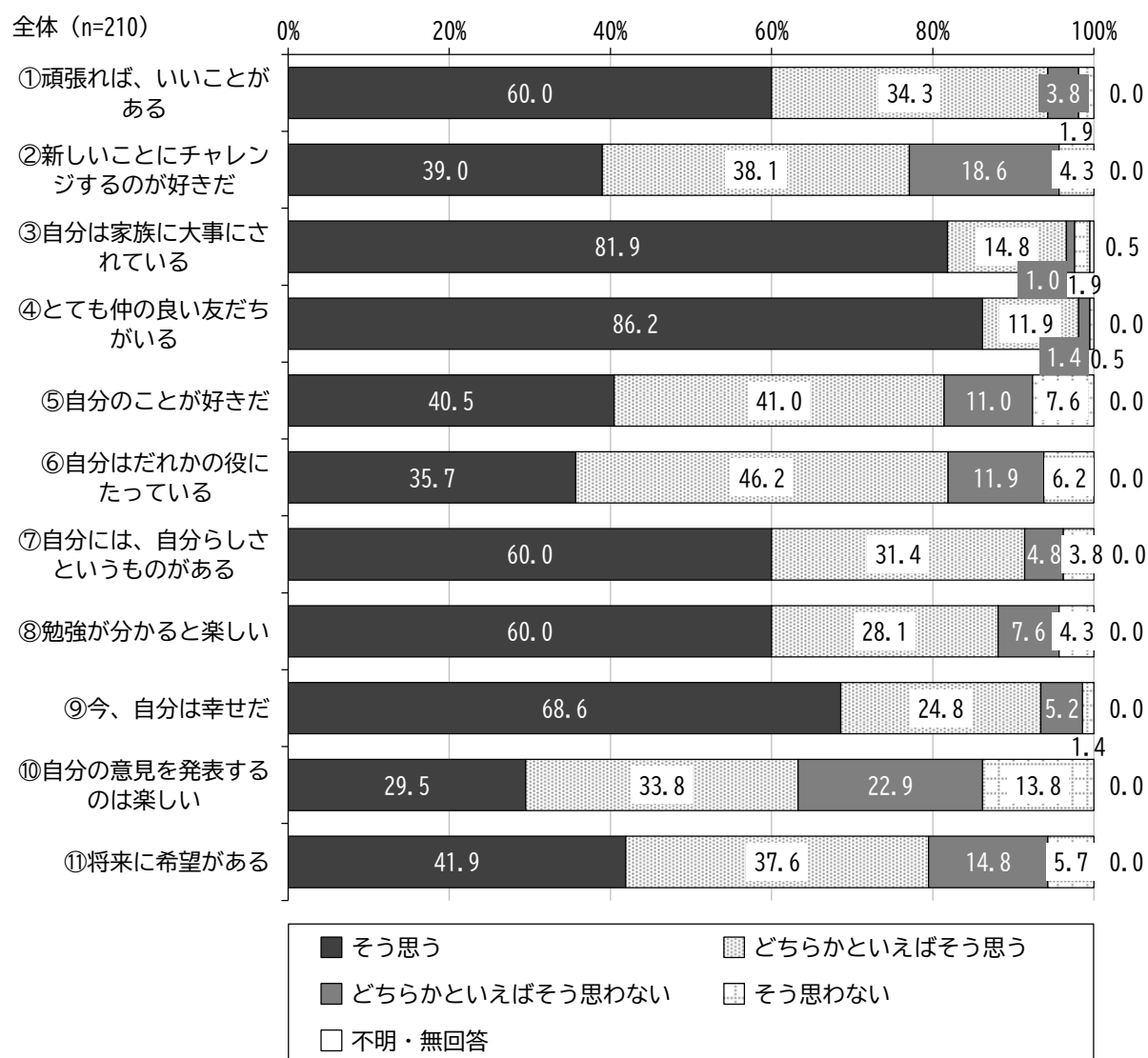
「利用したことがなく、今後利用したいかどうか分からない」が 48.6%と最も高く、次いで「利用したことがなく、今後も利用したいと思わない」が 33.3%、「利用したことがないが、あれば利用したいと思う」が 14.8%となっています。



3. あなたの考えや気持ちについて

問 13 あなたの思いや気持ちについて、最も近いものを教えてください。(それぞれ単数回答)

『思う』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)では、[①頑張れば、いいことがある] [③自分は家族に大事にされている] [④とても仲の良い友だちがいる] [⑦自分には、自分らしさというものがある] [⑨今、自分は幸せだ] で9割以上と高くなっている一方、[⑩自分の意見を発表するのは楽しい] は6割台となっており、他の項目と比較して低くなっています。



①頑張れば、いいことがある《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15以上〕では、「そう思う」が最も高くなっています。〔自尊感情中：11～14〕〔自尊感情低：0～10〕では、「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。〔自尊感情低：0～10〕では、「そう思わない」が他の区分と比較して高くなっています。

単位：％		そう 思う	ばど そち うら 思か うと いえ	ばど そち うら 思か わと ない え	そう 思わ ない	不明 ・ 無回 答
全体（n=210）		60.0	34.3	3.8	1.9	0.0
自尊感情別	自尊感情高：15以上 （n=116）	87.1	12.9	0.0	0.0	0.0
	自尊感情中：11～14 （n=77）	31.2	64.9	3.9	0.0	0.0
	自尊感情低：0～10 （n=17）	5.9	41.2	29.4	23.5	0.0

②新しいことにチャレンジするのが好きだ《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15以上〕では、「そう思う」、〔自尊感情中：11～14〕では、「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。〔自尊感情低：0～10〕では、「どちらかといえばそう思わない」が最も高く、「そう思わない」が他の区分と比較して高くなっています。

単位：％		そう 思う	ばど そち うら 思か うと いえ	ばど そち うら 思か わと ない え	そう 思わ ない	不明 ・ 無回 答
全体（n=210）		39.0	38.1	18.6	4.3	0.0
自尊感情別	自尊感情高：15以上 （n=116）	63.8	35.3	0.9	0.0	0.0
	自尊感情中：11～14 （n=77）	7.8	48.1	37.7	6.5	0.0
	自尊感情低：0～10 （n=17）	11.8	11.8	52.9	23.5	0.0

④とても仲の良い友だちがいる《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、いずれの区分も「そう思う」が最も高くなっています。〔自尊感情低：0～10〕では、「そう思う」が約5割と他の区分と比較して低くなっています。

単位：％		そう 思う	ばど そち うら 思か うと いえ	ばど そち うら 思か わと ない え	そう 思わ ない	不 明・ 無 回 答
全体（n=210）		86.2	11.9	1.4	0.5	0.0
自尊 感情 別	自尊感情高：15以上 （n=116）	95.7	4.3	0.0	0.0	0.0
	自尊感情中：11～14 （n=77）	79.2	18.2	1.3	1.3	0.0
	自尊感情低：0～10 （n=17）	52.9	35.3	11.8	0.0	0.0

⑨今、自分は幸せだ《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15以上〕〔自尊感情中：11～14〕では、「そう思う」が最も高くなっています。〔自尊感情低：0～10〕では、「どちらかといえばそう思わない」が最も高く、「そう思わない」が他の区分と比較して高くなっています。

単位：％		そう 思う	ばど そち うら 思か うと いえ	ばど そち うら 思か わと ない え	そう 思わ ない	不 明・ 無 回 答
全体（n=210）		68.6	24.8	5.2	1.4	0.0
自尊 感情 別	自尊感情高：15以上 （n=116）	87.9	12.1	0.0	0.0	0.0
	自尊感情中：11～14 （n=77）	53.2	41.6	3.9	1.3	0.0
	自尊感情低：0～10 （n=17）	5.9	35.3	47.1	11.8	0.0

⑩自分の意見を発表するのは楽しい《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15以上〕では、「そう思う」、〔自尊感情中：11～14〕では、「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。〔自尊感情低：0～10〕では、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が最も高くなっています。

単位：％		そう 思う	ばど そち うら 思か うと いえ	ばど そち うら 思か わと ない え	そう 思わ ない	不 明・ 無 回 答
全体（n=210）		29.5	33.8	22.9	13.8	0.0
自 尊 感 情 別	自尊感情高：15以上 （n=116）	48.3	36.2	12.9	2.6	0.0
	自尊感情中：11～14 （n=77）	7.8	36.4	32.5	23.4	0.0
	自尊感情低：0～10 （n=17）	0.0	5.9	47.1	47.1	0.0

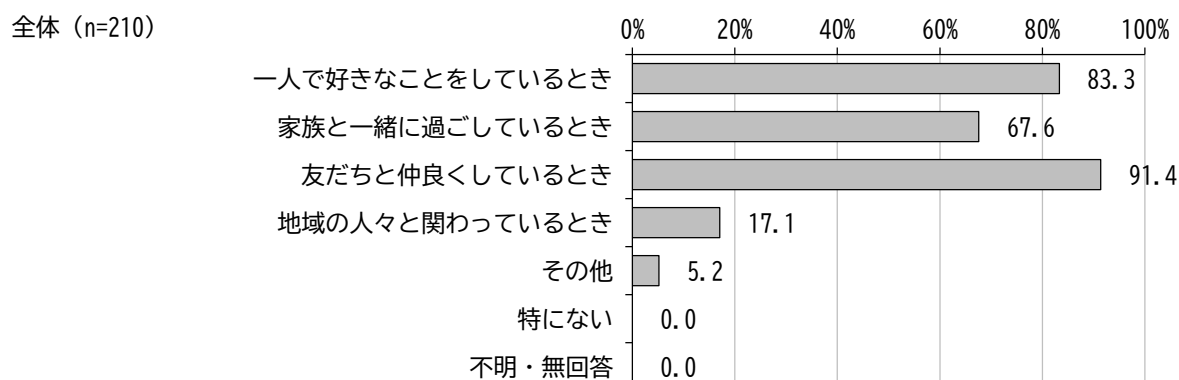
⑪将来に希望がある《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15以上〕では、「そう思う」、〔自尊感情中：11～14〕では、「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。〔自尊感情低：0～10〕では、「そう思わない」が最も高くなっています。

単位：％		そう 思う	ばど そち うら 思か うと いえ	ばど そち うら 思か わと ない え	そう 思わ ない	不 明・ 無 回 答
全体（n=210）		41.9	37.6	14.8	5.7	0.0
自 尊 感 情 別	自尊感情高：15以上 （n=116）	58.6	36.2	5.2	0.0	0.0
	自尊感情中：11～14 （n=77）	23.4	42.9	26.0	7.8	0.0
	自尊感情低：0～10 （n=17）	11.8	23.5	29.4	35.3	0.0

問 14 あなたが楽しいと感じるのはどんなときですか。(複数回答)

「友だちと仲良くしているとき」が91.4%と最も高く、次いで「一人で好きなことをしているとき」が83.3%、「家族と一緒に過ごしているとき」が67.6%となっています。



【その他回答】

- ・ゲームやボーリング
- ・習い事をしているとき
- ・部活をしているとき
- ・好きなことをやっているとき
- ・推し活をしているとき
- ・野球をしとる時
- ・体育館にいるとき
- ・習い事をしている時
- ・部活
- ・出来なかったことができるようになった時
- ・走ってる時

《クロス集計》自尊感情別

〔自尊感情高：15以上〕〔自尊感情中：11～14〕では、「友だちと仲良くしているとき」が最も高くなっています。〔自尊感情低：0～10〕では、「一人で好きなことをしているとき」が最も高く、「友だちと仲良くしているとき」が他の区分と比較して低くなっています。

単位：%		きと一 をしで て好 いき るな とこ	ご家 族と い一 る緒 とに き過	し友 てだ いち ると と仲 き良 く	わ地 つ域 ての い人 る々 とき 関	そ の 他	特 に な い	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=210)		83.3	67.6	91.4	17.1	5.2	0.0	0.0
自尊感情別	自尊感情高：15以上 (n=116)	81.0	74.1	94.8	23.3	9.5	0.0	0.0
	自尊感情中：11～14 (n=77)	85.7	67.5	89.6	11.7	0.0	0.0	0.0
	自尊感情低：0～10 (n=17)	88.2	23.5	76.5	0.0	0.0	0.0	0.0

問 15 あなたが今、興味を持っていることについて、興味が強い順に答えてください。

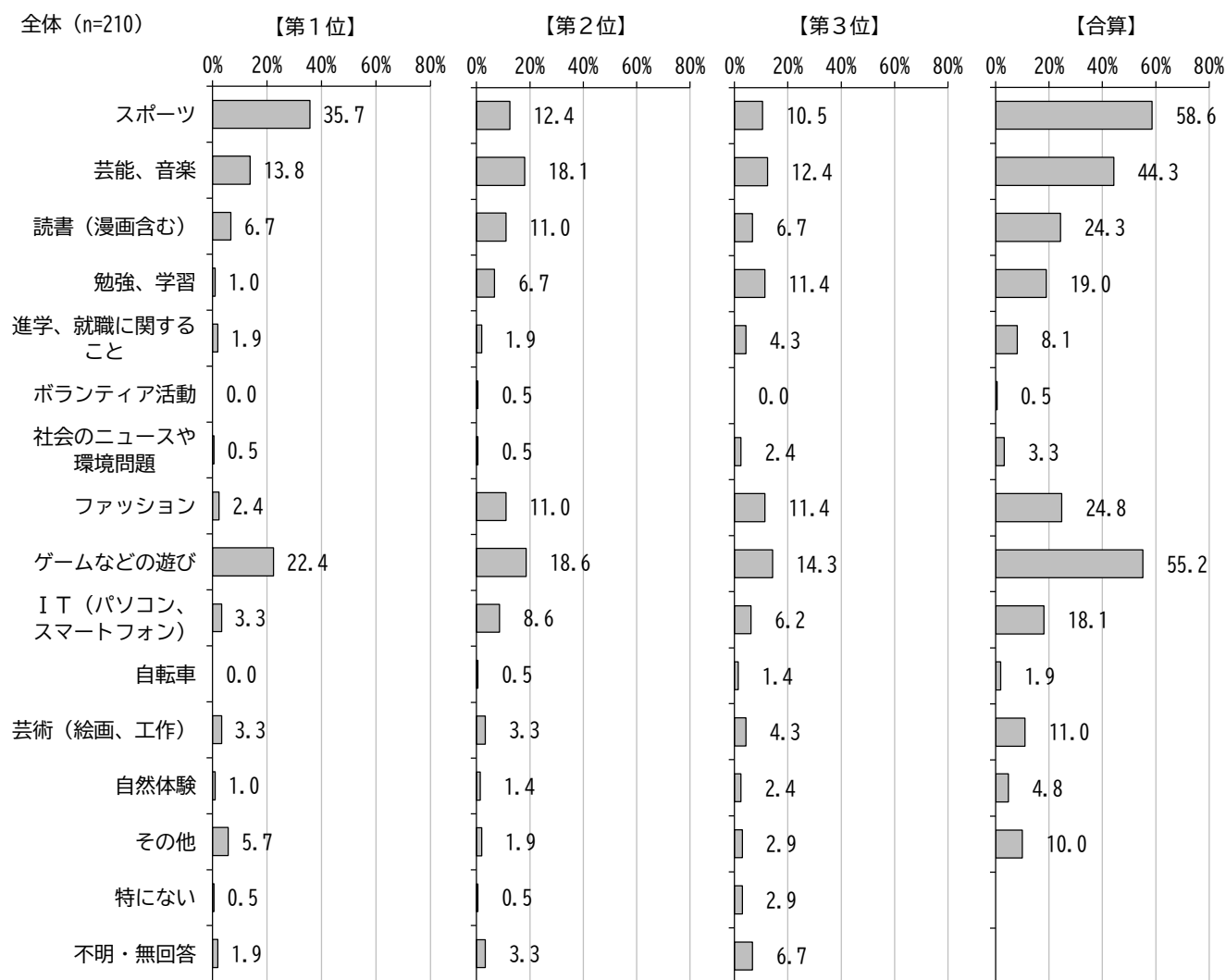
(上位3つまで複数回答)

【第1位】では「スポーツ」が35.7%と最も高く、次いで「ゲームなどの遊び」が22.4%、「芸能、音楽」が13.8%となっています。

【第2位】では「ゲームなどの遊び」が18.6%と最も高く、次いで「芸能、音楽」が18.1%、「スポーツ」が12.4%となっています。

【第3位】では「ゲームなどの遊び」が14.3%と最も高く、次いで「芸能、音楽」が12.4%、「勉強、学習」「ファッション」が11.4%となっています。

【第1位】から【第3位】の合算では「スポーツ」が58.6%と最も高く、次いで「ゲームなどの遊び」が55.2%、「芸能、音楽」が44.3%となっています。

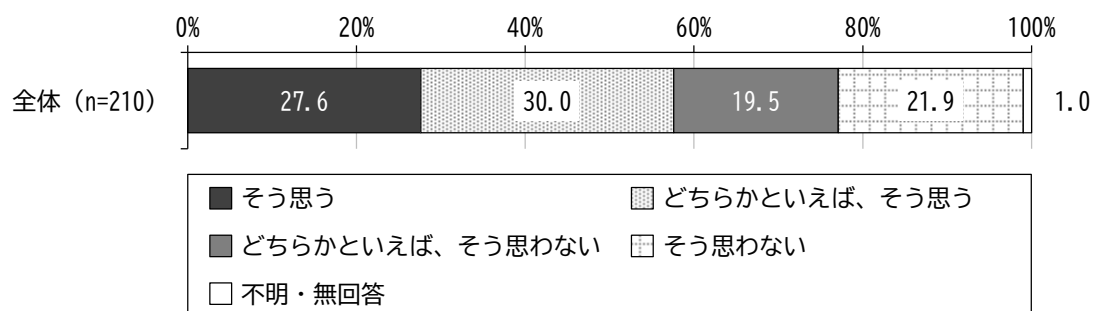


【その他回答】

- ・ダンス (3件)
- ・アニメ
- ・スポーツ観戦
- ・走ってるとき
- ・推し活 (2件)
- ・歌手
- ・電車に乗ること
- ・友達と遊ぶ
- ・1位車、2位ぼうけんりょこう
- ・学校行事
- ・バイク
- ・友達との関わり
- ・消防士
- ・趣味
- ・料理

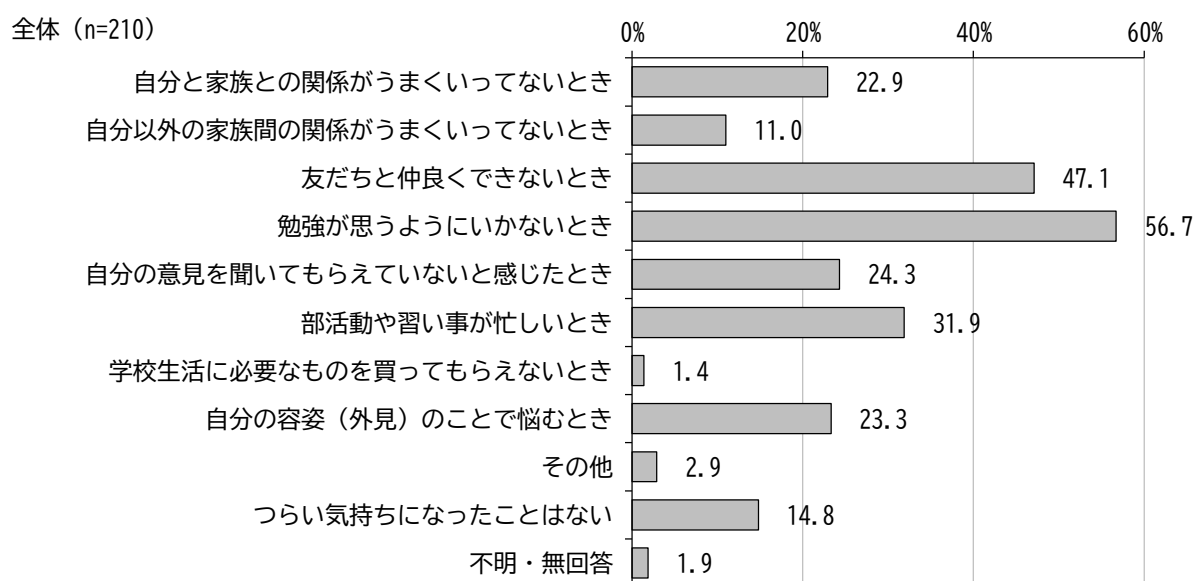
問16 問15で第1位と答えたものについて、いなべ市で体験したり情報を得たりする環境は充実していると思いますか。(単数回答)

「どちらかといえば、そう思う」が30.0%と最も高く、次いで「そう思う」が27.6%、「そう思わない」が21.9%となっています。



問17 あなたがこれまでにつらい気持ちを経験したのはどんなときですか。(複数回答)

「勉強が思うようにいかないとき」が56.7%と最も高く、次いで「友だちと仲良くできないとき」が47.1%、「部活動や習い事が忙しいとき」が31.9%となっています。

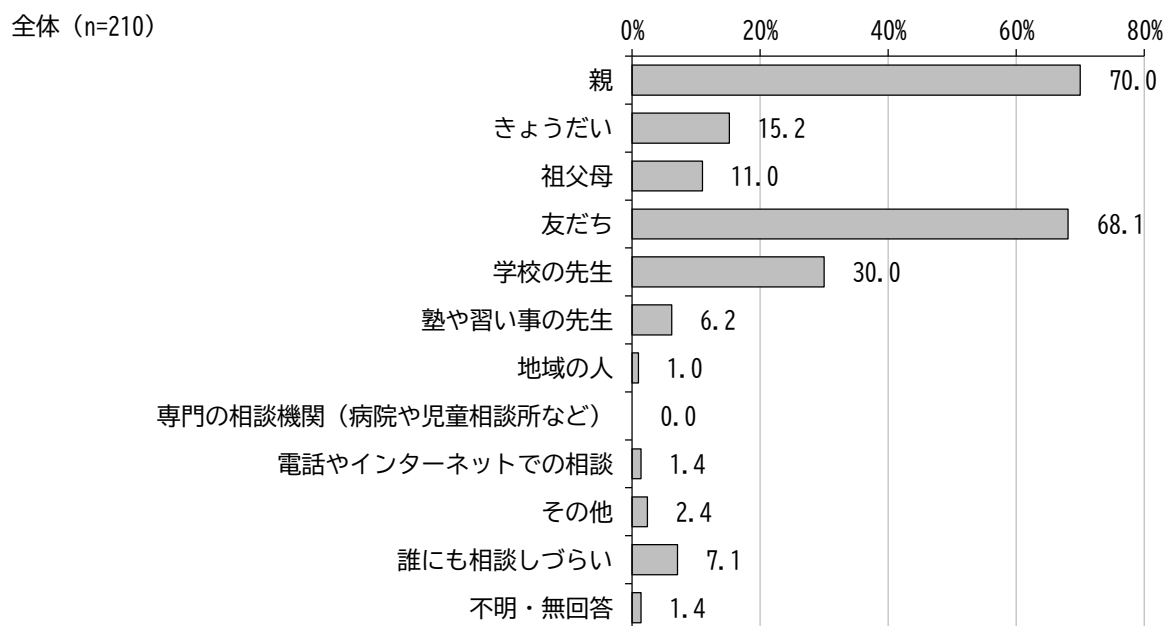


【その他回答】

- ・クラスから注目をあびる時
- ・クラブチームの指導者からののしられる
- ・人によけいなことを言ってしまった時
- ・学校の先生が理不尽なとき。給食がまずいとき

問 18 あなたは、困ったことや悩みがあるとき、誰に相談しますか、あるいはしようと思いますか。(複数回答)

「親」が 70.0%と最も高く、次いで「友だち」が 68.1%、「学校の先生」が 30.0%となっています。



【その他回答】

・しない ・相談することがない ・悩みがまずない

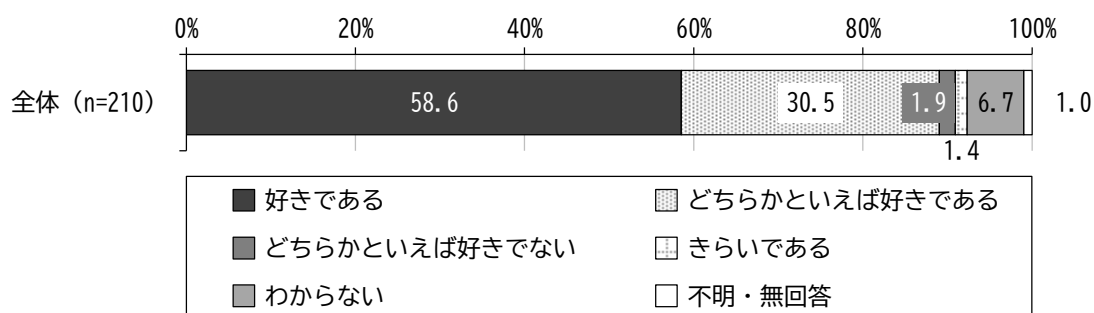
《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15以上〕〔自尊感情中：11～14〕では「親」が最も高くなっています。〔自尊感情低：0～10〕では「友だち」が最も高く、〔自尊感情低：0～10〕では「誰にも相談しづらい」が他の区分と比較して高くなっています。

単位：%		親	きょうだい	祖父母	友だち	学校の先生	塾や習い事の先生	地域の人	専門の相談機関 (病院や児童相談所など)	電話やインターネットでの相談	その他	誰にも相談しづらい	不明・無回答
全体 (n=210)		70.0	15.2	11.0	68.1	30.0	6.2	1.0	0.0	1.4	2.4	7.1	1.4
自尊感情別	自尊感情高：15以上 (n=116)	75.0	16.4	15.5	74.1	37.9	7.8	1.7	0.0	2.6	2.6	4.3	1.7
	自尊感情中：11～14 (n=77)	70.1	15.6	6.5	63.6	19.5	3.9	0.0	0.0	0.0	1.3	7.8	1.3
	自尊感情低：0～10 (n=17)	35.3	5.9	0.0	47.1	23.5	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9	23.5	0.0

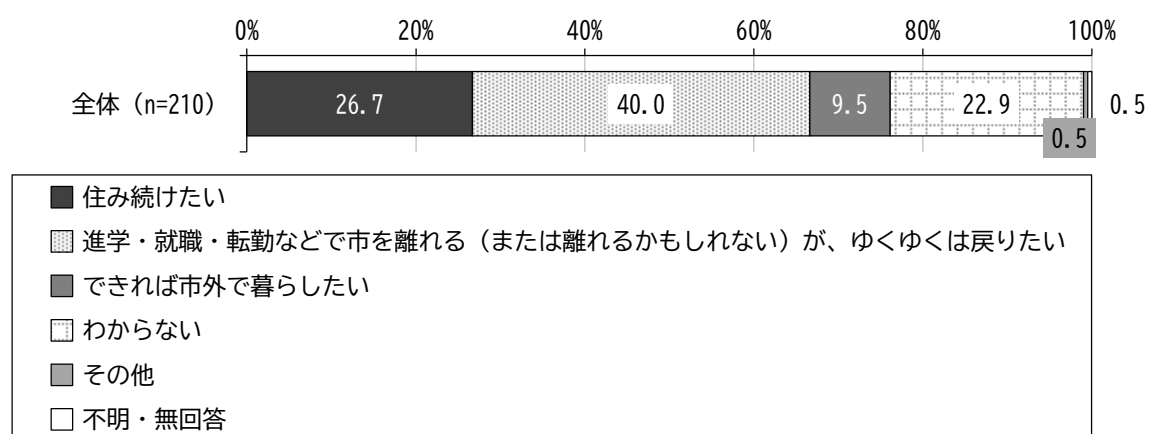
問19 あなたは、いなべ市が好きですか。(単数回答)

「好きである」が58.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば好きである」が30.5%、「わからない」が6.7%となっています。



問20 あなたは今後、いなべ市に住み続けたいと思いますか。(単数回答)

「進学・就職・転勤などで市を離れる（または離れるかもしれない）が、ゆくゆくは戻りたい」が40.0%と最も高く、次いで「住み続けたい」が26.7%、「わからない」が22.9%となっています。



【その他回答】

- ・将来は上京したい

《クロス集計》いなべ市が好きかどうか別

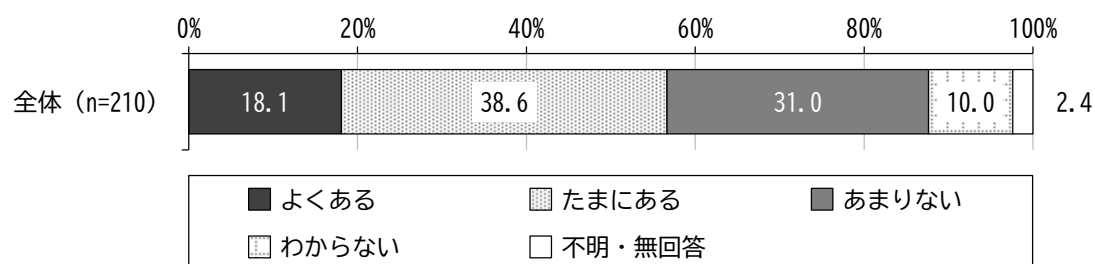
いなべ市が好きかどうか別でみると、〔好きである〕〔どちらかといえば好きである〕では「進学・就職・転勤などで市を離れる（または離れるかもしれない）が、ゆくゆくは戻りたい」、〔わからない〕では（今後の居住意向も）「わからない」が最も高くなっています。

単位：％		住み続けたい	いれる進学・就職・転勤など市を離れたい	できれば市外で暮らしたい	わからない	その他	不明・無回答
全体（n=210）		26.7	40.0	9.5	22.9	0.5	0.5
いなべ市が好きかどうか別	好きである（n=123）	36.6	47.2	4.1	11.4	0.8	0.0
	どちらかといえば好きである（n=64）	17.2	35.9	14.1	32.8	0.0	0.0
	どちらかといえば好きでない（n=4）	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	きらいである（n=3）	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	わからない（n=14）	0.0	14.3	7.1	78.6	0.0	0.0

4. 将来のことや働くことについて

問 21 あなたは、将来（自分の未来）について不安を感じることがありますか。（単数回答）

「たまにある」が 38.6%と最も高く、次いで「あまりない」が 31.0%、「よくある」が 18.1%となっています。



《クロス集計》自尊感情別

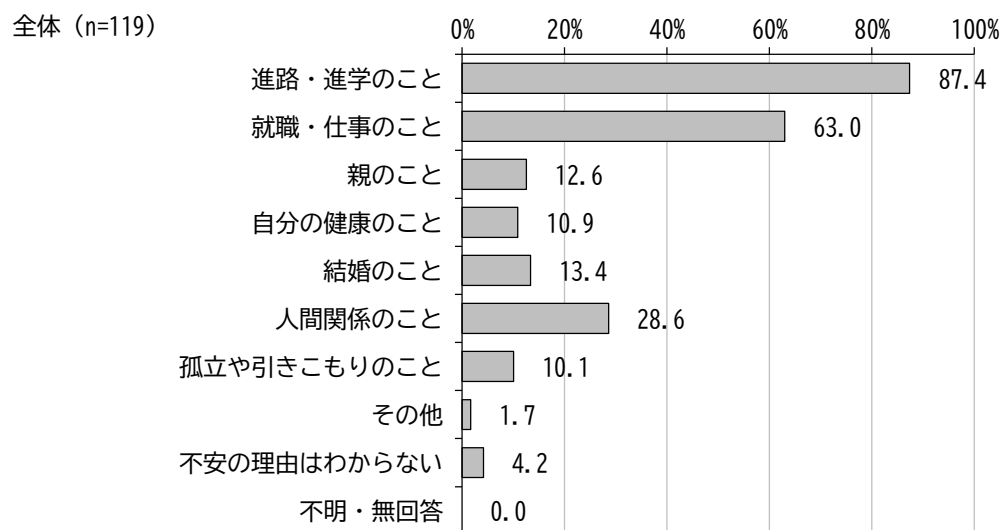
自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15以上〕〔自尊感情中：11～14〕では「たまにある」が最も高くなっています。〔自尊感情低：0～10〕では「よくある」が最も高くなっています。

単位：%		よくある	たまにある	あまりない	わからない	不明・無回答
全体（n=210）		18.1	38.6	31.0	10.0	2.4
自尊感情別	自尊感情高：15以上（n=116）	12.9	37.1	37.1	11.2	1.7
	自尊感情中：11～14（n=77）	18.2	44.2	24.7	9.1	3.9
	自尊感情低：0～10（n=17）	52.9	23.5	17.6	5.9	0.0

問 21 で「よくある」「たまにある」を選んだ方

問 22 将来に対しての不安は主にどのようなことですか。(複数回答)

「進路・進学のこと」が 87.4%と最も高く、次いで「就職・仕事のこと」が 63.0%、「人間関係のこと」が 28.6%となっています。



【その他回答】

・食料や人口低下

・死

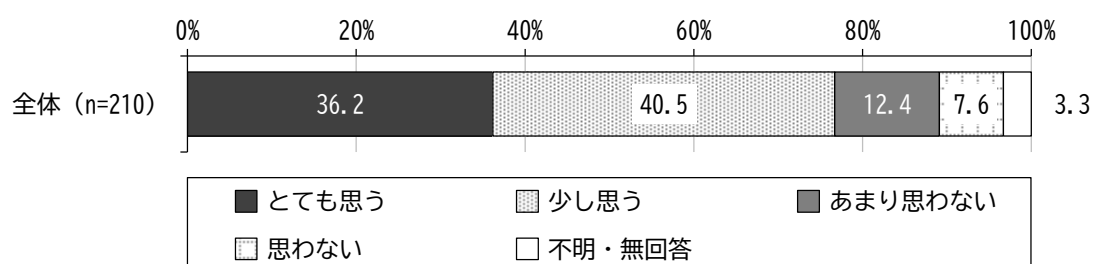
《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、すべての区分で「進路・進学のこと」が最も高くなっています。

単位：％		進路・進学のこと	就職・仕事のこと	親のこと	自分の健康のこと	結婚のこと	人間関係のこと	孤立や引きこもりのこと	その他	不安の理由はわからない	不明・無回答
全体 (n=119)		87.4	63.0	12.6	10.9	13.4	28.6	10.1	1.7	4.2	0.0
自尊感情別	自尊感情高：15以上 (n=58)	82.8	60.3	12.1	12.1	12.1	20.7	3.4	1.7	5.2	0.0
	自尊感情中：11～14 (n=48)	93.8	62.5	6.3	6.3	10.4	27.1	8.3	2.1	2.1	0.0
	自尊感情低：0～10 (n=13)	84.6	76.9	38.5	23.1	30.8	69.2	46.2	0.0	7.7	0.0

問 23 あなたは、いつかは結婚したいと思いますか。(単数回答)

「少し思う」が40.5%と最も高く、次いで「とても思う」が36.2%、「あまり思わない」が12.4%となっています。



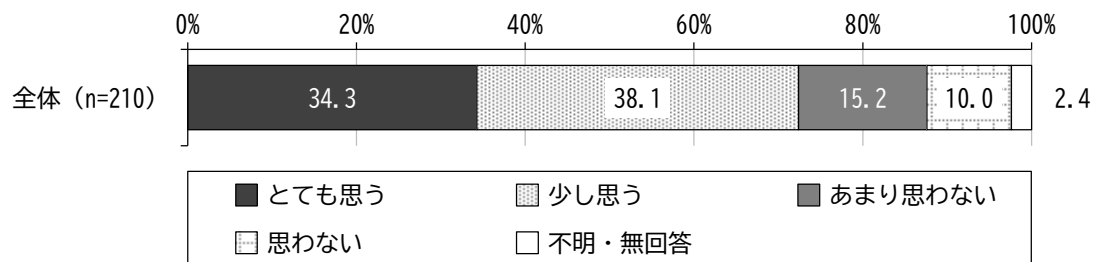
《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15以上〕では「とても思う」が最も高くなっています。〔自尊感情中：11～14〕〔自尊感情低：0～10〕では「少し思う」が最も高く、〔自尊感情低：0～10〕では「思わない」が他の区分と比較して高くなっています。

単位：％		とても思う	少し思う	あまり思わない	思わない	不明・無回答
全体 (n=210)		36.2	40.5	12.4	7.6	3.3
自尊感情別	自尊感情高：15以上 (n=116)	43.1	38.8	9.5	6.0	2.6
	自尊感情中：11～14 (n=77)	29.9	39.0	18.2	7.8	5.2
	自尊感情低：0～10 (n=17)	17.6	58.8	5.9	17.6	0.0

問 24 あなたは、いつかは子どもが欲しいと思いますか。(単数回答)

「少し思う」が 38.1%と最も高く、次いで「とても思う」が 34.3%、「あまり思わない」が 15.2%となっています。



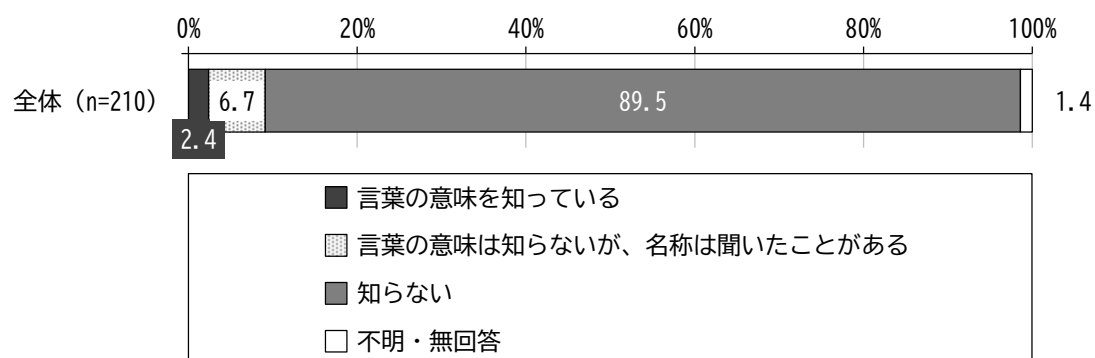
《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15 以上〕では「とても思う」が最も高くなっています。〔自尊感情中：11～14〕〔自尊感情低：0～10〕では「少し思う」が最も高く、〔自尊感情低：0～10〕では「思わない」が他の区分と比較して高くなっています。

単位：%		とても思う	少し思う	あまり思わない	思わない	不明・無回答
全体 (n=210)		34.3	38.1	15.2	10.0	2.4
自尊感情別	自尊感情高：15以上 (n=116)	42.2	37.9	9.5	8.6	1.7
	自尊感情中：11～14 (n=77)	26.0	37.7	23.4	9.1	3.9
	自尊感情低：0～10 (n=17)	17.6	41.2	17.6	23.5	0.0

問 25 あなたは、「プレコンセプションケア」について知っていますか。(単数回答)

「知らない」が89.5%と最も高く、次いで「言葉の意味は知らないが、名称は聞いたことがある」が6.7%、「言葉の意味を知っている」が2.4%となっています。



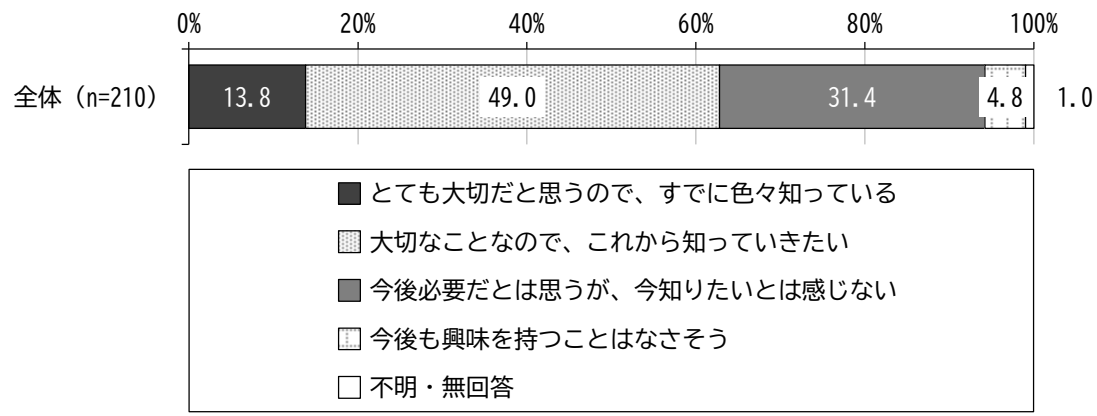
《クロス集計》性別

性別でみると、男女ともに「知らない」が最も高くなっています。

単位：%		言葉の意味を知っている	言葉の意味は知らないが、名称は聞いたことがある	知らない	不明・無回答
全体 (n=210)		2.4	6.7	89.5	1.4
性別	男性 (n=101)	3.0	8.9	87.1	1.0
	女性 (n=107)	1.9	4.7	91.6	1.9

問 26 将来の自分の体や家族のために、妊娠や出産について今から知っておくことは大切だと思いますか。(単数回答)

「大切なことなので、これから知っていきたい」が49.0%と最も高く、次いで「今後必要だとは思いますが、今知りたいとは思わない」が31.4%、「とても大切だと思うので、すでに色々知っている」が13.8%となっています。



《クロス集計》性別

性別でみると、男女ともに「大切なことなので、これから知っていきたい」が最も高くなっています。

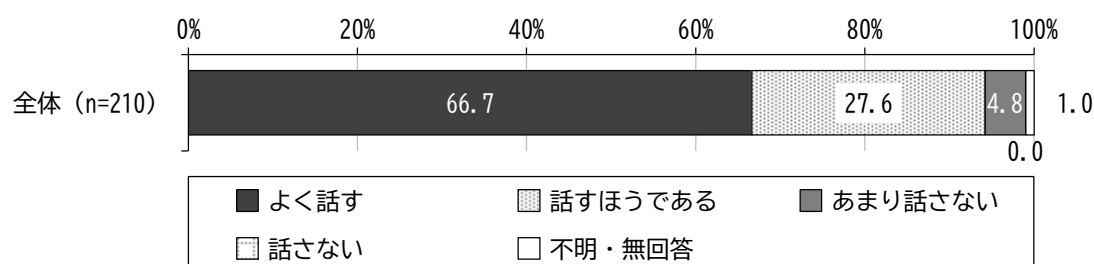
単位：%		とても大切だと思うので、すでに色々知っている	大切なことなので、これから知っていきたい	今後必要だとは思いますが、今知りたいとは思わない	今後も興味を持つことはなさそう	不明・無回答
性別	全体 (n=210)	13.8	49.0	31.4	4.8	1.0
	男性 (n=101)	15.8	48.5	28.7	6.9	0.0
	女性 (n=107)	12.1	49.5	33.6	2.8	1.9

5. ご家庭のことについて

問 27 あなたは、日頃保護者の方とどれくらい話していますか。(単数回答)

※保護者と暮らす人は、よく話をする人を基準に回答してください。

「よく話す」が 66.7%と最も高く、次いで「話すほうである」が 27.6%、「あまり話さない」が 4.8%となっています。



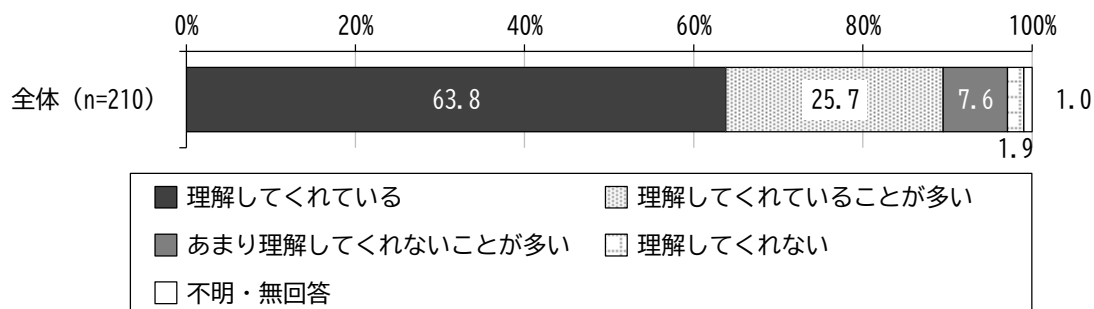
《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15 以上〕〔自尊感情中：11～14〕では「よく話す」、〔自尊感情低：0～10〕では「話すほうである」が最も高くなっています。

単位：%		よく話す	話すほうである	あまり話さない	話さない	不明・無回答
全体 (n=210)		66.7	27.6	4.8	0.0	1.0
自尊感情別	自尊感情高：15以上 (n=116)	74.1	23.3	1.7	0.0	0.9
	自尊感情中：11～14 (n=77)	62.3	29.9	6.5	0.0	1.3
	自尊感情低：0～10 (n=17)	35.3	47.1	17.6	0.0	0.0

問 28 保護者は、自分を理解してくれていると思いますか。(単数回答)

「理解してくれている」が 63.8%と最も高く、次いで「理解してくれていることが多い」が 25.7%、「あまり理解してくれないことが多い」が 7.6%となっています。



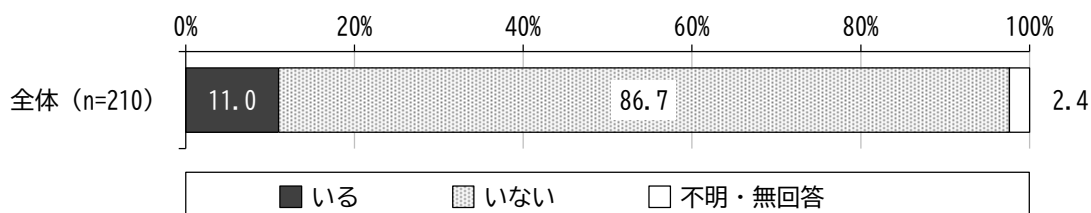
《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15 以上〕〔自尊感情中：11～14〕では「理解してくれている」、〔自尊感情低：0～10〕では「理解してくれていることが多い」が最も高くなっています。自尊感情が高いほど、「理解してくれている」が高い割合を占めています。

単位：%		理解してくれている	と理解が多してくれていることが多い	いあまりが理解してくれない	理解してくれない	不明・無回答
全体 (n=210)		63.8	25.7	7.6	1.9	1.0
自尊感情別	自尊感情高：15以上 (n=116)	75.9	18.1	5.2	0.0	0.9
	自尊感情中：11～14 (n=77)	53.2	35.1	7.8	2.6	1.3
	自尊感情低：0～10 (n=17)	29.4	35.3	23.5	11.8	0.0

問 29 家族のなかにあなたがお世話をしている人がいますか。(ここで「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族の世話を指します。)(単数回答)

「いない」が 86.7%と、「いる」の 11.0%を上回っています。



問 29 で「いる」を選んだ方

問 30 あなたは誰のお世話をしていますか。(複数回答)

「父・母」が 60.9% (14 件) と最も高く、次いで「きょうだい」が 52.2% (12 件)、「祖父母」が 17.4% (4 件) となっています。

全体 (n=23)	件数	%
父・母	14	60.9
祖父母	4	17.4
きょうだい	12	52.2
その他	2	8.7
不明・無回答	0	0.0

【その他回答】

・犬

問 29 で「いる」を選んだ方

問 31 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みについて誰かに相談したことはありますか。(単数回答)

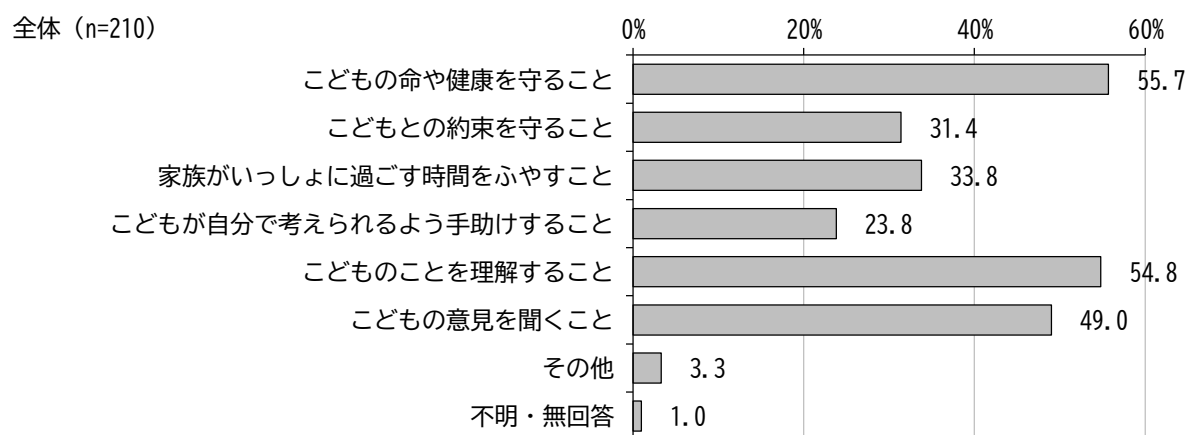
「ない」が 65.2% (15 件) と、「ある」の 30.4% (7 件) を上回っています。

全体 (n=23)	件数	%
ある	7	30.4
ない	15	65.2
不明・無回答	1	4.3

6. いなべ市のこども政策等について

問 32 皆さんのくらしや成長を支えるため、大人に特に心がけてほしいのはどんなことですか。
(3つまで複数回答)

「こどもの命や健康を守ること」が55.7%と最も高く、次いで「こどものことを理解すること」が54.8%、「こどもの意見を聞くこと」が49.0%となっています。



【その他回答】

- ・税金を少なくしろ
- ・ルールを守る
- ・悪口を言わないこと
- ・今のままで大丈夫だから
- ・選択したもの以外のものも
- ・仲良くする事

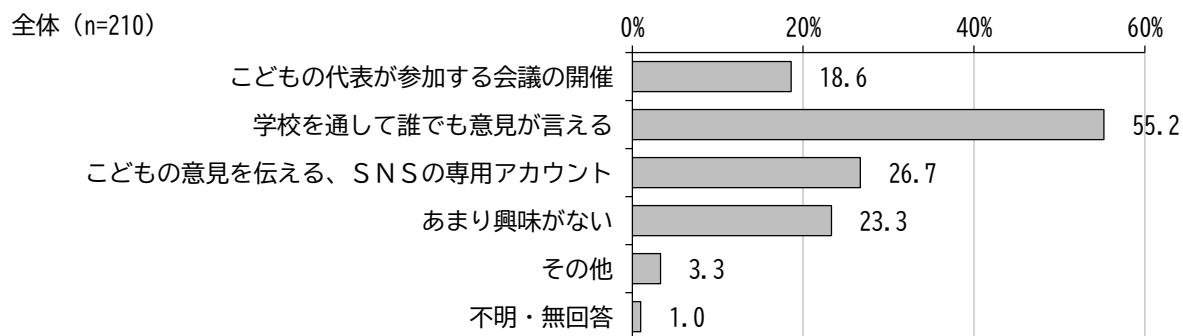
《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15以上〕では「こどもの命や健康を守ること」、〔自尊感情中：11～14〕〔自尊感情低：0～10〕では「こどものことを理解すること」が最も高くなっています。

単位：%		こどもの命や健康を守ること	こどもとの約束を守ること	家族がいっしょに過ごす時間をふやすこと	こどもが自分で考えられるよう手助けすること	こどものことを理解すること	こどもの意見を聞くこと	その他	不明・無回答
全体 (n=210)		55.7	31.4	33.8	23.8	54.8	49.0	3.3	1.0
自尊感情別	自尊感情高：15以上 (n=116)	60.3	33.6	34.5	28.4	50.9	46.6	3.4	1.7
	自尊感情中：11～14 (n=77)	50.6	27.3	32.5	19.5	58.4	55.8	3.9	0.0
	自尊感情低：0～10 (n=17)	47.1	35.3	35.3	11.8	64.7	35.3	0.0	0.0

問33 こどもの意見を伝えようと思うと、どのような方法が良いですか。(複数回答)

「学校を通して誰でも意見が言える」が55.2%と最も高く、次いで「こどもの意見を伝える、SNSの専用アカウント」が26.7%、「あまり興味がない」が23.3%となっています。



【その他回答】

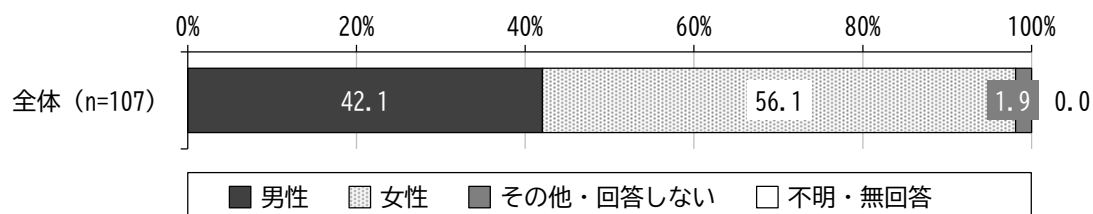
- ・ SNSを気軽に利用しストレス発散をできるようにしたい
- ・ イベント
- ・ 親に言いにくい人もいると思うので信頼できる人に言う
- ・ 家族で仲良く話し合えること
- ・ 投書
- ・ 方法がわからない

Ⅲ 高校3年生対象調査結果

1. あなた自身について

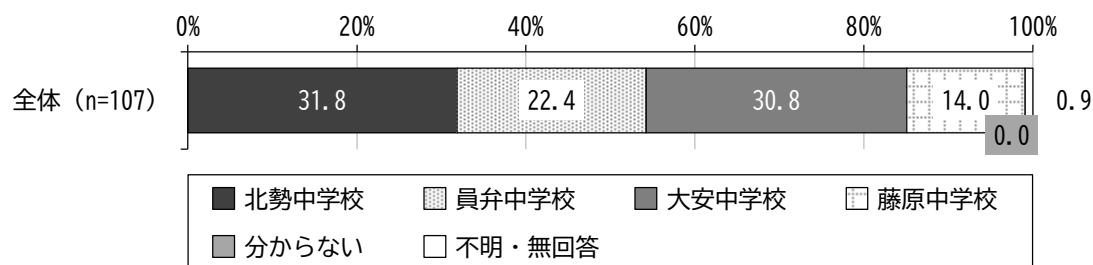
問1 あなたの性別をお答えください。(単数回答)

「男性」が42.1%、「女性」が56.1%、「その他・回答しない」が1.9%となっています。



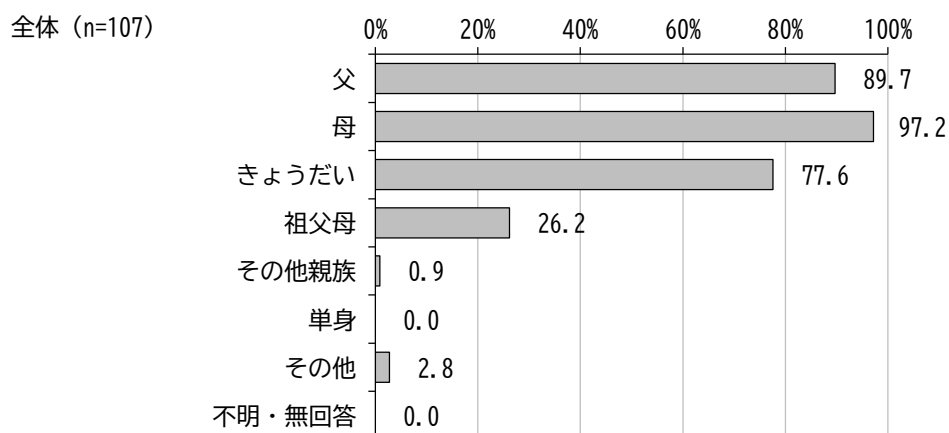
問2 あなたのお住まいの中学校区をお答えください。(単数回答)

「北勢中学校」が31.8%と最も高く、次いで「大安中学校」が30.8%、「員弁中学校」が22.4%となっています。



問3 現在、あなたと同居している方をお答えください。(複数回答)

「母」が97.2%と最も高く、次いで「父」が89.7%、「きょうだい」が77.6%となっています。



【その他回答】

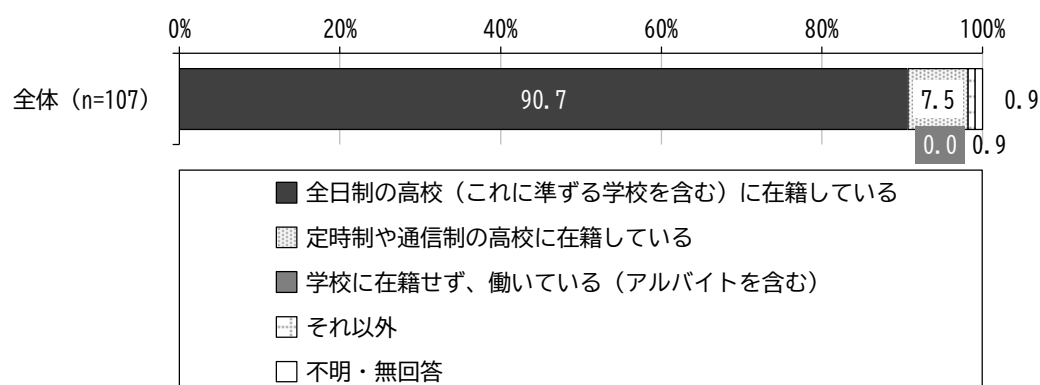
・猫2匹

・犬、亀

・寮生

問4 あなたの現在の状況について教えてください。(単数回答)

「全日制の高校（これに準ずる学校を含む）に在籍している」が90.7%と最も高く、次いで「定時制や通信制の高校に在籍している」が7.5%、「それ以外」が0.9%となっています。



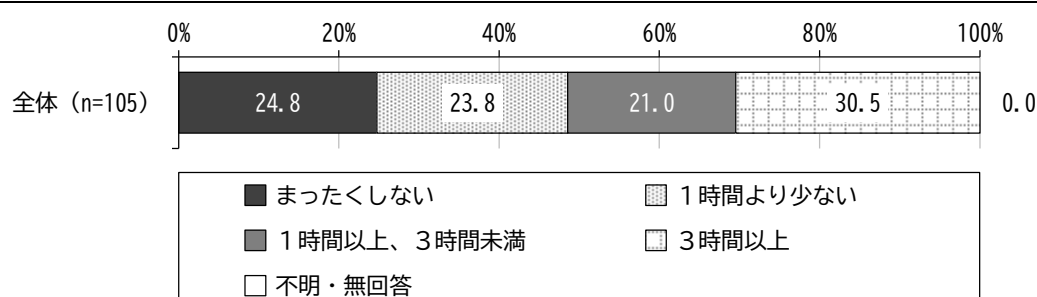
問4で「全日制の高校（これに準ずる学校を含む）に在籍している」「定時制や通信制の高校に在籍している」を選んだ方（高校に通っている方）

問5 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどのくらいの時間勉強をしますか。

※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間を含みます。(それぞれ単数回答)

①学校がある日（月～金曜日）

「3時間以上」が30.5%と最も高く、次いで「まったくしない」が24.8%、「1時間より少ない」が23.8%となっています。



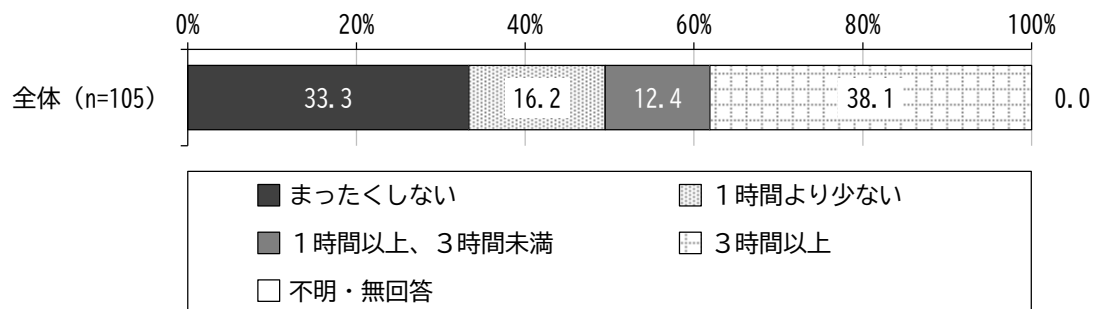
《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15以上〕では「3時間以上」、〔自尊感情中：11～14〕では「まったくしない」「1時間より少ない」、〔自尊感情低：0～10〕では「まったくしない」「1時間より少ない」「3時間以上」が最も高くなっています。

単位：%		まったくしない	1時間より少ない	未1時間以上、3時間	3時間以上	不明・無回答
全体 (n=105)		24.8	23.8	21.0	30.5	0.0
自尊感情別	自尊感情高：15以上 (n=56)	19.6	17.9	25.0	37.5	0.0
	自尊感情中：11～14 (n=33)	33.3	33.3	15.2	18.2	0.0
	自尊感情低：0～10 (n=15)	26.7	26.7	20.0	26.7	0.0

②学校がない日（土・日曜日・祝日）

「3時間以上」が38.1%と最も高く、次いで「まったくしない」が33.3%、「1時間より少ない」が16.2%となっています。



《クロス集計》自尊感情別

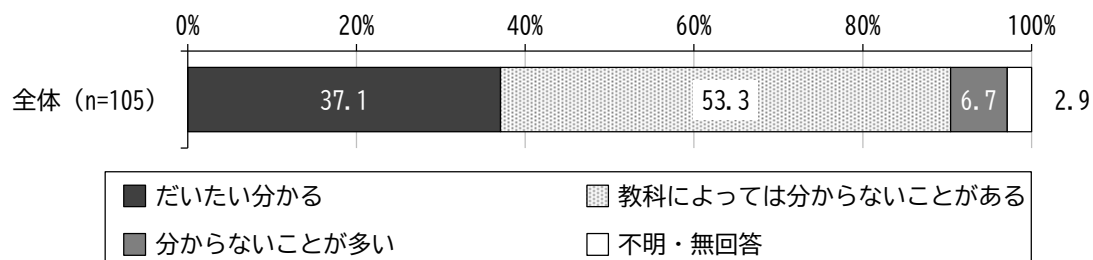
自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15以上〕では「3時間以上」、〔自尊感情中：11～14〕〔自尊感情低：0～10〕では「まったくしない」が最も高くなっています。

単位：%		まったくしない	1時間より少ない	未1時間以上、3時間	3時間以上	不明・無回答
全体（n=105）		33.3	16.2	12.4	38.1	0.0
自尊感情別	自尊感情高：15以上（n=56）	28.6	10.7	12.5	48.2	0.0
	自尊感情中：11～14（n=33）	39.4	24.2	12.1	24.2	0.0
	自尊感情低：0～10（n=15）	40.0	20.0	13.3	26.7	0.0

問4で「全日制の高校（これに準ずる学校を含む）に在籍している」「定時制や通信制の高校に在籍している」を選んだ方（高校に通っている方）

問6 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。（単数回答）

「教科によっては分からないことがある」が53.3%と最も高く、次いで「だいたい分かる」が37.1%、「分からないことが多い」が6.7%となっています。



《クロス集計》自尊感情別

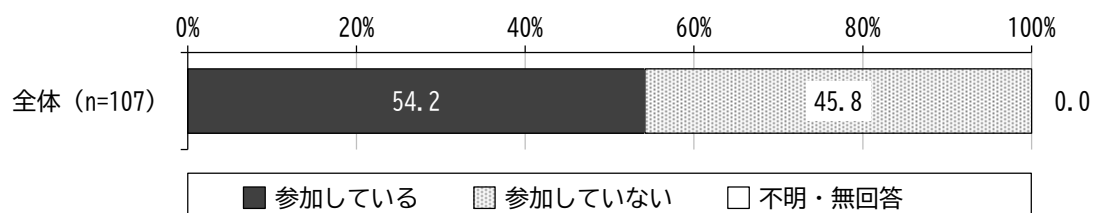
自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15以上〕では「だいたい分かる」、〔自尊感情中：11～14〕〔自尊感情低：0～10〕では「教科によっては分からないことがある」が最も高くなっています。

単位：%		だいたい分かる	教科によっては分からないことがある	分からないことが多い	不明・無回答
全体 (n=105)		37.1	53.3	6.7	2.9
自尊感情別	自尊感情高：15以上 (n=56)	48.2	44.6	3.6	3.6
	自尊感情中：11～14 (n=33)	30.3	60.6	9.1	0.0
	自尊感情低：0～10 (n=15)	6.7	73.3	13.3	6.7

問7 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。

（単数回答）

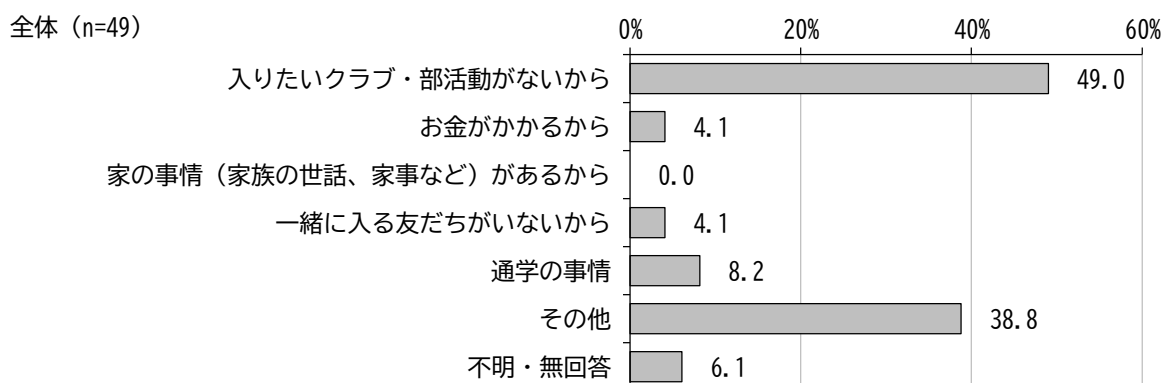
「参加している」が54.2%と、「参加していない」の45.8%を上回っています。



問7で「参加していない」を選んだ方

問8 参加していない理由は何ですか。(複数回答)

「入りたいクラブ・部活動がないから」が49.0%と最も高く、次いで「通学の事情」が8.2%、「お金がかかるから」「一緒に入る友だちがいないから」が4.1%となっています。



【その他回答】

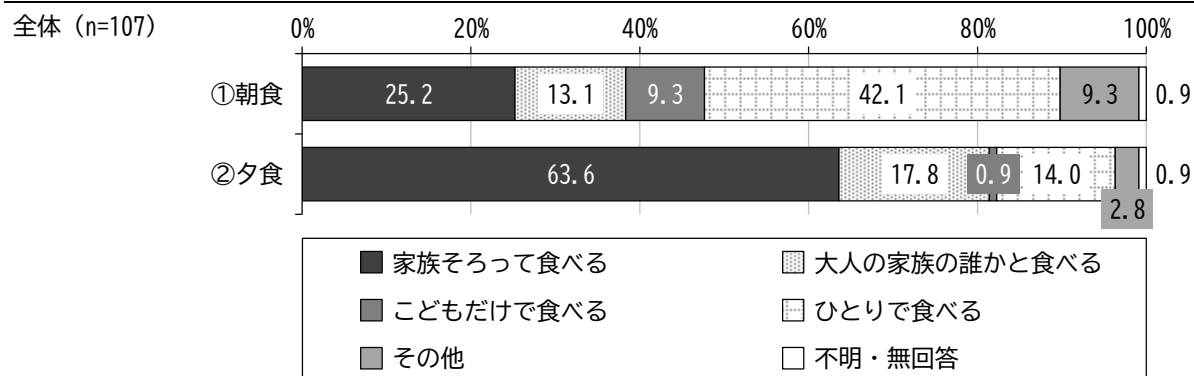
- ・引退した（3件）
- ・3年間で部活を終えた
- ・引退
- ・受験期であるから。
- ・大学受験に向け、7月に引退。
- ・部活を引退した
- ・3年間部活動してましたが3年になったので引退しました
- ・スケボーしたいから
- ・引退済み
- ・受験生だから
- ・通信制高校だから、クラブがまだ1つしかないから
- ・勉強
- ・めんどくさいから
- ・高校に部活がない
- ・受験勉強に集中しているため

2. 普段の生活や居場所について

問9 あなたは、普段誰と朝食、夕食をとることが多いですか。(それぞれ単数回答)

〔①朝食〕では「ひとりで食べる」が42.1%と最も高く、次いで「家族そろって食べる」が25.2%、「大人の家族の誰かと食べる」が13.1%となっています。

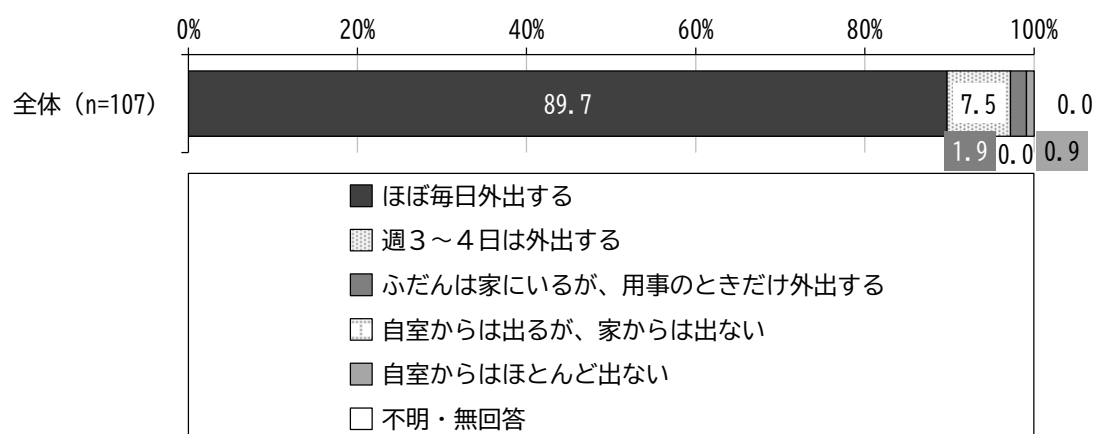
〔②夕食〕では「家族そろって食べる」が63.6%と最も高く、次いで「大人の家族の誰かと食べる」が17.8%、「ひとりで食べる」が14.0%となっています。



問10 あなたは普段、どのくらい外出していますか。(単数回答)

※「外出」には、通学や通勤を含みます。

「ほぼ毎日外出する」が89.7%と最も高く、次いで「週3～4日は外出する」が7.5%、「ふだんは家にいるが、用事の時だけ外出する」が1.9%となっています。



問 10 で「ふだんは家にいるが、用事するときだけ外出する」～「自室からはほとんど出ない」を選んだ方
問 11 あなたの外出状況が現在の状態になったのは、あなたが何歳のころですか。（数量回答）

「12～13 歳」が 66.7%（2 件）、「14～15 歳」が 33.3%（1 件）となっています。

全体（n=3）	件数	%
6 歳未満	0	0.0
6～7 歳	0	0.0
8～9 歳	0	0.0
10～11 歳	0	0.0
12～13 歳	2	66.7
14～15 歳	1	33.3
16～17 歳	0	0.0
18 歳以上	0	0.0
不明・無回答	0	0.0

問 10 で「ふだんは家にいるが、用事するときだけ外出する」～「自室からはほとんど出ない」を選んだ方
問 12 現在の状態となったと思いあたるきっかけはありますか。（複数回答）

「学校に行けなくなった」「友人との関係がうまくいかなかった」「病気のため」が 33.3%（1 件）となっています。

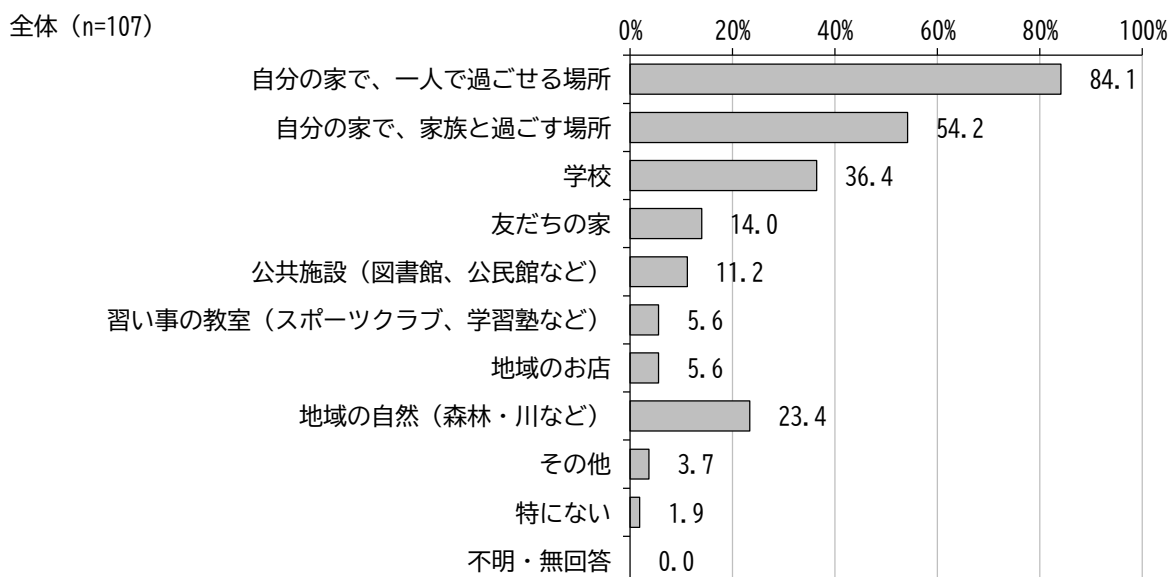
全体（n=3）	件数	%
学校に行けなくなった	1	33.3
友人との関係がうまくいかなかった	1	33.3
家族との関係がうまくいかなかった	0	0.0
職場になじめなかった	0	0.0
受験に失敗した	0	0.0
病気のため	1	33.3
その他	1	33.3
不明・無回答	0	0.0

【その他回答】

・勉強したいので

問13 あなたが気楽にいられる場所はどこなところですか。(複数回答)

「自分の家で、一人で過ごせる場所」が84.1%と最も高く、次いで「自分の家で、家族と過ごす場所」が54.2%、「学校」が36.4%となっています。



【その他回答】

・ コメダ珈琲店 ・ 電車内 ・ ゲーセン ・ 温泉

《クロス集計》自尊感情別

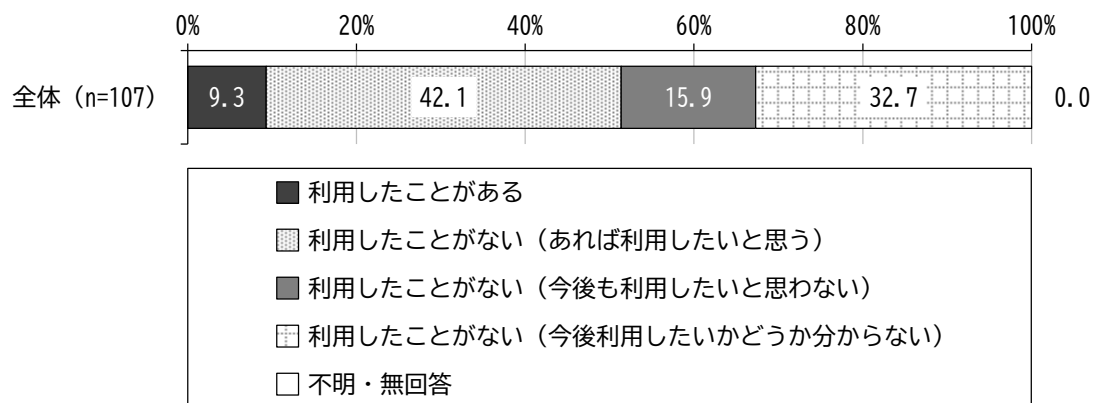
自尊感情別でみると、すべての区分で「自分の家で、一人で過ごせる場所」最も高くなっています。
 [自尊感情低：0～10] では、「地域の自然 (森林・川など)」が3番目に高くなっています。

単位：%		自分の家で、一人で過ごせる場所	自分の家で、家族と過ごす場所	学校	友だちの家	公共施設 (図書館、公民館など)	習い事の教室 (スポーツクラブ、学習塾など)	地域のお店	地域の自然 (森林・川など)	その他	特にない	不明・無回答
全体 (n=107)		84.1	54.2	36.4	14.0	11.2	5.6	5.6	23.4	3.7	1.9	0.0
自尊感情別	自尊感情高：15以上 (n=58)	81.0	60.3	43.1	17.2	17.2	6.9	6.9	29.3	1.7	0.0	0.0
	自尊感情中：11～14 (n=33)	87.9	54.5	42.4	12.1	6.1	6.1	6.1	18.2	3.0	3.0	0.0
	自尊感情低：0～10 (n=15)	86.7	26.7	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	13.3	13.3	6.7	0.0

問 14 あなたは、次の①～③のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。（それぞれ単数回答）

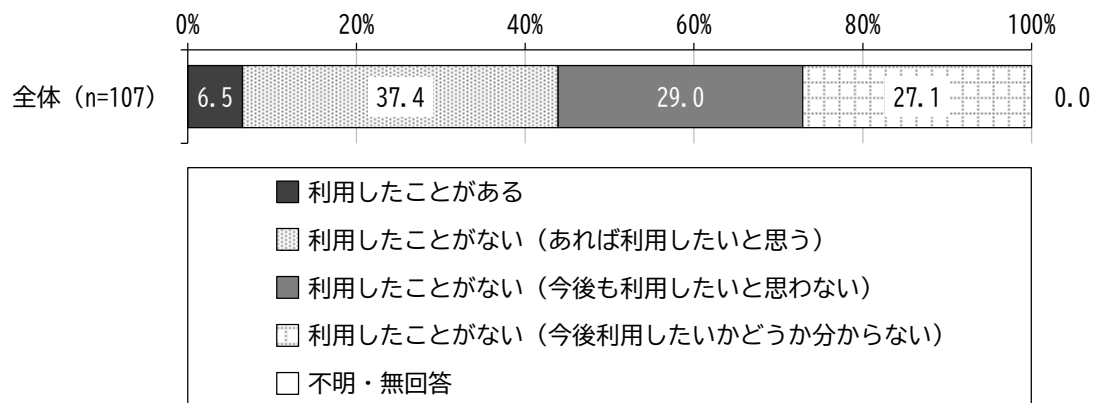
①（自分や友人の家以外で）食事を無料か安く食べることができる場所（こども食堂など）

「利用したことがない（あれば利用したいと思う）」が42.1%と最も高く、次いで「利用したことがない（今後利用したいと思わない）」が15.9%、「利用したことがない（今後利用したいかどうか分からない）」が32.7%となっています。



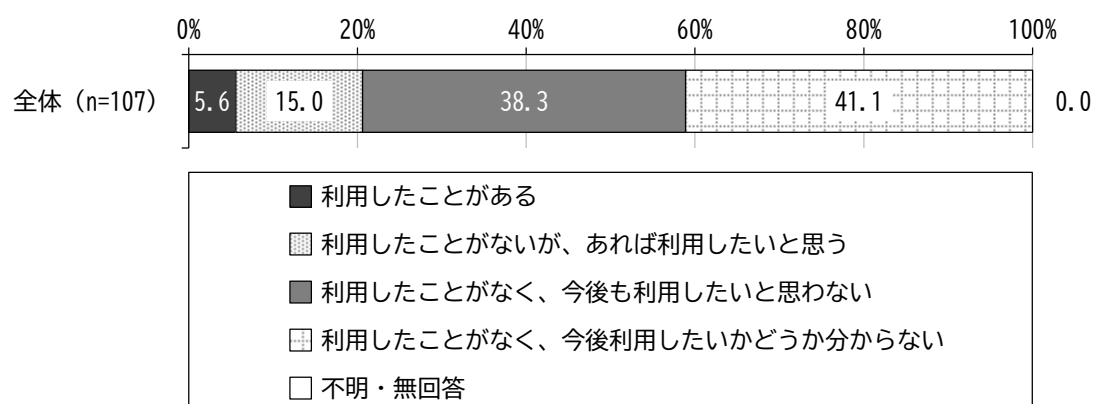
②勉強を無料で教えてくれる場所

「利用したことがない（あれば利用したいと思う）」が37.4%と最も高く、次いで「利用したことがない（今後利用したいと思わない）」が29.0%、「利用したことがない（今後利用したいかどうか分からない）」が27.1%となっています。



③（家や学校以外で）何でも相談できる場所（電話やネットの相談を含む）

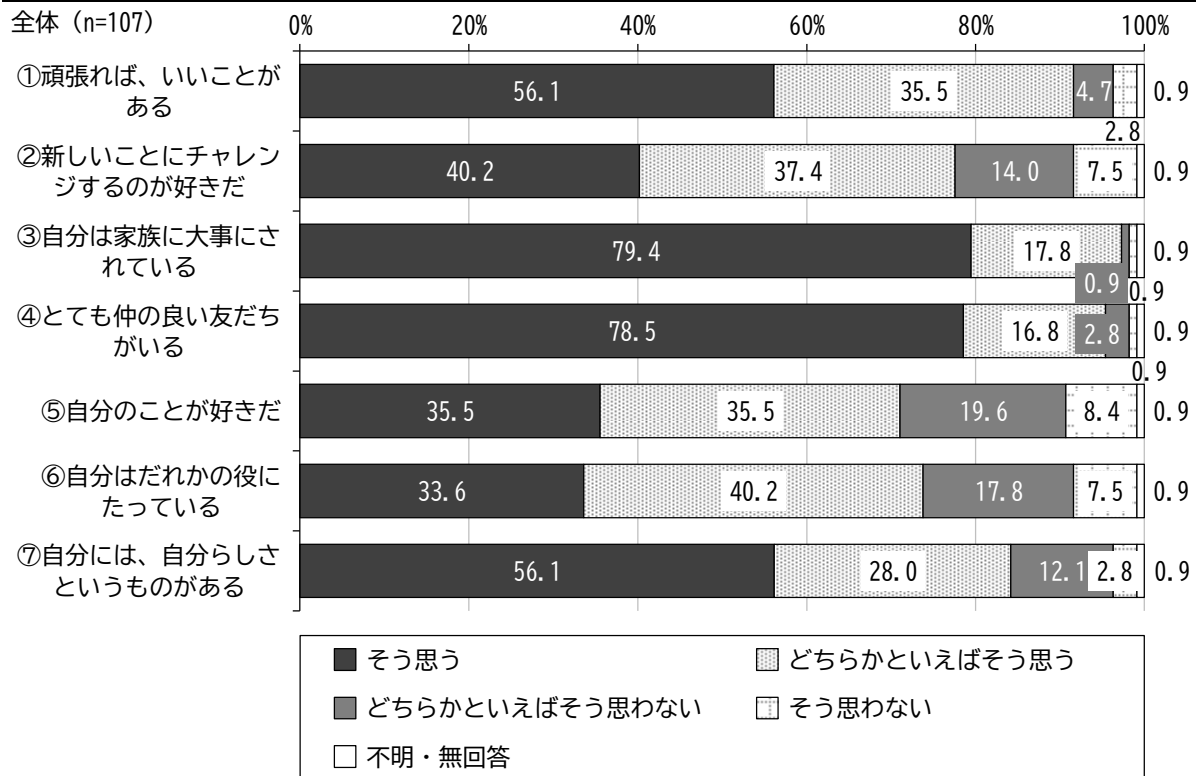
「利用したことがなく、今後利用したいかどうか分からない」が41.1%と最も高く、次いで「利用したことがなく、今後も利用したいと思わない」が38.3%、「利用したことがないが、あれば利用したいと思う」が15.0%となっています。



3. あなたの考えや気持ちについて

問 15 あなたの思いや気持ちについて、最も近いものを教えてください。(それぞれ単数回答)

『思う』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)では、[①頑張れば、いいことがある] [③自分は家族に大事にされている] [④とても仲の良い友だちがいる] で9割以上と高くなっています。



①頑張れば、いいことがある《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15以上〕では「そう思う」が最も高くなっています。〔自尊感情中：11～14〕〔自尊感情低：0～10〕では「どちらかといえばそう思う」が最も高く、〔自尊感情低：0～10〕では「思わない」が他の区分と比較して高くなっています。

単位：％		そう 思う	ばど そう 思か うと いえ	ばど そう 思か わと ない え	そう 思わ ない	不 明・ 無回 答
全体（n=107）		56.1	35.5	4.7	2.8	0.9
自尊 感情 別	自尊感情高：15以上 （n=58）	86.2	13.8	0.0	0.0	0.0
	自尊感情中：11～14 （n=33）	30.3	66.7	0.0	3.0	0.0
	自尊感情低：0～10 （n=15）	0.0	53.3	33.3	13.3	0.0

②新しいことにチャレンジするのが好きだ《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15以上〕では「そう思う」が最も高くなっています。〔自尊感情中：11～14〕では「どちらかといえばそう思う」、〔自尊感情低：0～10〕では「どちらかといえば思わない」が最も高く、〔自尊感情低：0～10〕では「思わない」が他の区分と比較して高くなっています。

単位：％		そう 思う	うど 思 う ら か と い え ば そ	うど 思 わ な か い と い え ば そ	そう 思わ ない	不 明・ 無回 答
全体（n=107）		40.2	37.4	14.0	7.5	0.9
自尊 感情 別	自尊感情高：15以上 （n=58）	65.5	29.3	1.7	3.4	0.0
	自尊感情中：11～14 （n=33）	15.2	63.6	18.2	3.0	0.0
	自尊感情低：0～10 （n=15）	0.0	13.3	53.3	33.3	0.0

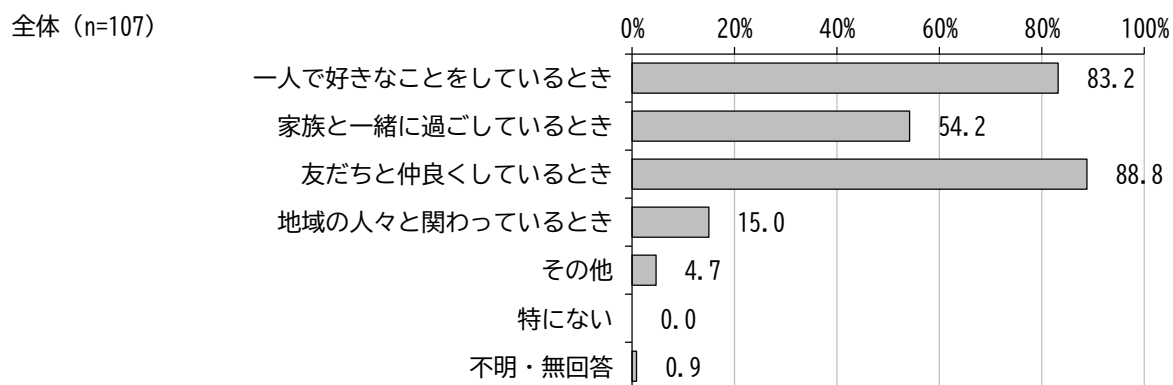
④とても仲の良い友だちがいる《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、いずれの区分も「そう思う」が最も高くなっています。〔自尊感情低：0～10〕では「どちらかといえばそう思わない」が他の区分と比較して高くなっています。

単位：％		そう 思う	うど ち う か と い え ば そ	うど 思 わ な か い と い え ば そ	そう 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答
全体（n=107）		78.5	16.8	2.8	0.9	0.9
自尊感情別	自尊感情高：15以上（n=58）	93.1	6.9	0.0	0.0	0.0
	自尊感情中：11～14（n=33）	72.7	27.3	0.0	0.0	0.0
	自尊感情低：0～10（n=15）	40.0	33.3	20.0	6.7	0.0

問 16 あなたが楽しいと感じるのはどんなときですか。（複数回答）

「友だちと仲良くしているとき」が88.8%と最も高く、次いで「一人で好きなことをしているとき」が83.2%、「家族と一緒に過ごしているとき」が54.2%となっています。



【その他回答】

- ・ グッズなどを購入する時
- ・ ペットといるとき
- ・ 学校にいる時
- ・ 趣味に没頭しているとき
- ・ 寝ている時食べている時

《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15以上〕〔自尊感情中：11～14〕では「友だちと仲良くしているとき」が最も高くなっています。〔自尊感情低：0～10〕では「一人で好きなことをしているとき」が最も高くなっています。

単位：％		一人で好きなことをしているとき	家族と一緒に過ごしているとき	友だちと仲良くしているとき	地域の人々と関わっているとき	その他	特にない	不明・無回答
全体（n=107）		83.2	54.2	88.8	15.0	4.7	0.0	0.9
自尊感情別	自尊感情高：15以上（n=58）	81.0	58.6	87.9	19.0	5.2	0.0	0.0
	自尊感情中：11～14（n=33）	81.8	54.5	97.0	12.1	3.0	0.0	0.0
	自尊感情低：0～10（n=15）	100.0	40.0	80.0	6.7	6.7	0.0	0.0

問 17 あなたが今、興味を持っていることについて、興味が強い順に答えてください。

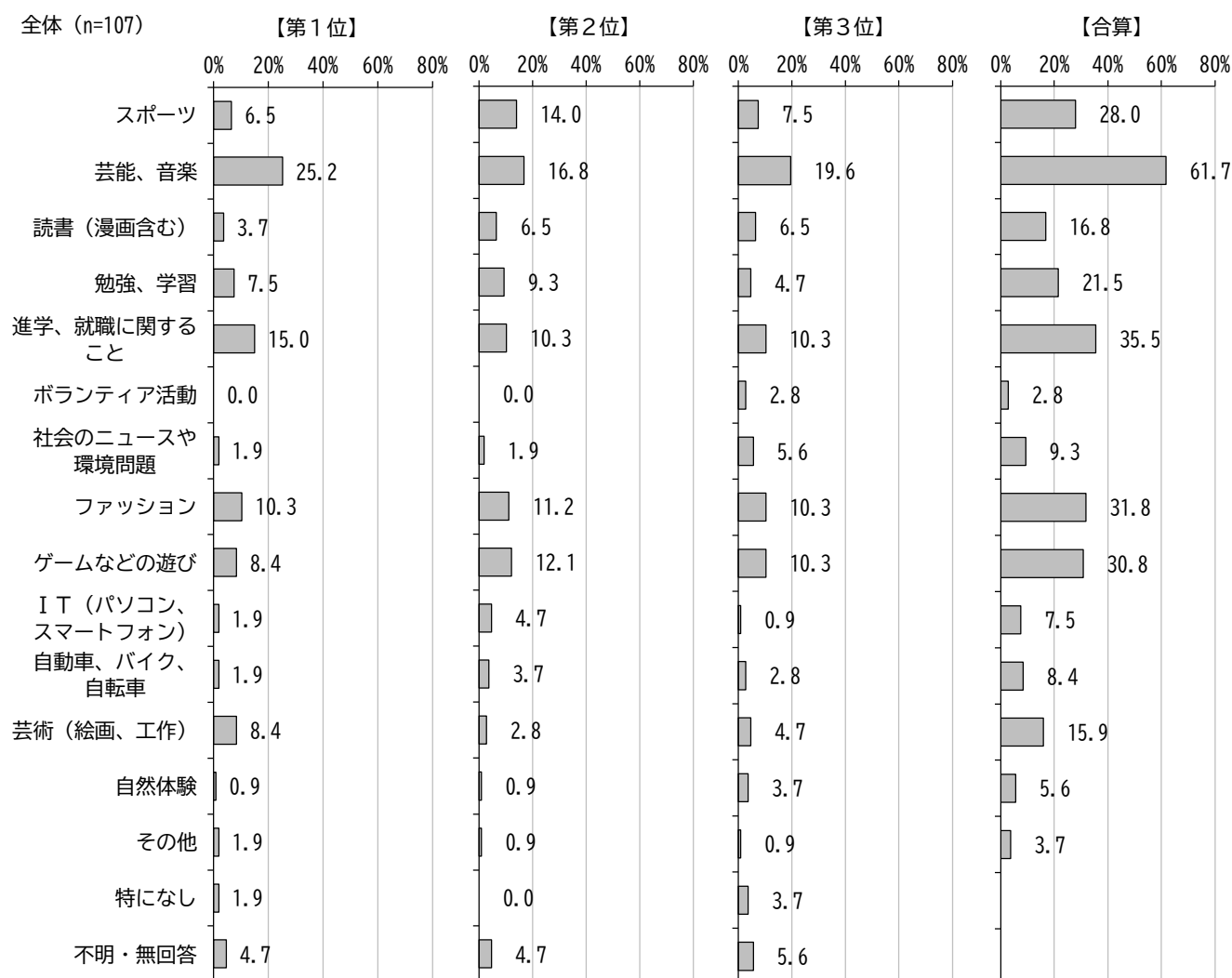
(上位3つまで単数回答)

【第1位】では「芸能、音楽」が25.2%と最も高く、次いで「進学、就職に関すること」が15.0%、「ファッション」が10.3%となっています。

【第2位】では「芸能、音楽」が16.8%と最も高く、次いで「スポーツ」が14.0%、「ゲームなどの遊び」が12.1%となっています。

【第3位】では「芸能、音楽」が19.6%と最も高く、次いで「進学、就職に関すること」「ファッション」「ゲームなどの遊び」が10.3%となっています。

【第1位】から【第3位】の合算では「芸能、音楽」が61.7%と最も高く、次いで「進学、就職に関すること」が35.5%、「ファッション」が31.8%となっています。



【その他回答】

・スケボー

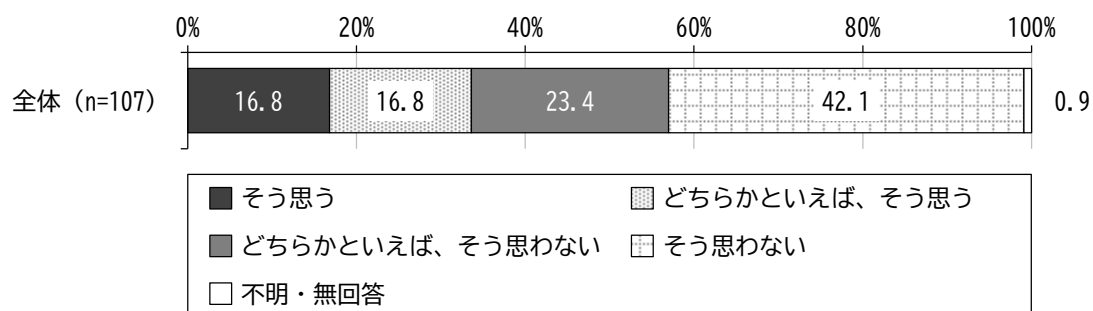
・将棋

・推し活

・料理、製菓

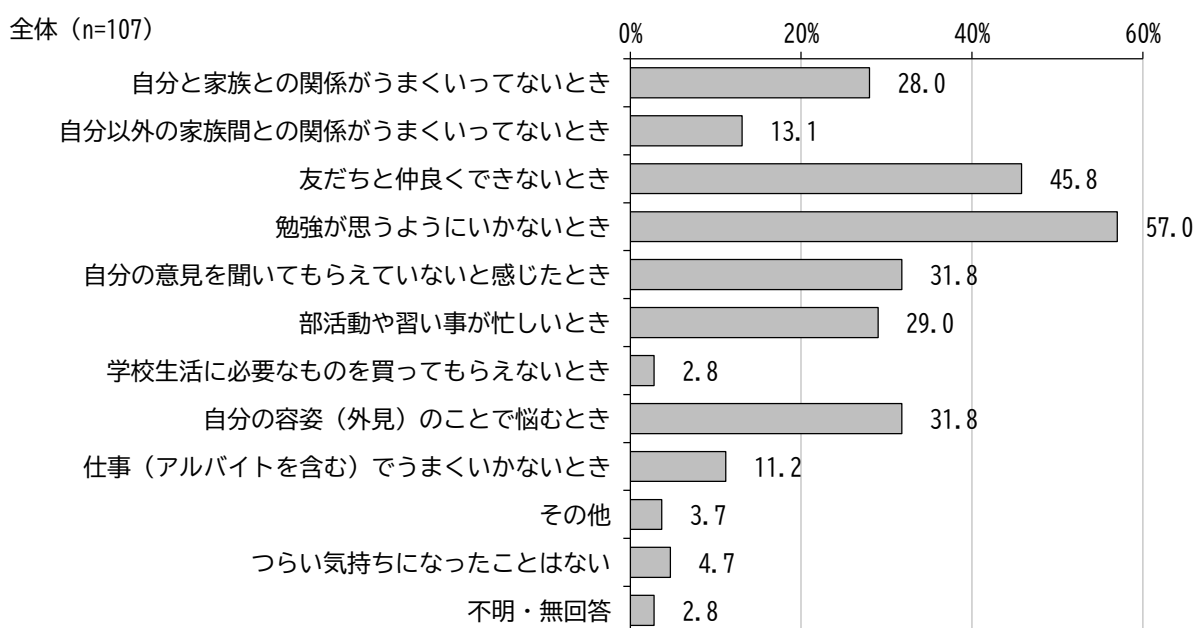
問 18 問 17 で第 1 位と答えたものについて、いなべ市で体験したり情報を得たりする環境は充実していると思いますか。(単数回答)

「そう思わない」が 42.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思わない」が 23.4%、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」が 16.8%となっています。



問 19 あなたがこれまでにつらい気持ちを経験したのはどんなときですか。(複数回答)

「勉強が思うようにいかないとき」が 57.0%と最も高く、次いで「友だちと仲良くできないとき」が 45.8%、「自分の意見を聞いてもらえていないと感じたとき」「自分の容姿（外見）のことで悩むとき」が 31.8%となっています。

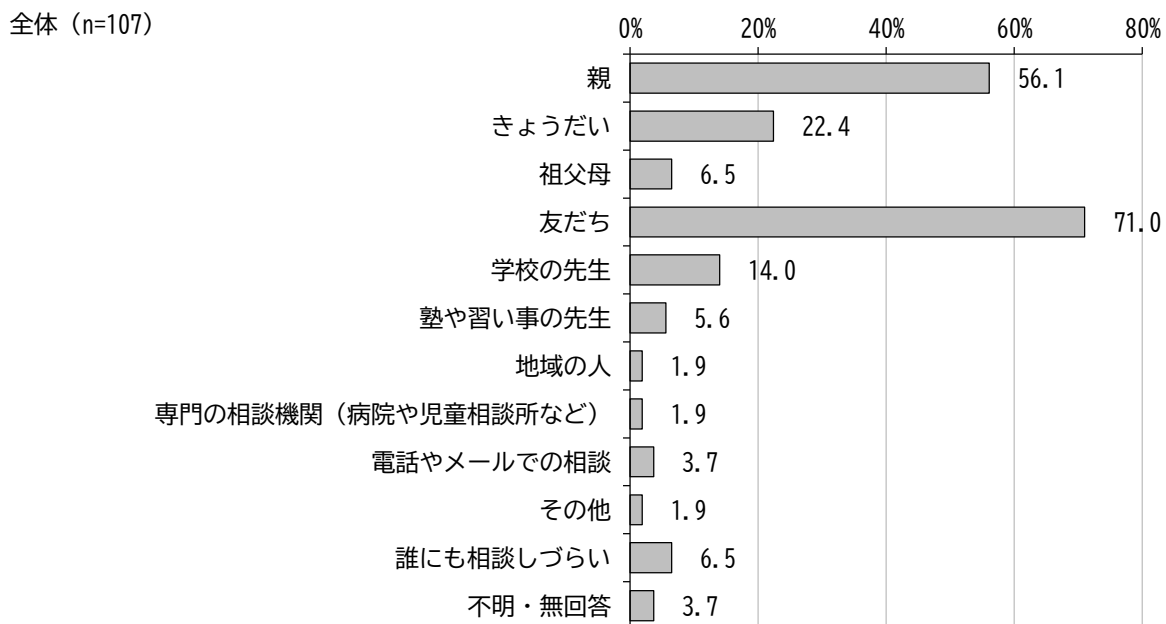


【その他回答】

- ・ 家族をなくした時
- ・ 自分の無力さに気づいたとき
- ・ 父親が亡くなった事
- ・ 部活動でうまくいかない時

問 20 あなたは、困ったことや悩みがあるとき、誰に相談しますか、あるいはしようと思いますか。(複数回答)

「友だち」が71.0%と最も高く、次いで「親」が56.1%、「きょうだい」が22.4%となっています。



【その他回答】

・ ChatGPT

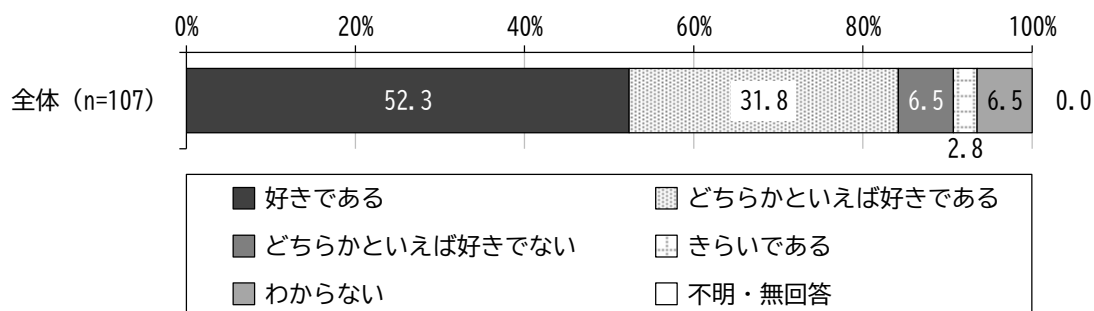
《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15以上〕〔自尊感情中：11～14〕では「友だち」が最も高くなっています。〔自尊感情低：0～10〕では「親」「友だち」が最も高く、「誰にも相談しづらい」が他の区分と比較して高くなっています。

単位：%		親	きょうだい	祖父母	友だち	学校の先生	塾や習い事の先生	地域の人	専門の相談機関（病院や児童相談所など）	電話やメールでの相談	その他	誰にも相談しづらい	不明・無回答
全体 (n=107)		56.1	22.4	6.5	71.0	14.0	5.6	1.9	1.9	3.7	1.9	6.5	3.7
自尊感情別	自尊感情高：15以上 (n=58)	58.6	22.4	10.3	77.6	13.8	6.9	1.7	0.0	0.0	1.7	3.4	1.7
	自尊感情中：11～14 (n=33)	57.6	21.2	0.0	72.7	21.2	6.1	3.0	6.1	12.1	3.0	3.0	3.0
	自尊感情低：0～10 (n=15)	46.7	26.7	6.7	46.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.7	6.7

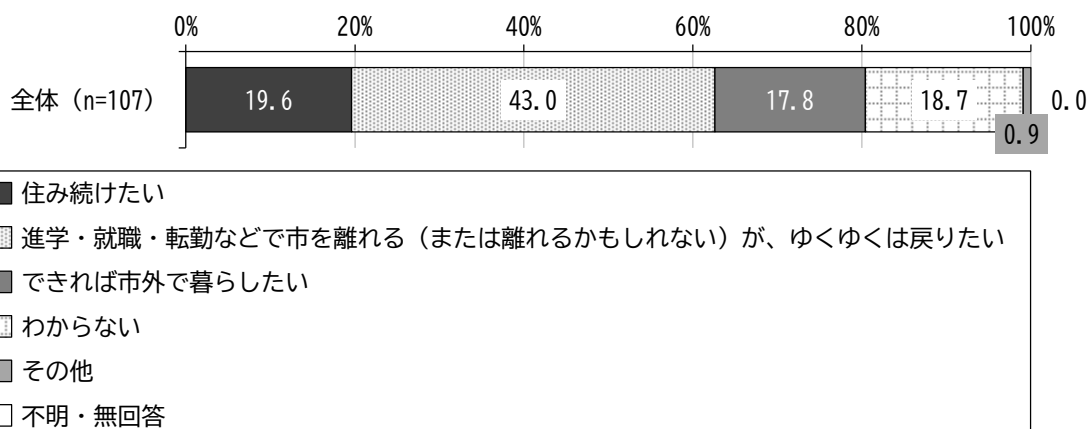
問 21 あなたは、いなべ市が好きですか。(単数回答)

「好きである」が52.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば好きである」が31.8%、「どちらかといえば好きでない」「わからない」が6.5%となっています。



問 22 あなたは今後、いなべ市に住み続けたいと思いますか。(単数回答)

「進学・就職・転勤などで市を離れる（または離れるかもしれない）が、ゆくゆくは戻りたい」が43.0%と最も高く、次いで「住み続けたい」が19.6%、「わからない」が18.7%となっています。



【その他回答】

- ・スケートパークがないからなるべくスケートパークがあるところに住みたい

《クロス集計》いなべ市が好きかどうか別

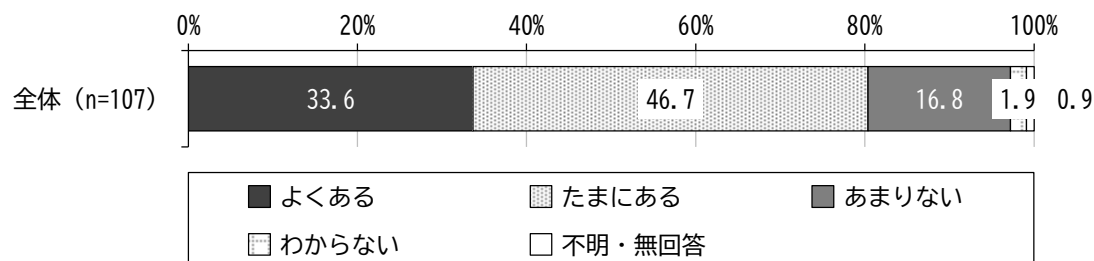
いなべ市が好きかどうか別でみると、〔好きである〕〔どちらかといえば好きである〕では「進学・就職・転勤などで市を離れる（または離れるかもしれない）が、ゆくゆくは戻りたい」が最も高くなっています。

単位：％		住み続けたい	進学・就職・転勤など市を離れる（または離れるかもしれない）が、ゆくゆくは戻りたい	できれば市外で暮らしたい	わからない	その他	不明・無回答
全体（n=107）		19.6	43.0	17.8	18.7	0.9	0.0
いなべ市が好きかどうか別	好きである（n=56）	30.4	51.8	7.1	10.7	0.0	0.0
	どちらかといえば好きである（n=34）	8.8	44.1	11.8	32.4	2.9	0.0
	どちらかといえば好きでない（n=7）	0.0	0.0	85.7	14.3	0.0	0.0
	きらいである（n=3）	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	わからない（n=7）	14.3	28.6	28.6	28.6	0.0	0.0

4. 将来のことや働くことについて

問 23 あなたは、将来（自分の未来）について不安を感じることがありますか。（単数回答）

「たまにある」が46.7%と最も高く、次いで「よくある」が33.6%、「あまりない」が16.8%となっています。



《クロス集計》自尊感情別

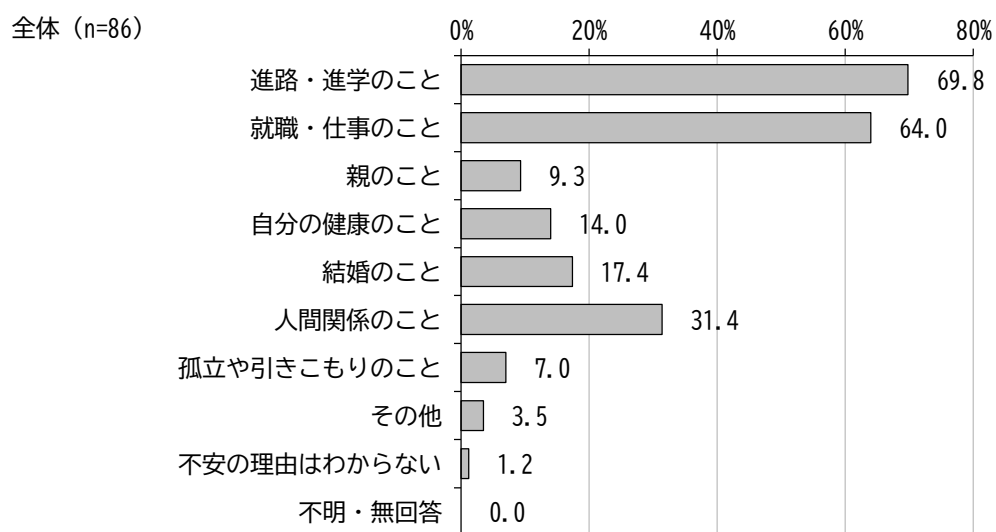
自尊感情別でみると、すべての区分で「たまにある」が最も高くなっています。

単位：％		よくある	たまにある	あまりない	わからない	不明・無回答
全体（n=107）		33.6	46.7	16.8	1.9	0.9
自尊感情別	自尊感情高：15以上（n=58）	37.9	41.4	20.7	0.0	0.0
	自尊感情中：11～14（n=33）	24.2	57.6	15.2	0.0	3.0
	自尊感情低：0～10（n=15）	40.0	46.7	6.7	6.7	0.0

問 23 で「よくある」「たまにある」を選んだ方

問 24 将来に対しての不安は主にどのようなことですか。(複数回答)

「進路・進学のこと」が 69.8%と最も高く、次いで「就職・仕事のこと」が 64.0%、「人間関係のこと」が 31.4%となっています。



【その他回答】

・外国から来たので日本語あまりわからない

・大人になって政治、経済、賃金や物価上昇も不安。

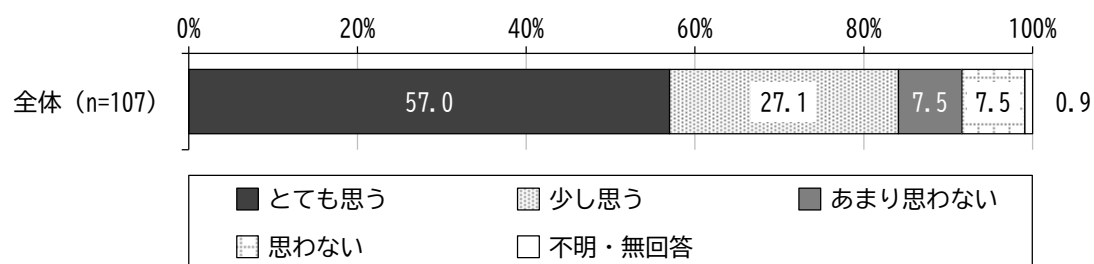
《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15 以上〕〔自尊感情中：11～14〕では「進路・進学のこと」、〔自尊感情低：0～10〕では「就職・仕事のこと」が最も高くなっています。

単位：%		進路・進学のこと	就職・仕事のこと	親のこと	自分の健康のこと	結婚のこと	人間関係のこと	孤立や引きこもりのこと	その他	不安の理由はわからない	不明・無回答
全体 (n=86)		69.8	64.0	9.3	14.0	17.4	31.4	7.0	3.5	1.2	0.0
自尊感情別	自尊感情高：15以上 (n=46)	76.1	63.0	6.5	13.0	17.4	19.6	6.5	4.3	0.0	0.0
	自尊感情中：11～14 (n=27)	66.7	51.9	11.1	14.8	14.8	44.4	3.7	3.7	3.7	0.0
	自尊感情低：0～10 (n=13)	53.8	92.3	15.4	15.4	23.1	46.2	15.4	0.0	0.0	0.0

問 25 あなたは、いつかは結婚したいと思いますか。(単数回答)

「とても思う」が 57.0%と最も高く、次いで「少し思う」が 27.1%、「あまり思わない」「思わない」が 7.5%となっています。



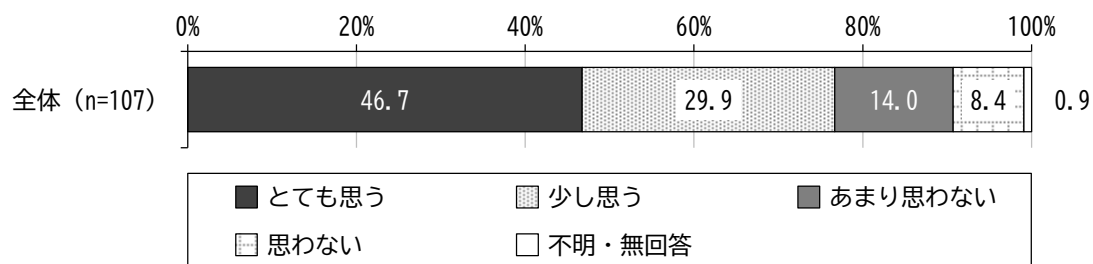
《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15以上〕〔自尊感情中：11～14〕では「とても思う」が最も高くなっています。〔自尊感情低：0～10〕では「少し思う」が最も高く、〔自尊感情低：0～10〕では「思わない」が他の区分と比較して高くなっています。

単位：%		とても 思う	少し 思う	あまり 思わ ない	思わ ない	不明・ 無回 答
全体 (n=107)		57.0	27.1	7.5	7.5	0.9
自尊 感情 別	自尊感情高：15以上 (n=58)	70.7	22.4	5.2	1.7	0.0
	自尊感情中：11～14 (n=33)	48.5	33.3	9.1	9.1	0.0
	自尊感情低：0～10 (n=15)	26.7	33.3	13.3	26.7	0.0

問 26 あなたは、いつかは子どもが欲しいと思いますか。(単数回答)

「とても思う」が 46.7%と最も高く、次いで「少し思う」が 29.9%、「あまり思わない」が 14.0%となっています。



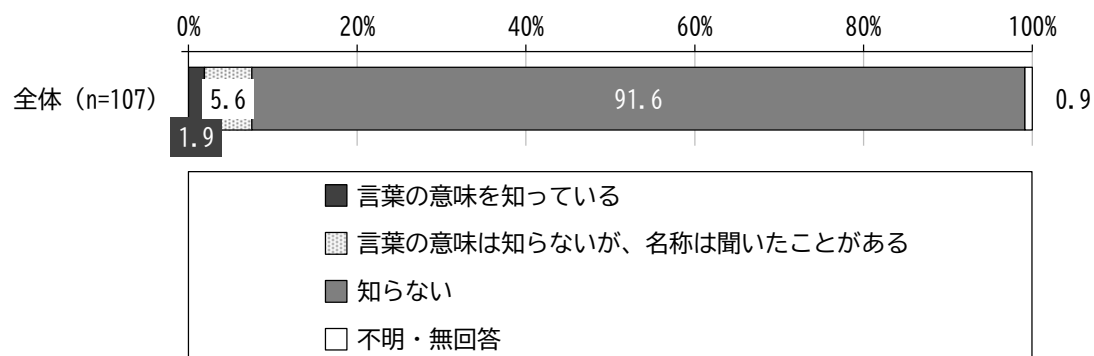
《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15 以上〕では「とても思う」が最も高くなっています。〔自尊感情中：11～14〕〔自尊感情低：0～10〕では「少し思う」が最も高く、〔自尊感情低：0～10〕では「思わない」が他の区分と比較して高くなっています。

単位：%		とても思う	少し思う	あまり思わない	思わない	不明・無回答
全体 (n=107)		46.7	29.9	14.0	8.4	0.9
自尊感情別	自尊感情高：15以上 (n=58)	60.3	22.4	15.5	1.7	0.0
	自尊感情中：11～14 (n=33)	36.4	39.4	15.2	9.1	0.0
	自尊感情低：0～10 (n=15)	20.0	40.0	6.7	33.3	0.0

問27 あなたは、「プレコンセプションケア」について知っていますか。(単数回答)

「知らない」が91.6%と最も高く、次いで「言葉の意味は知らないが、名称は聞いたことがある」が5.6%、「言葉の意味を知っている」が1.9%となっています。



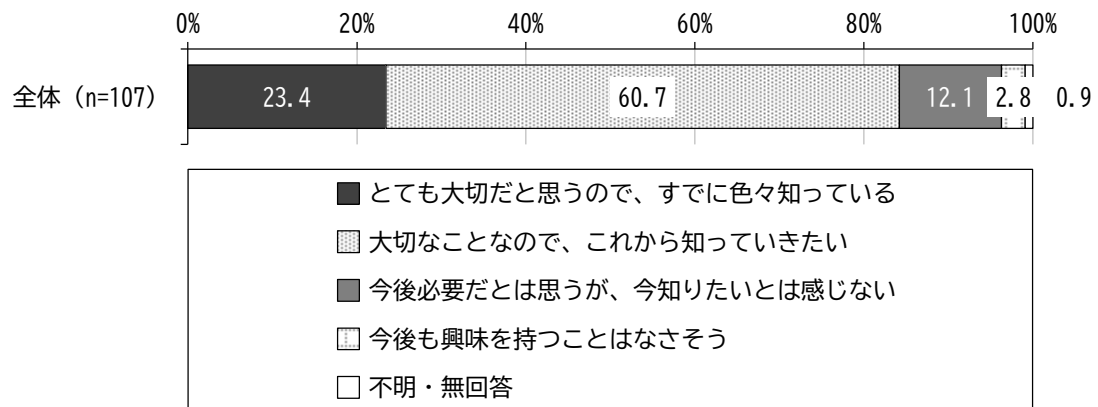
《クロス集計》性別

性別でみると、男女ともに「知らない」が最も高くなっています。

単位：%		言葉の意味を知っている	言葉の意味は知らないが、名称は聞いたことがある	知らない	不明・無回答
全体 (n=107)		1.9	5.6	91.6	0.9
性別	男性 (n=45)	0.0	6.7	93.3	0.0
	女性 (n=60)	3.3	5.0	90.0	1.7

問 28 将来の自分の体や家族のために、妊娠や出産について今から知っておくことは大切だと思いますか。（単数回答）

「大切なことなので、これから知っていきたい」が 60.7%と最も高く、次いで「とても大切だと思うので、すでに色々知っている」が 23.4%、「今後必要だとは思うが、今知りたいとは感じない」が 12.1%となっています。



《クロス集計》性別

性別でみると、男女ともに「大切なことなので、これから知っていきたい」が最も高くなっています。

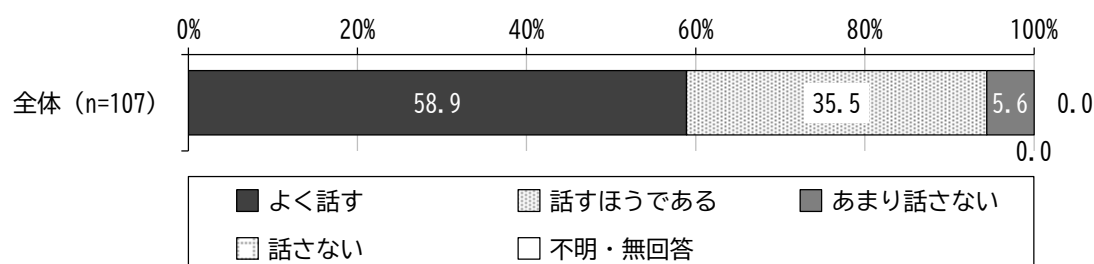
単位：%		とても大切だと思うので、すでに色々知っている	大切なことなので、これから知っていきたい	今後必要だとは思うが、今知りたいとは感じない	今後も興味を持つことはなさそう	不明・無回答
全体 (n=107)		23.4	60.7	12.1	2.8	0.9
性別	男性 (n=45)	24.4	64.4	11.1	0.0	0.0
	女性 (n=60)	23.3	58.3	13.3	3.3	1.7

5. ご家庭のことについて

問 29 あなたは、日頃保護者の方とどれくらい話していますか。(単数回答)

※保護者と暮らす人は、よく話をする人を基準に回答してください。

「よく話す」が 58.9%と最も高く、次いで「話すほうである」が 35.5%、「あまり話さない」が 5.6%となっています。



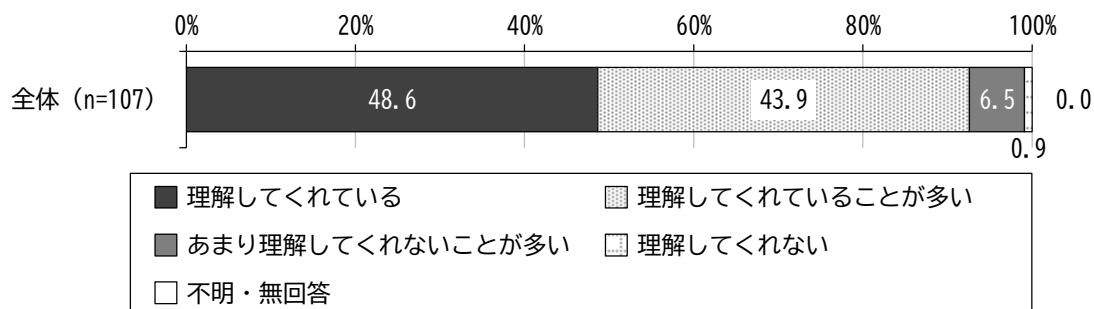
《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15 以上〕〔自尊感情中：11～14〕では「よく話す」、〔自尊感情低：0～10〕では「話すほうである」が最も高くなっています。

単位：%		よく話す	話すほうである	あまり話さない	話さない	不明・無回答
全体 (n=107)		58.9	35.5	5.6	0.0	0.0
自尊感情別	自尊感情高：15以上 (n=58)	63.8	29.3	6.9	0.0	0.0
	自尊感情中：11～14 (n=33)	54.5	39.4	6.1	0.0	0.0
	自尊感情低：0～10 (n=15)	46.7	53.3	0.0	0.0	0.0

問 30 保護者は、自分を理解してくれていると思いますか。(単数回答)

「理解してくれている」が48.6%と最も高く、次いで「理解してくれていることが多い」が43.9%、「あまり理解してくれないことが多い」が6.5%となっています。



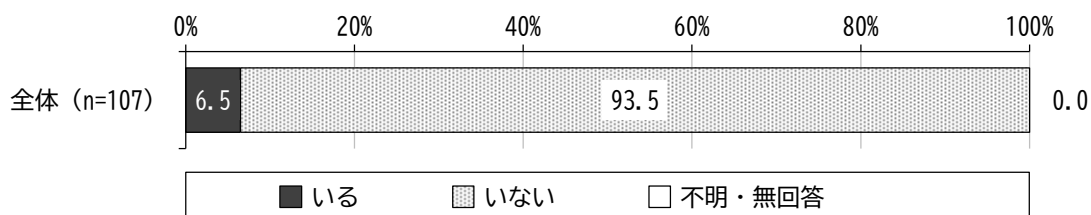
《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15以上〕では「理解してくれている」、〔自尊感情中：11～14〕〔自尊感情低：0～10〕では「理解してくれていることが多い」が最も高くなっています。

単位：%		理解してくれている	理解してくれていることが多い	あまり理解してくれないことが多い	理解してくれない	不明・無回答
全体 (n=107)		48.6	43.9	6.5	0.9	0.0
自尊感情別	自尊感情高：15以上 (n=58)	62.1	34.5	1.7	1.7	0.0
	自尊感情中：11～14 (n=33)	42.4	48.5	9.1	0.0	0.0
	自尊感情低：0～10 (n=15)	6.7	73.3	20.0	0.0	0.0

問 31 家族のなかにあなたがお世話をしている人がいますか。(ここで「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族の世話を指します。)(単数回答)

「いない」が93.5%と、「いる」の6.5%を上回っています。



問31で「いる」を選んだ方

問32 あなたは誰のお世話をしていますか。(複数回答)

「きょうだい」が71.4%（5件）と最も高く、次いで「父・母」「祖父母」が42.9%（3件）となっています。

全体 (n=7)	件数	%
父・母	3	42.9
祖父母	3	42.9
きょうだい	5	71.4
その他	2	28.6
不明・無回答	0	0.0

【その他回答】

・猫

問31で「いる」を選んだ方

問33 あなたはどのようなお世話をしていますか。(複数回答)

「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」「きょうだいのお世話や送り迎え」「入浴やトイレのお世話」「外出の付き添い」が42.9%（3件）と最も高くなっています。

全体 (n=7)	件数	%
家事（食事の準備や掃除、洗濯）	3	42.9
きょうだいのお世話や送り迎え	3	42.9
入浴やトイレのお世話	3	42.9
外出の付き添い	3	42.9
通訳（日本語や手話など）	0	0.0
お金の管理	2	28.6
薬の管理	1	14.3
その他	2	28.6
不明・無回答	0	0.0

問31で「いる」を選んだ方

問34 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みについて誰かに相談したことはありますか。(単数回答)

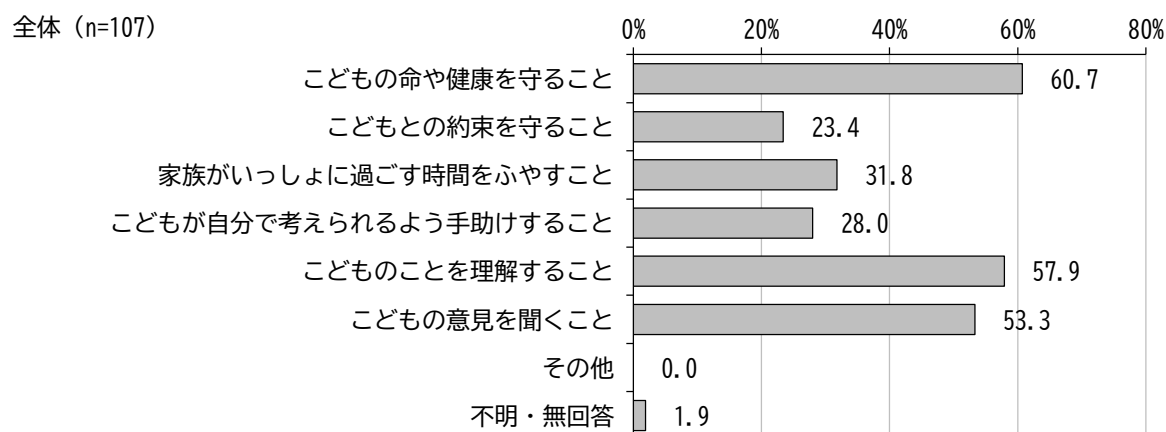
「ない」が57.1%（4件）と、「ある」の14.3%（1件）を上回っています。

全体 (n=7)	件数	%
ある	1	14.3
ない	4	57.1
不明・無回答	2	28.6

6. いなべ市のこども政策等について

問 35 皆さんのくらしや成長を支えるため、大人に心がけてほしいのはどんなことですか。
(3つまで複数回答)

「こどもの命や健康を守ること」が60.7%と最も高く、次いで「こどものことを理解すること」が57.9%、「こどもの意見を聞くこと」が53.3%となっています。



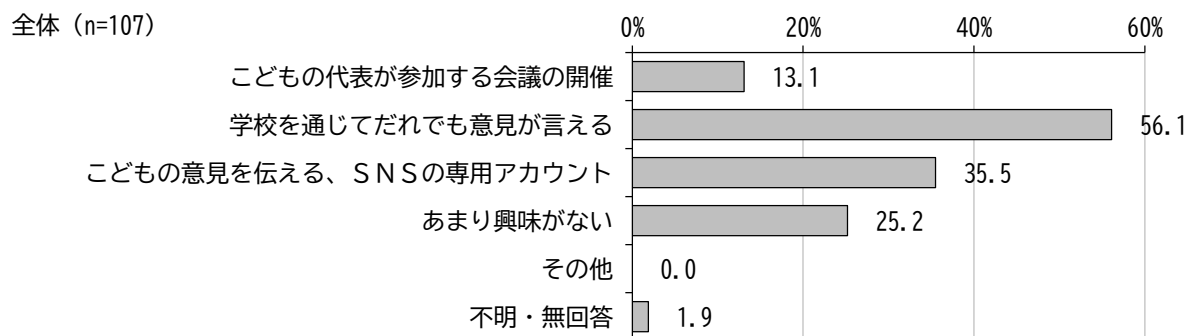
《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15以上〕では「こどもの命や健康を守ること」、〔自尊感情中：11～14〕では「こどものことを理解すること」、〔自尊感情低：0～10〕では「こどものことを理解すること」「こどもの意見を聞くこと」が最も高くなっています。

単位：%		こどもの命や健康を守る	こどもとの約束を守るこ	家族がいっしょに過ごす時間	こどもが自分で考えられるよう手助けすること	こどものことを理解すること	こどもの意見を聞くこと	その他	不明・無回答
全体 (n=107)		60.7	23.4	31.8	28.0	57.9	53.3	0.0	1.9
自尊感情別	自尊感情高：15以上 (n=58)	72.4	24.1	32.8	22.4	55.2	51.7	0.0	1.7
	自尊感情中：11～14 (n=33)	48.5	21.2	39.4	39.4	66.7	57.6	0.0	0.0
	自尊感情低：0～10 (n=15)	46.7	26.7	13.3	26.7	53.3	53.3	0.0	0.0

問 36 こどもの意見を伝えようと思うと、どのような方法が良いですか。(複数回答)

「学校を通じてだれでも意見が言える」が 56.1%と最も高く、次いで「こどもの意見を伝える、SNSの専用アカウント」が 35.5%、「あまり興味がない」が 25.2%となっています。

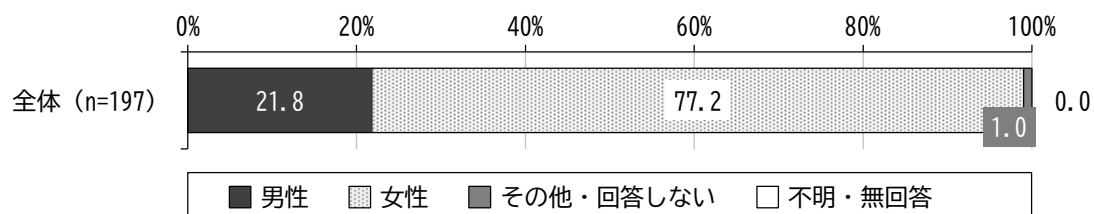


IV 18～39 歳対象調査結果

1 あなた自身について

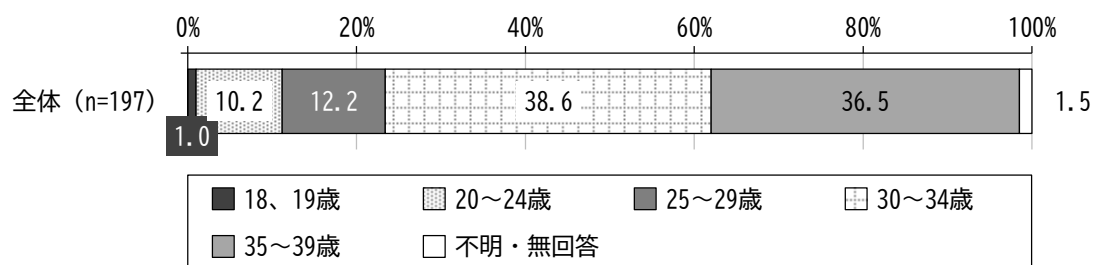
問1 あなたの性別をお答えください。(単数回答)

「男性」が21.8%、「女性」が77.2%、「その他・回答しない」が1.0%となっています。



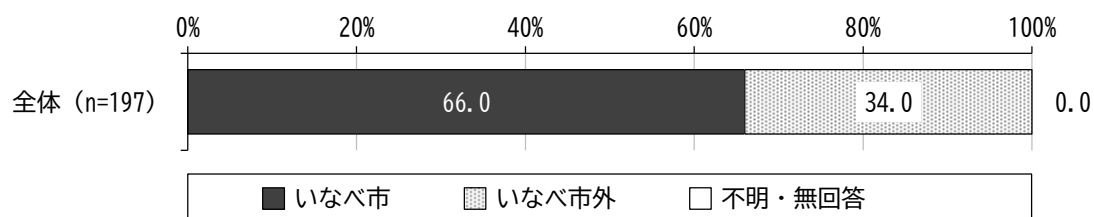
問2 あなたの年齢をお答えください。(令和7年4月1日時点)(数量回答)

「30～34 歳」が38.6%と最も高く、次いで「35～39 歳」が36.5%、「25～29 歳」が12.2%となっています。



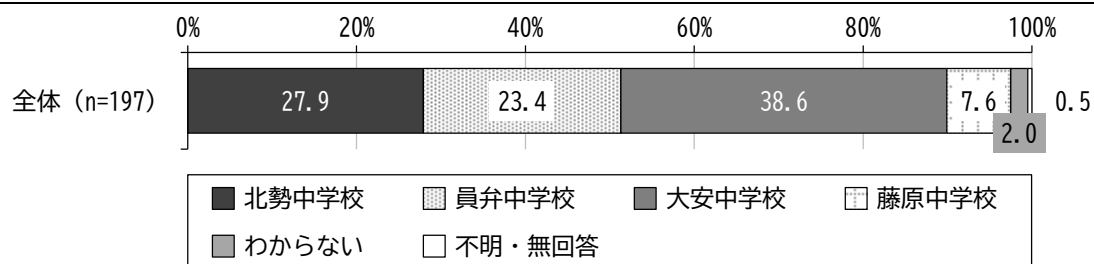
問3 あなたの出身地をお答えください。(単数回答)

「いなべ市」が66.0%と、「いなべ市外」の34.0%を上回っています。



問4 あなたのお住まいの中学校区をお答えください。(単数回答)

「大安中学校」が38.6%と最も高く、次いで「北勢中学校」が27.9%、「員弁中学校」が23.4%となっています。

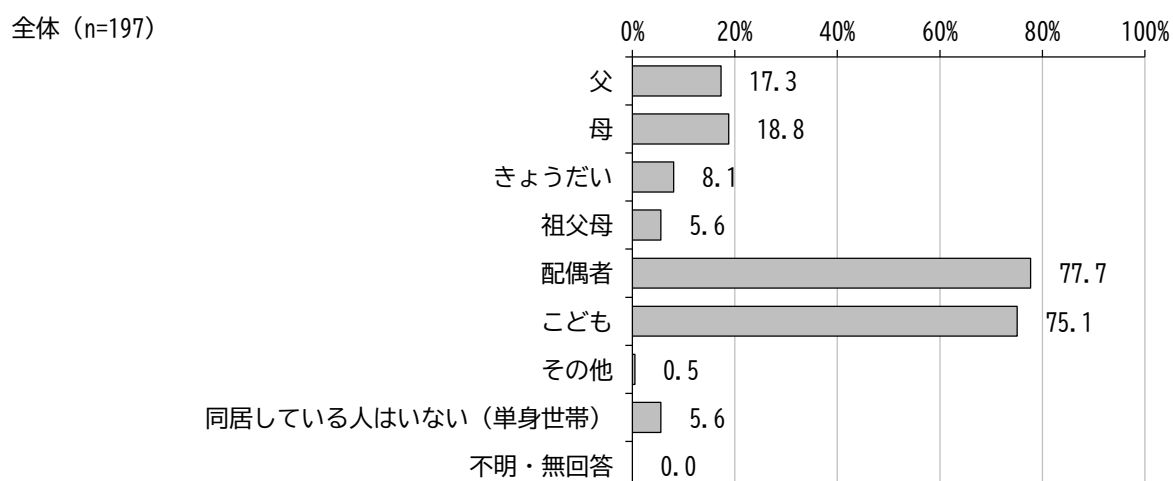


「わからない」を選んだ方の【町名】

・菰野町 ・桑名市陽だまりの丘

問5 現在、あなたと同居している方をお答えください。(複数回答)

「配偶者」が77.7%と最も高く、次いで「こども」が75.1%、「母」が18.8%となっています。



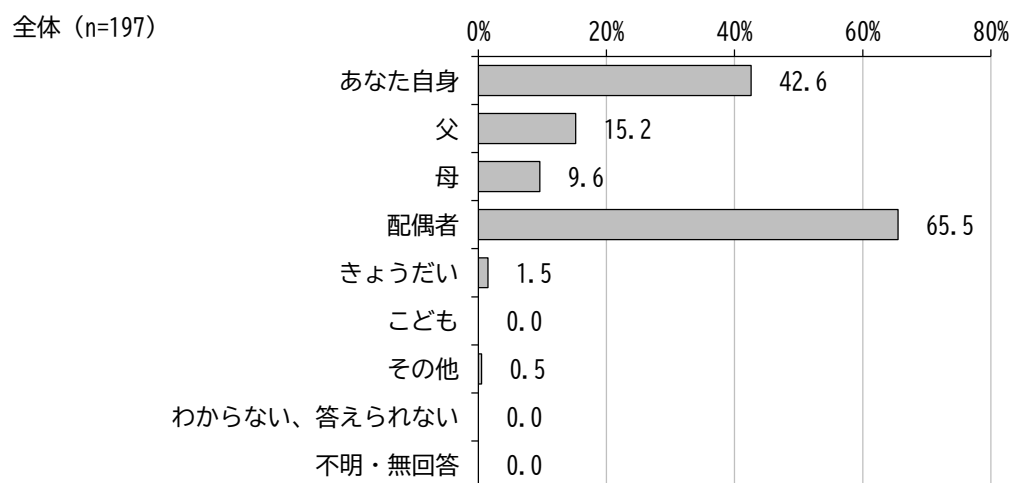
【その他回答】

・甥

問6 あなたの家の生計について、以下の（１）と（２）のそれぞれにお答えください。

（１）生計を支えている方は主にどなたですか。また、仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。（複数回答）

「配偶者」が65.5%と最も高く、次いで「あなた自身」が42.6%、「父」が15.2%となっています。

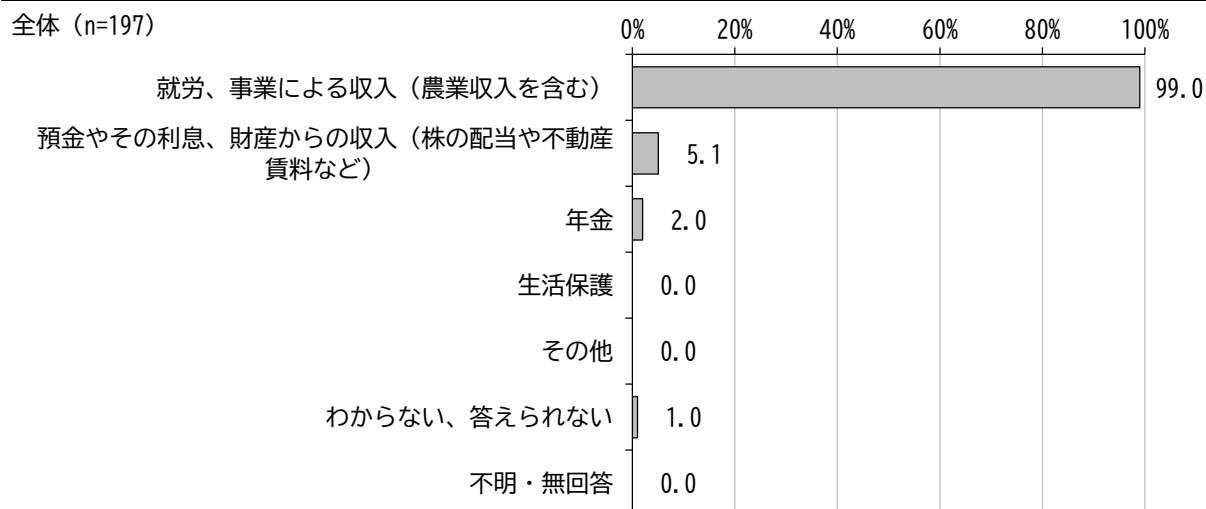


【その他回答】

・夫婦共に同じぐらいの収入で2人で支えています。妻の私は夫の扶養に入っていません。

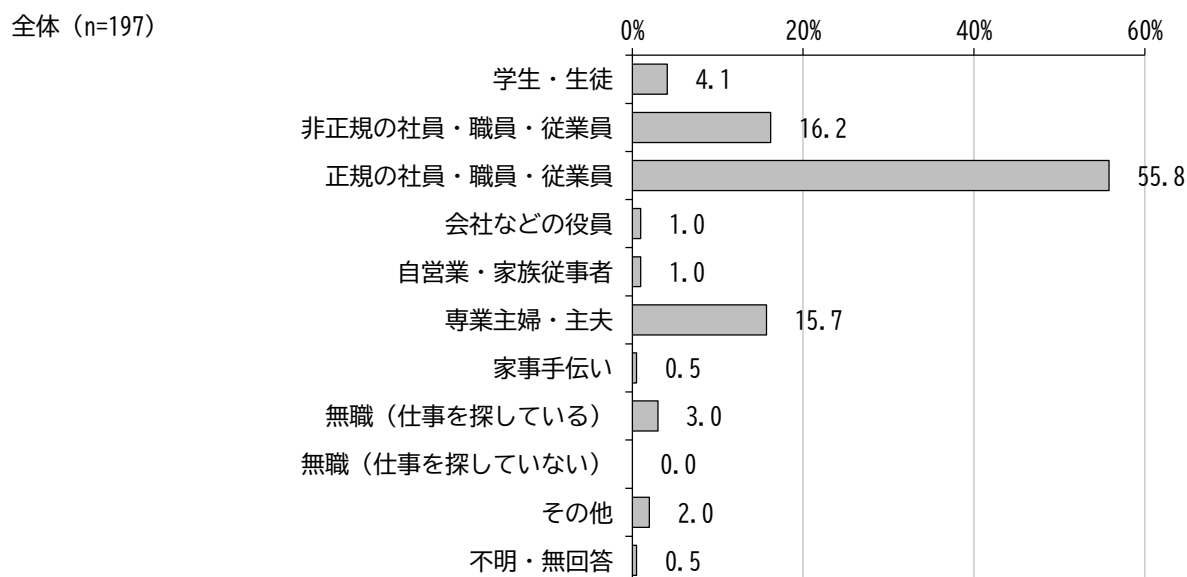
（２）家の生計の主な収入源は何ですか。（複数回答）

「就労、事業による収入（農業収入を含む）」が99.0%と最も高く、次いで「預金やその利息、財産からの収入（株の配当や不動産賃料など）」が5.1%、「年金」が2.0%となっています。



問7 あなたの現在について、あてはまるものをお答えください。(単数回答)

「正規の社員・職員・従業員」が 55.8%と最も高く、次いで「非正規の社員・職員・従業員」が 16.2%、「専業主婦・主夫」が 15.7%となっています。

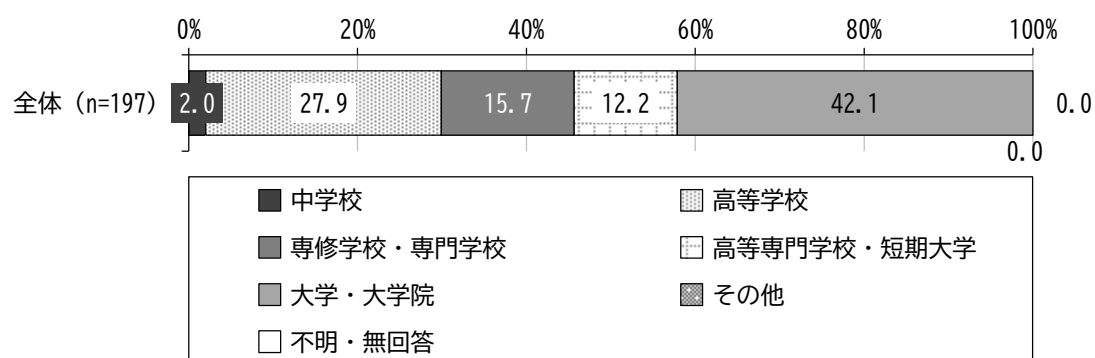


【その他回答】

・ 育休中（2件） ・ 育休 ・ パート

問8 あなたが最後に卒業した学校はどこですか。在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。(単数回答)

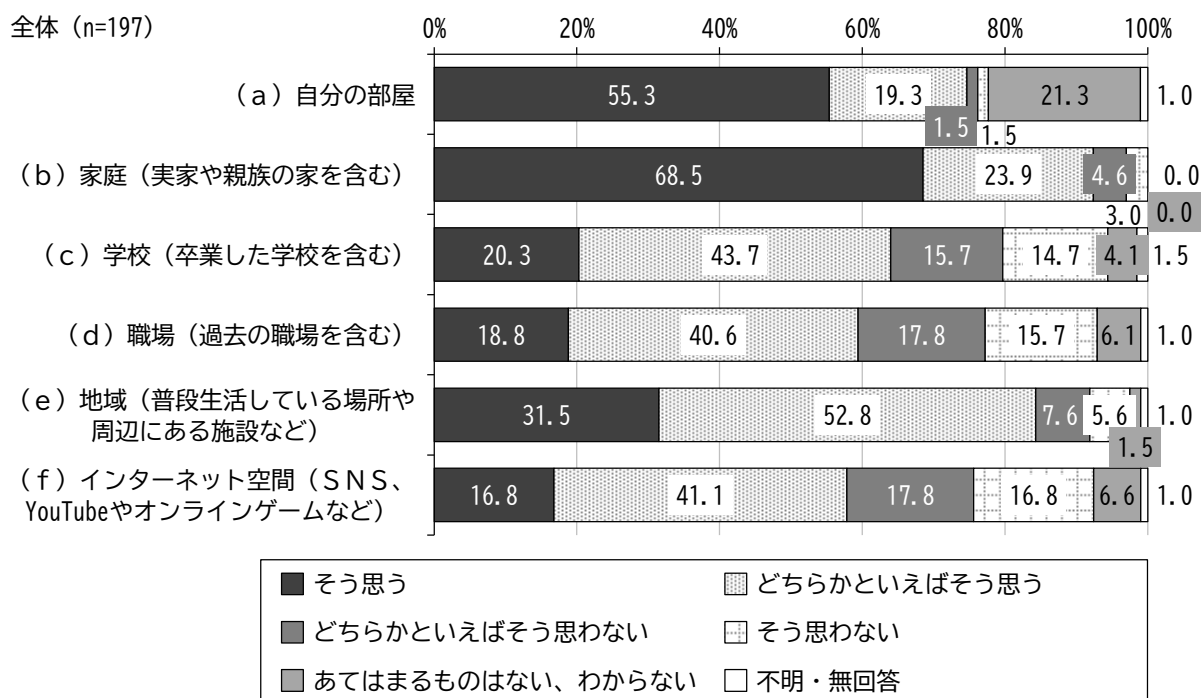
「大学・大学院」が 42.1%と最も高く、次いで「高等学校」が 27.9%、「専修学校・専門学校」が 15.7%となっています。



2. 普段の生活について

問9 次の場所は、今のあなたにとって、ほっとできる居場所や居心地の良い居場所になっていますか。（それぞれ単数回答）

『思う』（「思う」と「どちらかといえば思う」の合計）では、[(b) 家庭（実家や親族の家を含む）] [(e) 地域（普段生活している場所や周辺にある施設など）] で8割以上と高くなっています。



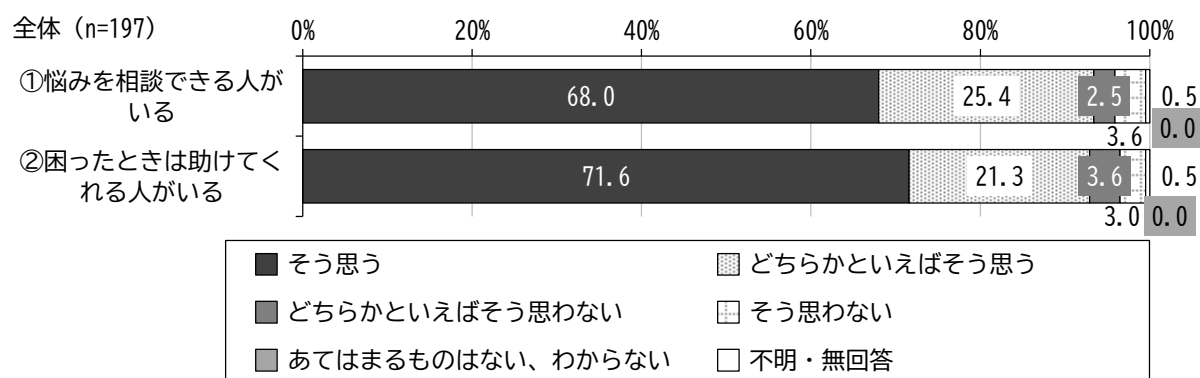
問 10 周囲の人とあなたのかかわりは、現在、どのようなものですか。

((a)～(e)の①、②それぞれ単数回答)

(a) 家族・親族とのかかわり

〔①悩みを相談できる人がいる〕では「そう思う」が 68.0%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 25.4%、「そう思わない」が 3.6%となっています。

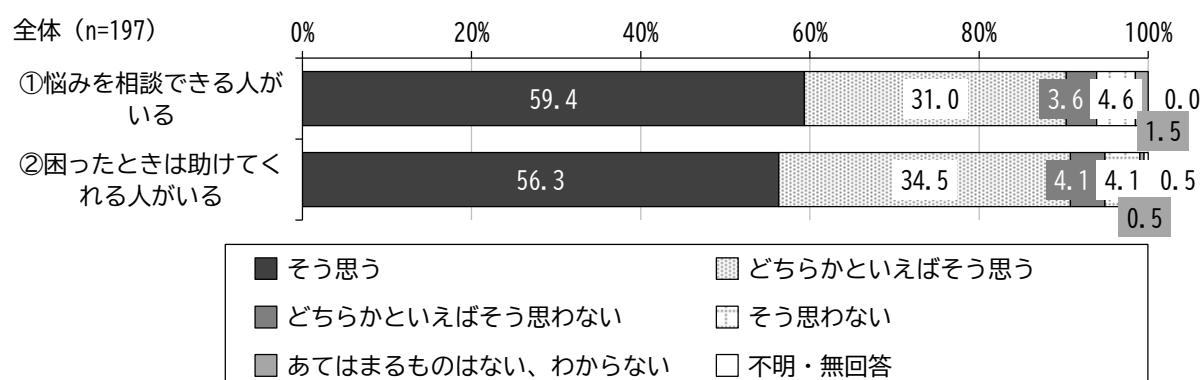
〔②困ったときは助けてくれる人がいる〕では「そう思う」が 71.6%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 21.3%、「どちらかといえばそう思わない」が 3.6%となっています。



(b) 友人（学校・職場・趣味などで付き合いのある人）とのかかわり

〔①悩みを相談できる人がいる〕では「そう思う」が 59.4%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 31.0%、「そう思わない」が 4.6%となっています。

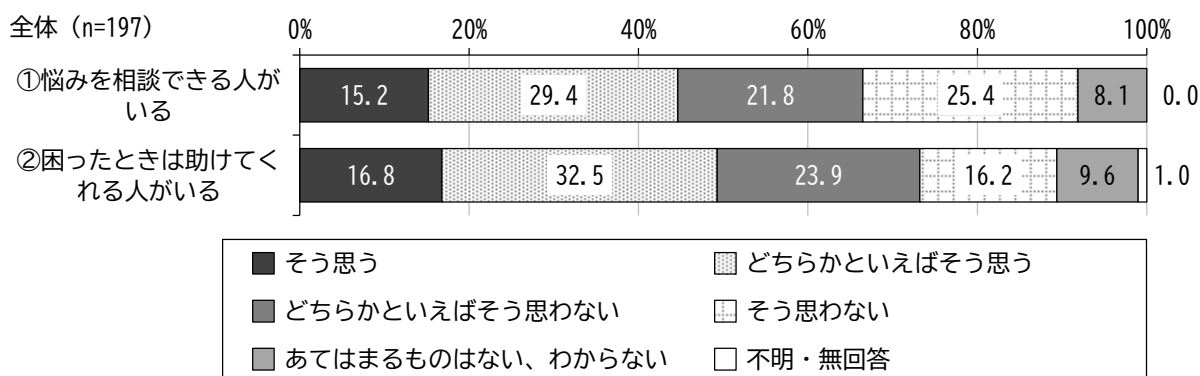
〔②困ったときは助けてくれる人がいる〕では「そう思う」が 56.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 34.5%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が 4.1%となっています。



(c) 地域の人（近所の人、町内会などの知人、塾や習い事での知人、地域のNPO団体など）とのかかわり

〔①悩みを相談できる人がいる〕では「どちらかといえばそう思う」が29.4%と最も高く、次いで「そう思わない」が25.4%、「どちらかといえばそう思わない」が21.8%となっています。

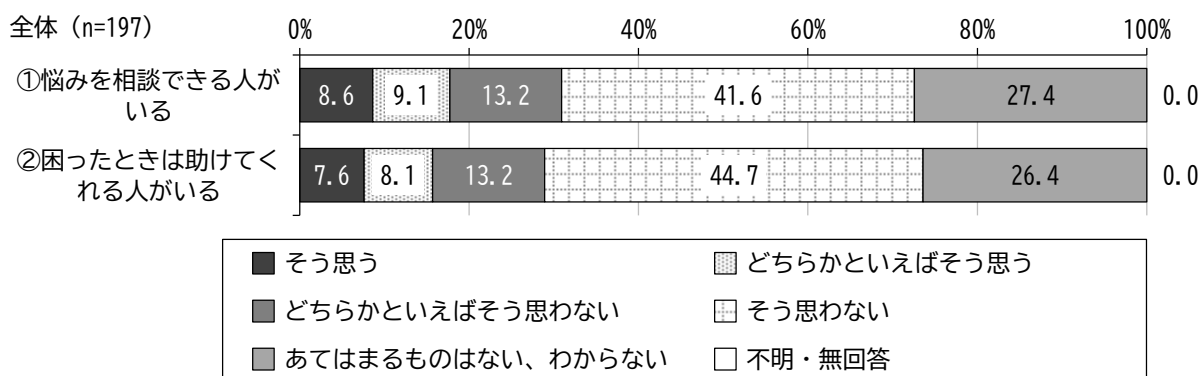
〔②困ったときは助けてくれる人がいる〕では「どちらかといえばそう思う」が32.5%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が23.9%、「そう思う」が16.8%となっています。



(d) インターネット上における人やグループ（実際には会ったことがない、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ）とのかかわり

〔①悩みを相談できる人がいる〕では「そう思わない」が41.6%と最も高く、次いで「あてはまるものはない、わからない」が27.4%、「どちらかといえばそう思わない」が13.2%となっています。

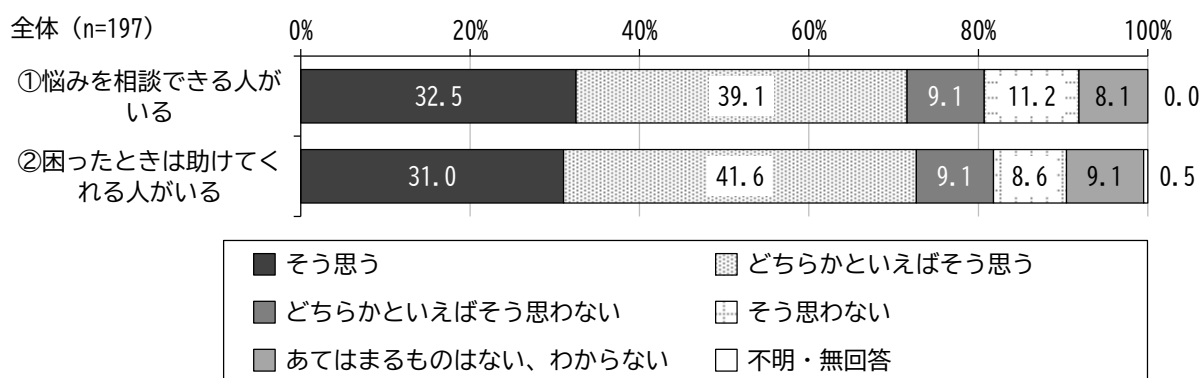
〔②困ったときは助けてくれる人がいる〕では「そう思わない」が44.7%と最も高く、次いで「あてはまるものはない、わからない」が26.4%、「どちらかといえばそう思わない」が13.2%となっています。



(e) 職場・アルバイト関係の人（現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）とのかかわり

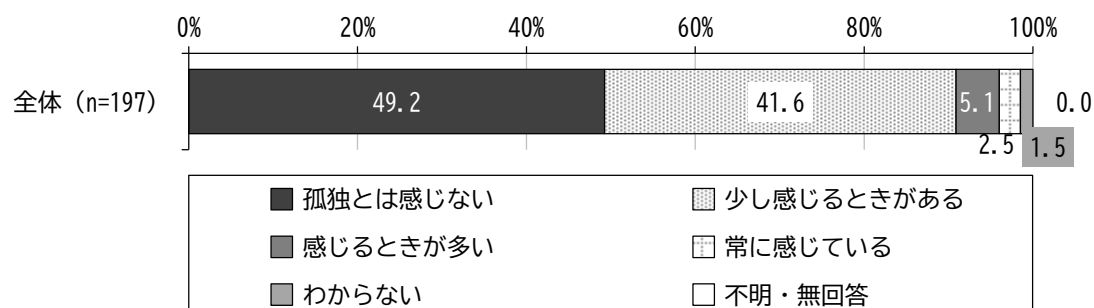
〔①悩みを相談できる人がいる〕では「どちらかといえばそう思う」が 39.1%と最も高く、次いで「そう思う」が 32.5%、「そう思わない」が 11.2%となっています。

〔②困ったときは助けてくれる人がいる〕では「どちらかといえばそう思う」が 41.6%と最も高く、次いで「そう思う」が 31.0%、「どちらかといえばそう思わない」「あてはまるものはない、わからない」が 9.1%となっています。



問 11 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(単数回答)

「孤独とは感じない」が 49.2%と最も高く、次いで「少し感じるときがある」が 41.6%、「感じるときが多い」が 5.1%となっています。



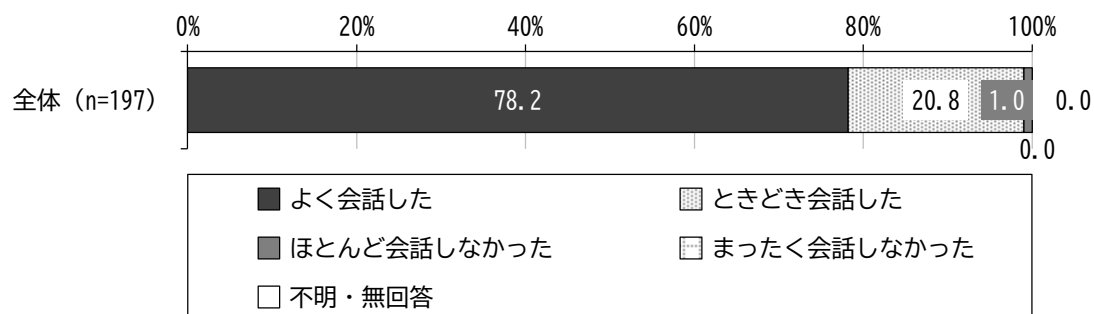
《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15以上〕では「孤独とは感じない」、〔自尊感情中：11～14〕〔自尊感情低：0～10〕では「少し感じるときがある」が最も高くなっています。〔自尊感情低：0～10〕では「感じるときが多い」「常に感じている」が他の区分と比較して高くなっています。

単位：％		孤独とは感じない	少し感じるときがある	感じるときが多い	常に感じている	わからない	不明・無回答
全体 (n=197)		49.2	41.6	5.1	2.5	1.5	0.0
自尊感情別	自尊感情高：15以上 (n=70)	72.9	24.3	2.9	0.0	0.0	0.0
	自尊感情中：11～14 (n=92)	45.7	51.1	1.1	1.1	1.1	0.0
	自尊感情低：0～10 (n=35)	11.4	51.4	20.0	11.4	5.7	0.0

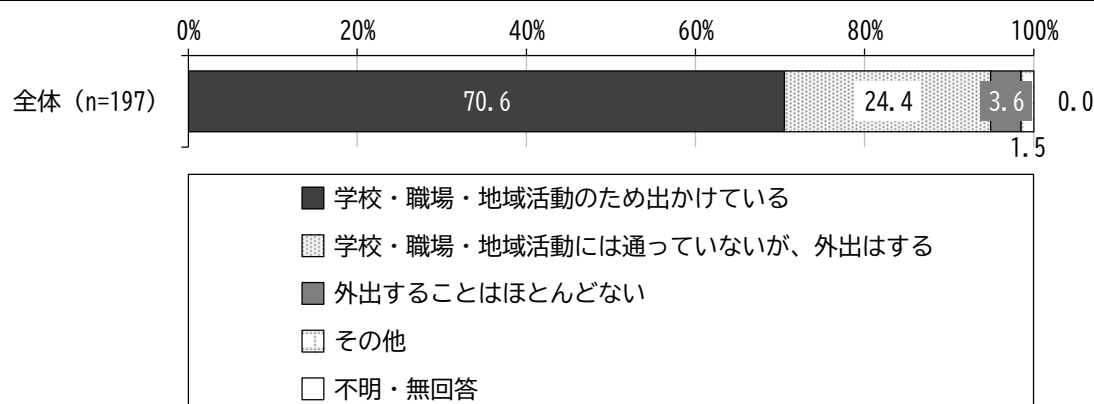
問 12 最近6か月間に、家族以外の人と会話をしましたか。(単数回答)

「よく会話をした」が78.2%と最も高く、次いで「ときどき会話をした」が20.8%、「ほとんど会話をしなかった」が1.0%となっています。



問 13 最近6か月の状況について、最も近いものをお選びください。(単数回答)

「学校・職場・地域活動のため出かけている」が70.6%と最も高く、次いで「学校・職場・地域活動には通っていないが、外出はする」が24.4%、「外出することはほとんどない」が3.6%となっています。



【その他回答】

・こどもとでかける

・瑠璃庵

問 13 で「外出することはほとんどない」を選んだ方

問 13-1 現在の外出状況について、あなたはどのように思いますか。(単数回答)

「特に困っていることはない」が71.4%（5件）と最も高く、次いで「困っている」が28.6%（2件）となっています。

全体 (n=7)	件数	%
特に困っていることはない	5	71.4
困っている	2	28.6
その他	0	0.0
不明・無回答	0	0.0

問 13-1 で「困っている」を選んだ方

問 13-2 あなたの外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。(数量回答)

「25～29 歳」「30～34 歳」が50.0%（1件）となっています。

全体 (n=2)	件数	%
10 歳未満	0	0.0
10～14 歳	0	0.0
15～19 歳	0	0.0
20～24 歳	0	0.0
25～29 歳	1	50.0
30～34 歳	1	50.0
35～39 歳	0	0.0
不明・無回答	0	0.0

問 13-1 で「困っている」を選んだ方

問 13-3 現在の外出状況となった思い当たるきっかけはありますか。(複数回答)

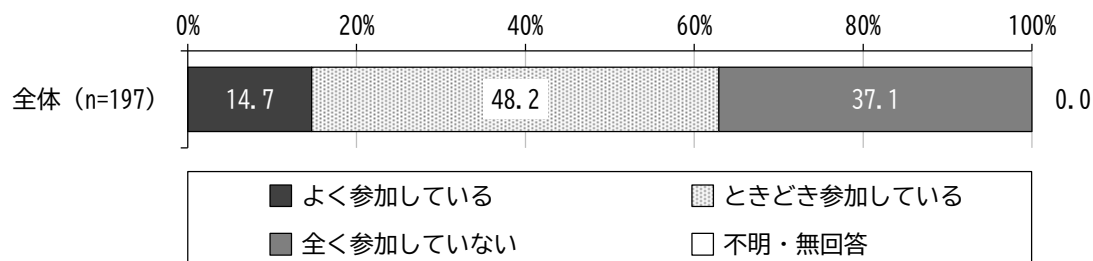
「家族との関係や家庭環境」が 50.0% (1 件) となっています。

全体 (n=2)	件数	%
学校・職場・地域での人間関係の悩み	0	0.0
心身の不調 (病気・障がいなど)	0	0.0
家族との関係や家庭環境	1	50.0
自信の喪失や将来への不安	0	0.0
経済的な理由	0	0.0
その他	1	50.0
不明・無回答	0	0.0

3. 地域社会との関係について

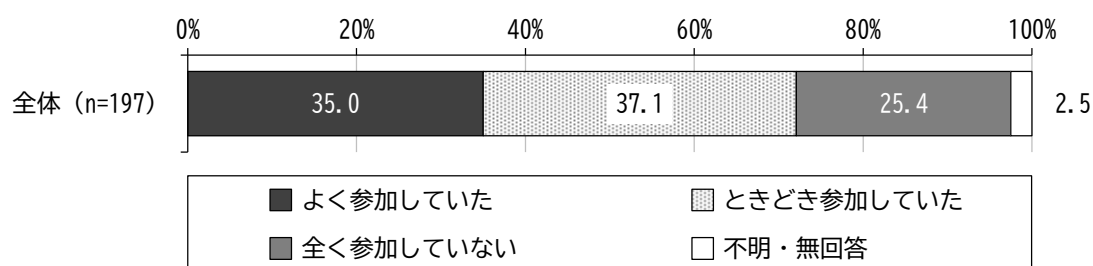
問 14 あなたは、現在地域の行事などにどの程度参加していますか。(単数回答)

「ときどき参加している」が48.2%と最も高く、次いで「全く参加していない」が37.1%、「よく参加している」が14.7%となっています。



問 15 あなたは、過去に地域の行事にどの程度参加していましたか。また、「よく参加していた」「ときどき参加していた」と回答した方は、何歳頃までか教えてください。(単数回答)

「ときどき参加していた」が37.1%と最も高く、次いで「よく参加していた」が35.0%、「全く参加していない」が25.4%となっています。

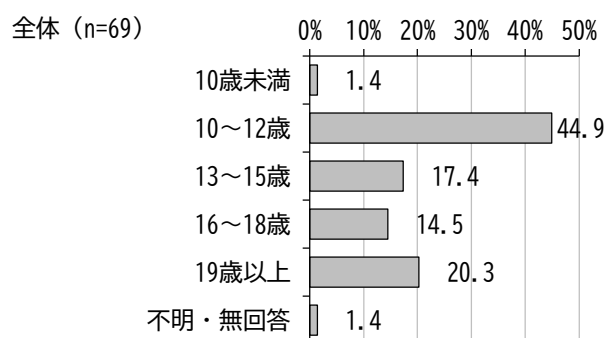


問 15 で「よく参加していた」「ときどき参加していた」を選んだ方
参加していた年齢／() 歳頃まで (数量回答)

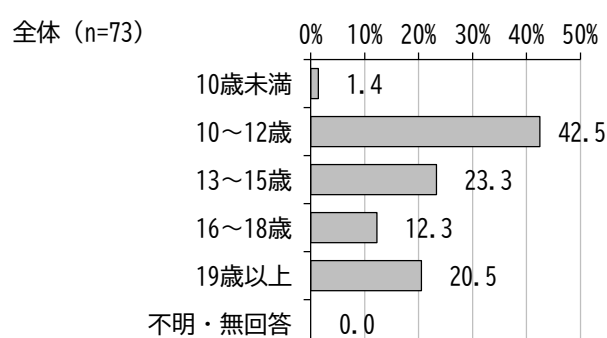
よく参加していた方では「10～12 歳」が44.9%と最も高く、次いで「19 歳以上」が20.3%、「13～15 歳」が17.4%となっています。

ときどき参加していた方では「10～12 歳」が42.5%と最も高く、次いで「13～15 歳」が23.3%、「19 歳以上」が20.5%となっています。

●よく参加していた方の年齢

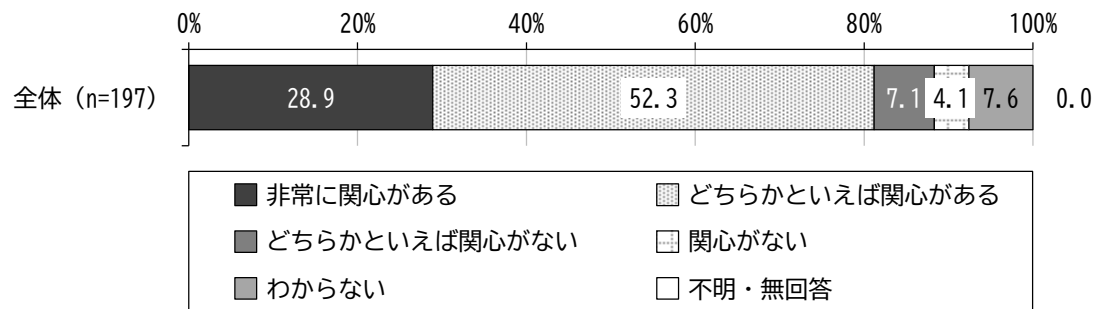


●ときどき参加していた方の年齢



問 16 あなたは、現在のいなべ市の取組や行事にどのくらい関心がありますか。(単数回答)

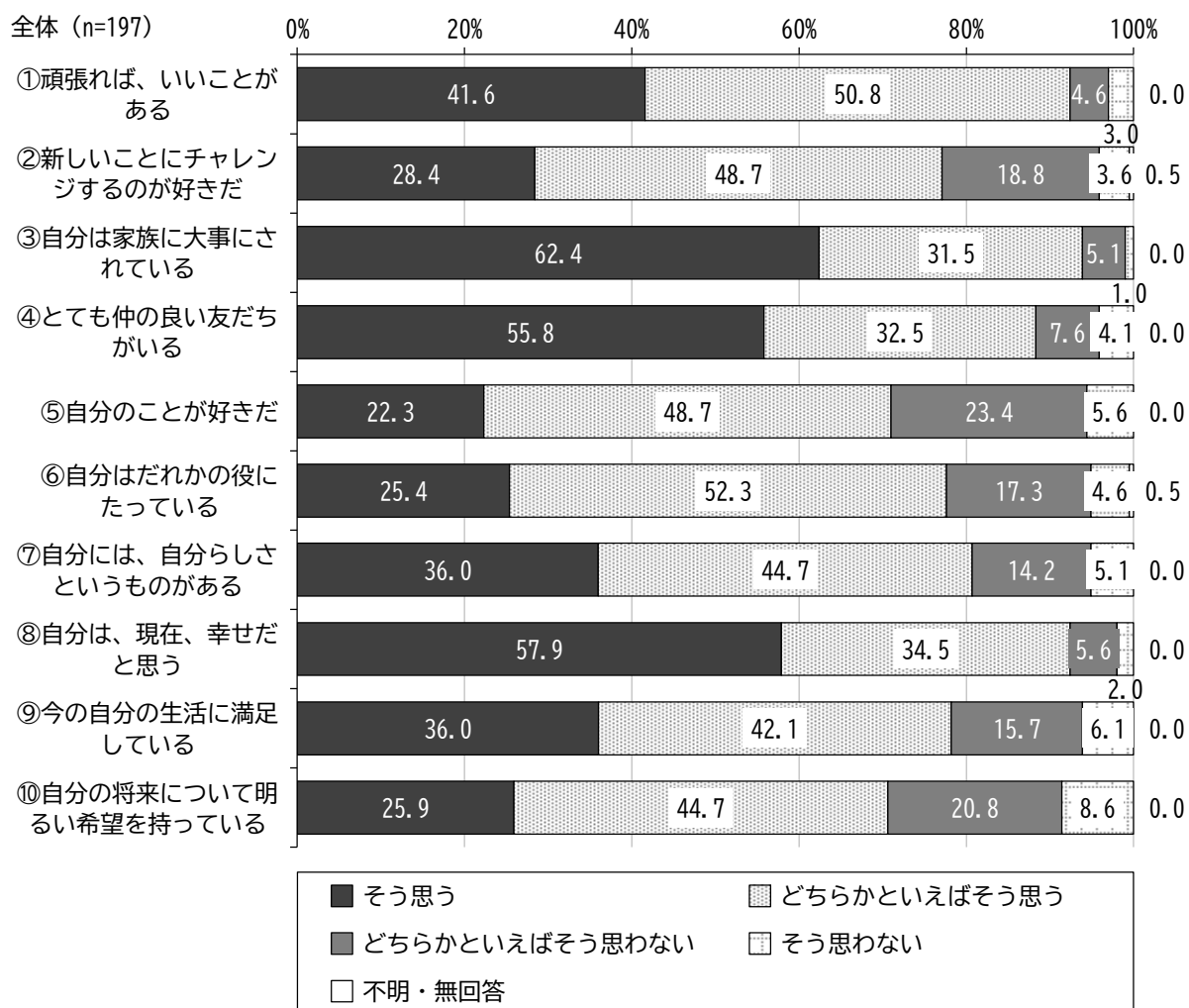
「どちらかといえば関心がある」が 52.3%と最も高く、次いで「非常に関心がある」が 28.9%、「わからない」が 7.6%となっています。



4. あなた自身に関する意識・考え方について

問 17 あなた自身の意識や考え方について、最も近いものを教えてください。（それぞれ単数回答）

『思う』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）では、[①頑張れば、いいことがある] [③自分は家族に大事にされている] [⑧自分は、現在、幸せだと思う] で9割以上と高くなっています。



①頑張れば、いいことがある《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15以上〕では「そう思う」が最も高くなっています。〔自尊感情中：11～14〕〔自尊感情低：0～10〕では「どちらかといえばそう思う」が最も高く、〔自尊感情低：0～10〕では「そう思わない」が他の区分と比較して高くなっています。

単位：％		そう 思う	そど う ち ら う か と い え ば	そど う ち ら わ か な と い え ば	そう 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答
全体（n=197）		41.6	50.8	4.6	3.0	0.0
自尊感情別	自尊感情高：15以上 （n=70）	78.6	21.4	0.0	0.0	0.0
	自尊感情中：11～14 （n=92）	26.1	70.7	2.2	1.1	0.0
	自尊感情低：0～10 （n=35）	8.6	57.1	20.0	14.3	0.0

②新しいことにチャレンジするのが好きだ《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15以上〕では「そう思う」、〔自尊感情中：11～14〕では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。〔自尊感情低：0～10〕では「どちらかといえばそう思わない」が最も高く、「そう思わない」が他の区分と比較して高くなっています。

単位：％		そう 思う	そど う ち ら う か と い え ば	そど う ち ら わ か な と い え ば	そう 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答
全体（n=197）		28.4	48.7	18.8	3.6	0.5
自尊感情別	自尊感情高：15以上 （n=70）	54.3	40.0	4.3	0.0	1.4
	自尊感情中：11～14 （n=92）	16.3	60.9	20.7	2.2	0.0
	自尊感情低：0～10 （n=35）	8.6	34.3	42.9	14.3	0.0

④とても仲の良い友だちがいる《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15以上〕、〔自尊感情中：11～14〕では「そう思う」が最も高くなっています。〔自尊感情低：0～10〕では「どちらかといえばそう思う」が最も高く、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が他の区分と比較して高くなっています。

単位：％		そう 思う	そど う ち ら う か と い え ば	そど う ち ら わ か な い え ば	そ う 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答
全体（n=197）		55.8	32.5	7.6	4.1	0.0
自尊感情別	自尊感情高：15以上 （n=70）	91.4	8.6	0.0	0.0	0.0
	自尊感情中：11～14 （n=92）	48.9	43.5	7.6	0.0	0.0
	自尊感情低：0～10 （n=35）	2.9	51.4	22.9	22.9	0.0

⑧自分は、現在、幸せだと思う《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15以上〕では「そう思う」が最も高くなっています。〔自尊感情中：11～14〕〔自尊感情低：0～10〕では「どちらかといえばそう思う」が最も高く、〔自尊感情低：0～10〕では「そう思わない」が他の区分と比較して高くなっています。

単位：％		そう 思う	そど う ち ら う か と い え ば	そど う ち ら わ か な い え ば	そ う 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答
全体（n=197）		57.9	34.5	5.6	2.0	0.0
自尊感情別	自尊感情高：15以上 （n=70）	94.3	5.7	0.0	0.0	0.0
	自尊感情中：11～14 （n=92）	42.4	51.1	6.5	0.0	0.0
	自尊感情低：0～10 （n=35）	25.7	48.6	14.3	11.4	0.0

⑨今の自分の生活に満足している《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15以上〕では「そう思う」、〔自尊感情中：11～14〕では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。〔自尊感情低：0～10〕では「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」が最も高く、「そう思わない」が他の区分と比較して高くなっています。

単位：％		そう 思う	そど う 思 う か と い え ば	そど う 思 わ か な い え ば	そう 思 わ ない	不 明 ・ 無 回 答
全体（n=197）		36.0	42.1	15.7	6.1	0.0
自 尊 感 情 別	自尊感情高：15以上 （n=70）	65.7	31.4	2.9	0.0	0.0
	自尊感情中：11～14 （n=92）	21.7	53.3	18.5	6.5	0.0
	自尊感情低：0～10 （n=35）	14.3	34.3	34.3	17.1	0.0

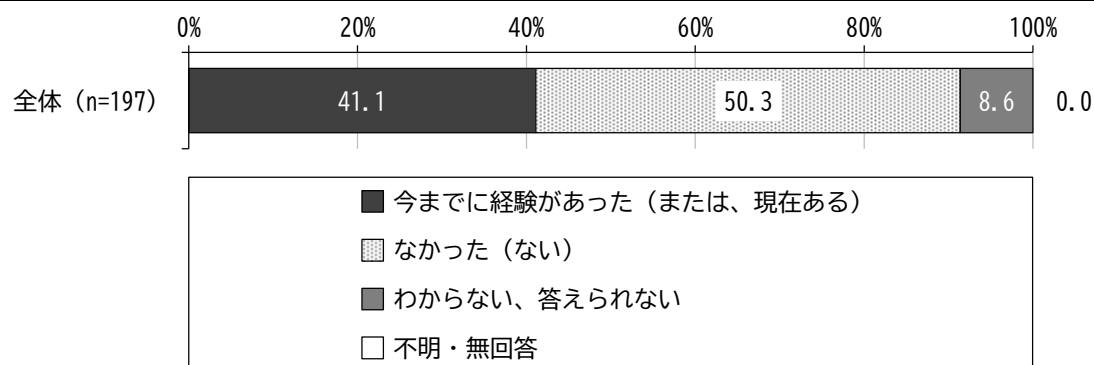
⑩自分の将来について明るい希望を持っている《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15以上〕では「そう思う」、〔自尊感情中：11～14〕では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。〔自尊感情低：0～10〕では「どちらかといえばそう思わない」が最も高く、「そう思わない」が他の区分と比較して高くなっています。

単位：％		そう 思う	思ど う ち ら か と い え ば そ う	思ど わ ち ら か と い え ば そ う	そう 思 わ ない	不 明 ・ 無 回 答
全体（n=197）		25.9	44.7	20.8	8.6	0.0
自 尊 感 情 別	自尊感情高：15以上 （n=70）	55.7	37.1	7.1	0.0	0.0
	自尊感情中：11～14 （n=92）	13.0	55.4	25.0	6.5	0.0
	自尊感情低：0～10 （n=35）	0.0	31.4	37.1	31.4	0.0

問 18 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送っていない状況にありますか。最もあてはまるものを選んでください。(単数回答)

「なかった (ない)」が 50.3%と最も高く、次いで「今までに経験があった (または、現在ある)」が 41.1%、「わからない、答えられない」が 8.6%となっています。



《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15 以上〕〔自尊感情中：11～14〕では「なかった (ない)」、〔自尊感情低：0～10〕では「今までに経験があった (または、現在ある)」が最も高くなっています。

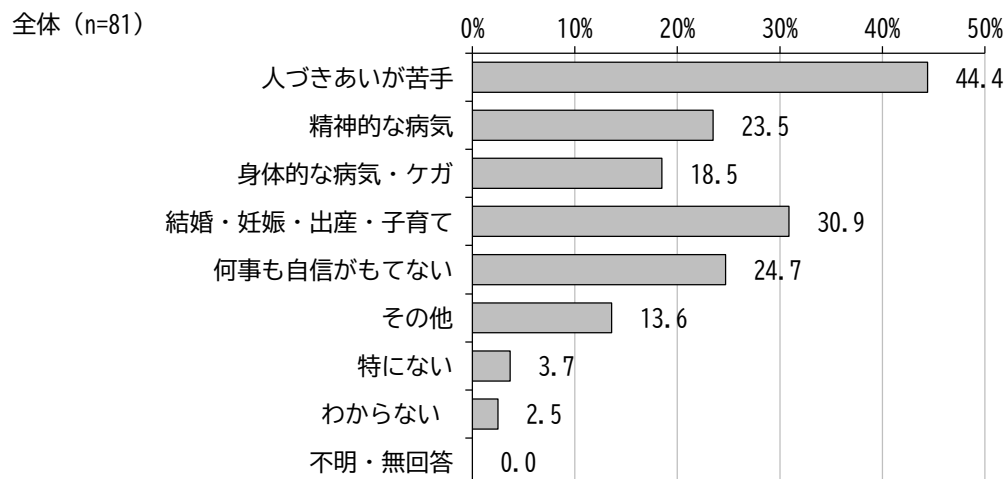
単位：%		今までに経験があった (または、現在ある)	なかった (ない)	わからない、 答えられない	不明・無回答
全体 (n=197)		41.1	50.3	8.6	0.0
自尊感情別	自尊感情高：15以上 (n=70)	38.6	57.1	4.3	0.0
	自尊感情中：11～14 (n=92)	33.7	56.5	9.8	0.0
	自尊感情低：0～10 (n=35)	65.7	20.0	14.3	0.0

問 18 で「今までに経験があった（または、現在ある）」を選んだ方

問 18-1 そうした問題を経験した、または現在経験している、思い当たる原因があれば、以下の
（１）～（４）のそれぞれにお答えください。（それぞれ複数回答）

（１）自分自身について

「人づきあいが苦手」が 44.4%と最も高く、次いで「結婚・妊娠・出産・子育て」が 30.9%、「何事も自信がもてない」が 24.7%となっています。

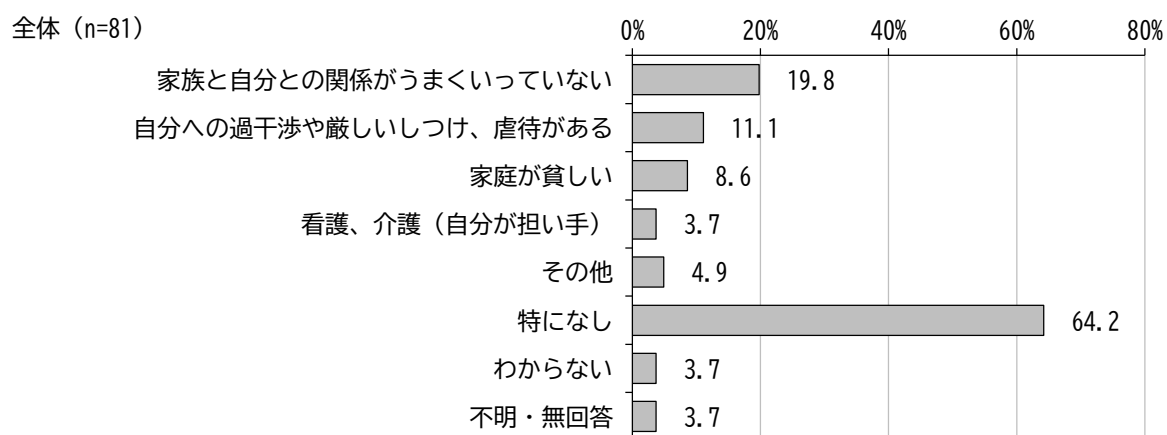


【その他回答】

- ・ いじめ
- ・ シングルハラスメントを受ける
- ・ 過労
- ・ 義父母との関係
- ・ 県外からの引っ越し
- ・ 元夫のモラハラで悩みました。
- ・ 後回しにしがち
- ・ 仕事内容
- ・ 中学の時の友達付き合い
- ・ 離婚

(2) 家族・家庭について

「特になし」が 64.2%と最も高く、次いで「家族と自分との関係がうまくいっていない」が 19.8%、「自分への過干渉や厳しいしつけ、虐待がある」が 11.1%となっています。

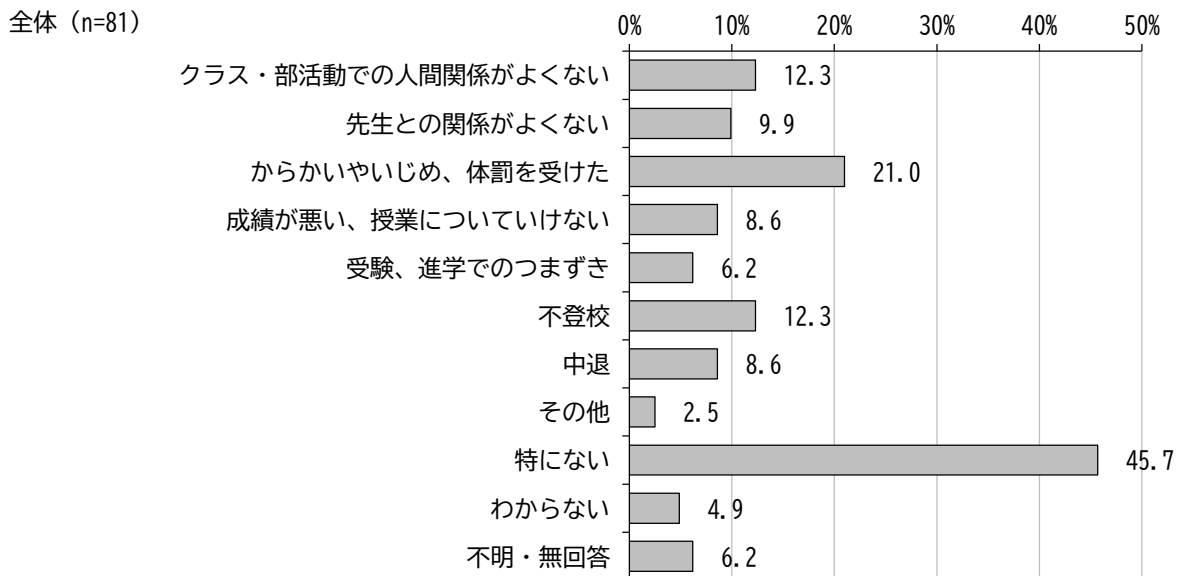


【その他回答】

- ・ 敷地内同居
- ・ パートナーがお金に無頓着

(3) 学校について

「特になし」が45.7%と最も高く、次いで「からかいやいじめ、体罰を受けた」が21.0%、「クラス・部活動での人間関係が良くない」「不登校」が12.3%となっています。

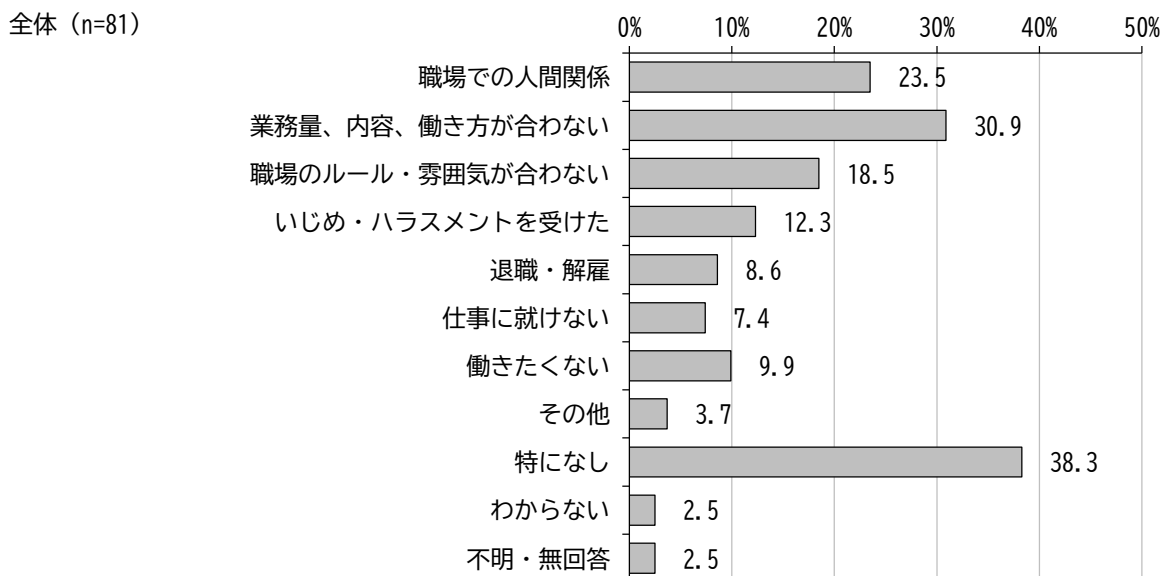


【その他回答】

- ・ 中二病
- ・ 友達の輪に自分からうまく入れず1人になってしまう

(4) 仕事・職場について

「特になし」が38.3%と最も高く、次いで「業務量、内容、働き方が合わない」が30.9%、「職場での人間関係」が23.5%となっています。



【その他回答】

- ・ 職員の要望が通らない
- ・ 働きたいのに子供の保育園（未満児クラス）に落ち続け働きにいけない

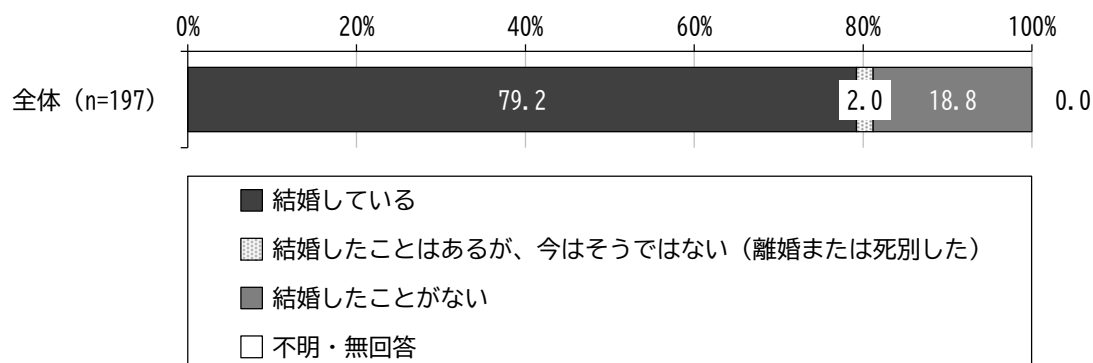
《クロス集計》自尊感情別

自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15以上〕〔自尊感情中：11～14〕では「特になし」が最も高くなっています。〔自尊感情低：0～10〕では「業務量、内容、働き方が合わない」が最も高く、次いで「職場での人間関係」が高くなっています。

単位：％		職場での人間関係	業務量、内容、働き方が合わない	職場のルール・雰囲気	いじめを受けた	退職・解雇	仕事に就けない	働きたくない	その他	特になし	わからない	不明・無回答
全体（n=81）		23.5	30.9	18.5	12.3	8.6	7.4	9.9	3.7	38.3	2.5	2.5
自尊感情別	自尊感情高：15以上（n=27）	14.8	14.8	14.8	18.5	7.4	7.4	3.7	3.7	51.9	3.7	0.0
	自尊感情中：11～14（n=31）	22.6	35.5	19.4	6.5	6.5	0.0	12.9	0.0	48.4	0.0	3.2
	自尊感情低：0～10（n=23）	34.8	43.5	21.7	13.0	13.0	17.4	13.0	8.7	8.7	4.3	4.3

問 19 あなたは結婚していますか。現在の状況をお答えください。(単数回答)

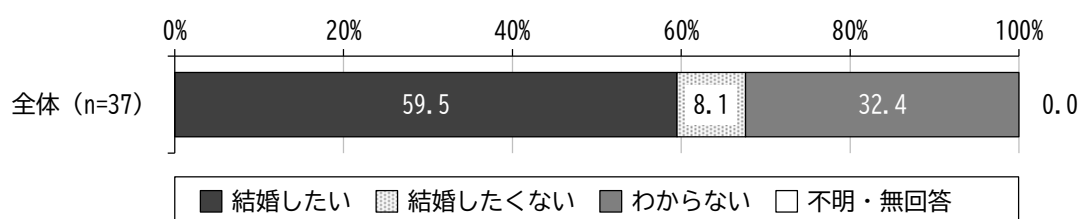
「結婚している」が 79.2%と最も高く、次いで「結婚したことがない」が 18.8%、「結婚したことはあるが、今はそうではない（離婚または死別した）」が 2.0%となっています。



問 19 で「結婚したことがない」を選んだ方

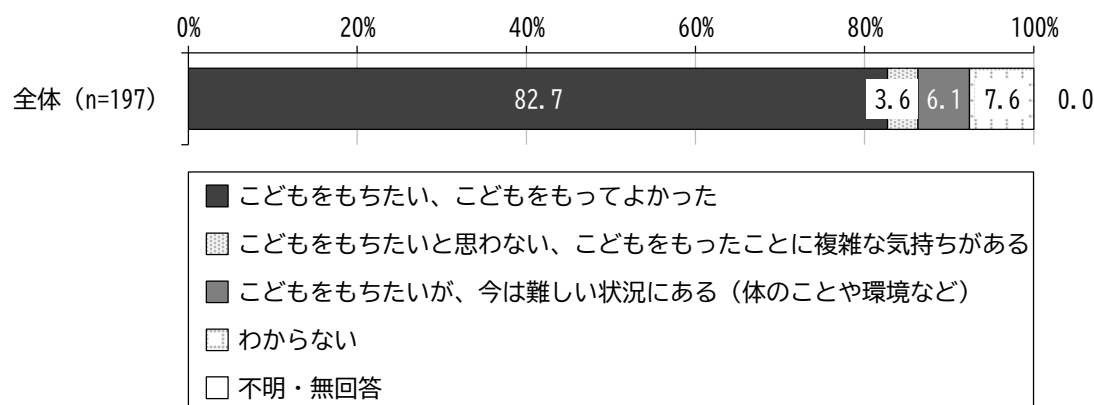
問 19-1 あなたは、今後結婚したいと思いますか。(単数回答)

「結婚したい」が 59.5%と最も高く、次いで「わからない」が 32.4%、「結婚したくない」が 8.1%となっています。



問 20 あなた自身が子どもをもつことについて、あなたはどのように思いますか。(単数回答)

「子どもをもちたい、子どもをもってよかった」が 82.7%と最も高く、次いで「わからない」が 7.6%、「子どもをもちたいが、今は難しい状況にある（体のことや環境など）」が 6.1%となっています。



《クロス集計》年齢別・自尊感情別

年齢別でみると、すべての年齢で「子どもをもちたい、子どもをもってよかった」が最も高くなっています。

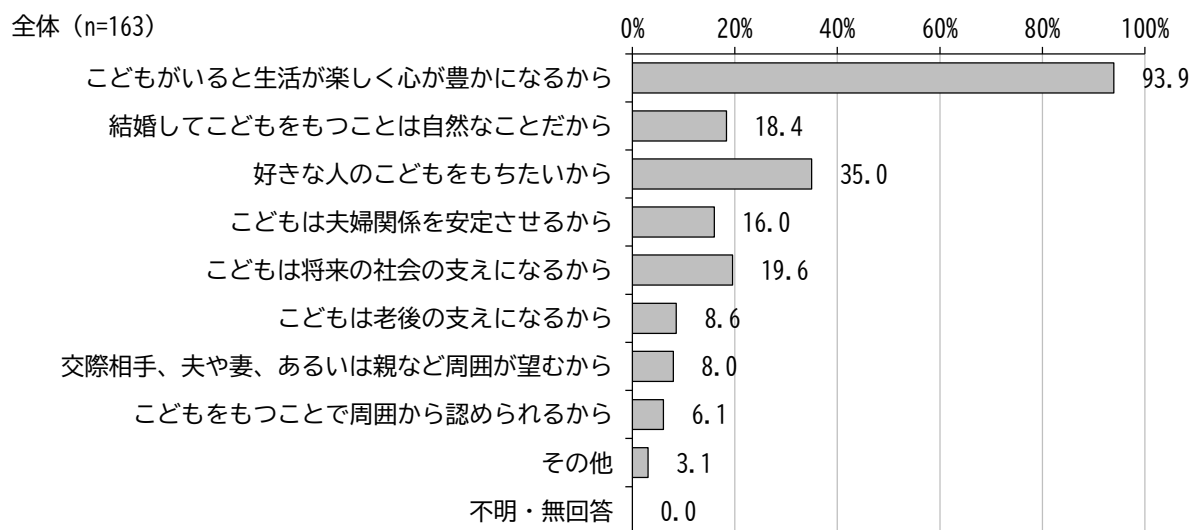
自尊感情別でみると、すべての区分で「子どもをもちたい、子どもをもってよかった」が最も高くなっています。

単位：％		か つ た こ ど も を も ち た い 、 こ ど も を も つ て よ	こ ど も を も ち た い に 複 雑 な 思 わ な い が 、 こ ど も	こ ど も を も ち た い が 、 今 は 難 し い 状 況 に あ る （ 体 の こ と や 環 境 な ど ）	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体（n=197）		82.7	3.6	6.1	7.6	0.0
年 齢 別	18、19歳（n=2）	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20～24歳（n=20）	60.0	5.0	20.0	15.0	0.0
	25～29歳（n=24）	79.2	8.3	8.3	4.2	0.0
	30～34歳（n=76）	89.5	1.3	5.3	3.9	0.0
	35～39歳（n=72）	86.1	4.2	2.8	6.9	0.0
自 尊 感 情 別	自尊感情高：15以上 （n=70）	90.0	2.9	5.7	1.4	0.0
	自尊感情中：11～14 （n=92）	84.8	2.2	5.4	7.6	0.0
	自尊感情低：0～10 （n=35）	62.9	8.6	8.6	20.0	0.0

問 20 で「子どもをもちたい、子どもをもってよかった」を選んだ方

問 20-1 その理由を教えてください。（複数回答）

「子どもがいると生活が楽しく心が豊かになるから」が 93.9%と最も高く、次いで「好きな人の子どもをもちたいから」が 35.0%、「子どもは将来の社会の支えになるから」が 19.6%となっています。



【その他回答】

- ・子どもがいたほうが人生が楽しそうだから
- ・子どもがいることで、自分自身の成長にもなったと坎じるから
- ・とにかくかわいい！しあわせなきもちになる！
- ・子供をもつことで親の大変さ、独身では経験できないことが多いから

問 20 で「子どもをもちたいと思わない、子どもをもったことに複雑な気持ちがある」を選んだ方

問 20-2 その理由を教えてください。（複数回答）

「育児による心理的・肉体的負担が増えるから」が 85.7%（6 件）と最も高く、次いで「子育てや教育にお金がかかるから」「自分や夫婦の自由な時間が減るから」が 71.4%（5 件）となっています。

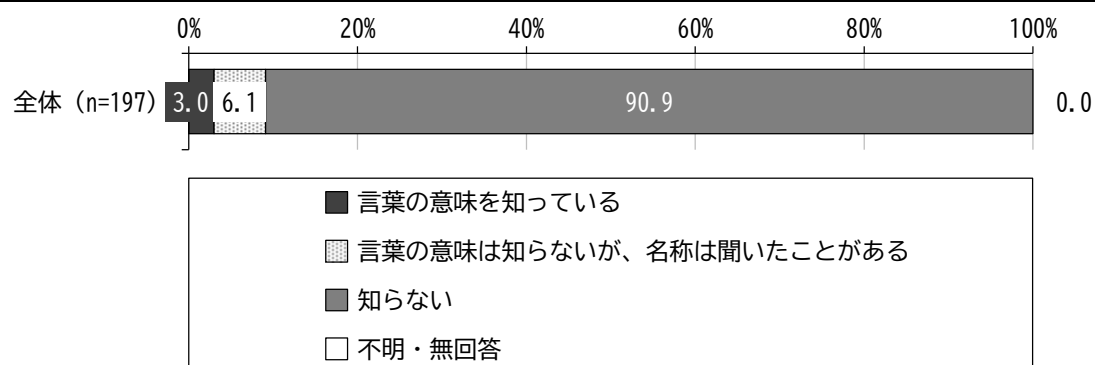
全体 (n=7)	件数	%
子育てや教育にお金がかかるから	5	71.4
育児による心理的・肉体的負担が増えるから	6	85.7
自分の仕事に差し支えるから	2	28.6
子どもを生み育てやすい社会環境ではないから	4	57.1
自分や夫婦の自由な時間が減るから	5	71.4
その他	1	14.3
不明・無回答	0	0.0

【その他回答】

- ・資格制にするべきだと思う。

問 21 あなたは、「プレコンセプションケア」について知っていますか。(単数回答)

「知らない」が90.9%と最も高く、次いで「言葉の意味は知らないが、名称は聞いたことがある」が6.1%、「言葉の意味を知っている」が3.0%となっています。



《クロス集計》性別・年齢別

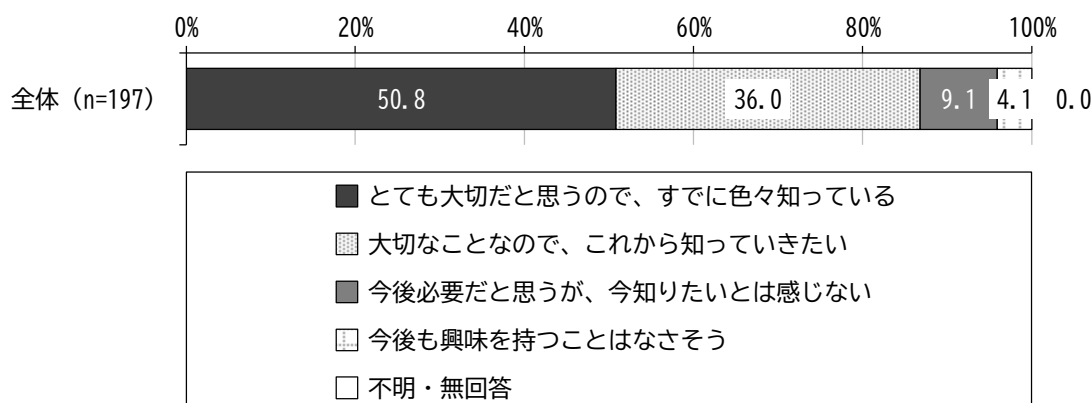
性別でみると、男女ともに「知らない」が最も高くなっています。

年齢別でみると、すべての年齢で「知らない」が最も高くなっています。

単位：%		言葉の意味を知っている	言葉の意味は知らないが、名称は聞いたことがある	知らない	不明・無回答
全体 (n=197)		3.0	6.1	90.9	0.0
性別	男性 (n=43)	0.0	2.3	97.7	0.0
	女性 (n=152)	3.9	7.2	88.8	0.0
年齢別	18、19歳 (n=2)	0.0	0.0	100.0	0.0
	20～24歳 (n=20)	0.0	0.0	100.0	0.0
	25～29歳 (n=24)	12.5	8.3	79.2	0.0
	30～34歳 (n=76)	3.9	5.3	90.8	0.0
	35～39歳 (n=72)	0.0	8.3	91.7	0.0

問 22 将来の自分の体や家族のために、妊娠や出産について今から知っておくことは大切だと思いますか。(単数回答)

「とても大切だと思うので、すでに色々知っている」が 50.8%と最も高く、次いで「大切なことなので、これから知っていきたい」が 36.0%、「今後必要だと思うが、今知りたいとは感じない」が 9.1%となっています。



《クロス集計》性別・年齢別

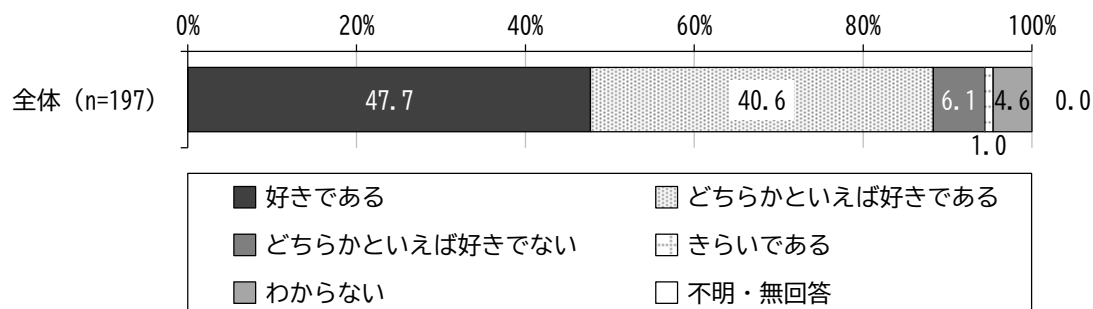
性別でみると、男性では「大切なことなので、これから知っていきたい」、女性では「とても大切だと思うので、すでに色々知っている」が最も高くなっています。

年齢別でみると、〔20～24 歳〕では「大切なことなので、これから知っていきたい」、その他の年齢では「とても大切だと思うので、すでに色々知っている」が最も高くなっています。

単位：%		とても大切だと思うので、すでに色々知っている	大切なことなので、これから知っていきたい	今後必要だと思うが、今知りたいとは感じない	今後も興味を持つことはなさそう	不明・無回答
全体 (n=197)		50.8	36.0	9.1	4.1	0.0
性別	男性 (n=43)	34.9	41.9	16.3	7.0	0.0
	女性 (n=152)	55.9	34.9	6.6	2.6	0.0
年齢別	18、19歳 (n=2)	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	20～24歳 (n=20)	20.0	45.0	30.0	5.0	0.0
	25～29歳 (n=24)	50.0	41.7	8.3	0.0	0.0
	30～34歳 (n=76)	55.3	38.2	5.3	1.3	0.0
	35～39歳 (n=72)	56.9	29.2	5.6	8.3	0.0

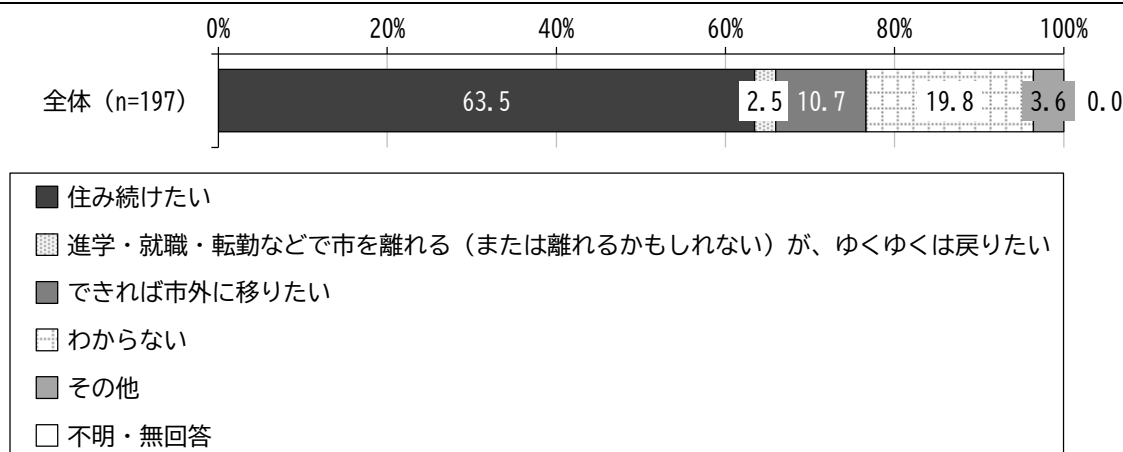
問 23 あなたは、いなべ市が好きですか。(単数回答)

「好きである」が 47.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば好きである」が 40.6%、「どちらかといえば好きでない」が 6.1%となっています。



問 24 あなたは今後、いなべ市に住み続けたいと思いますか。(単数回答)

「住み続けたい」が 63.5%と最も高く、次いで「わからない」が 19.8%、「できれば市外に移りたい」が 10.7%となっています。



【その他回答】

- ・ いなべ市が今の市外から移住する人間を重視して元から住んでいる人を軽視する政策を変えない限りは市外へ移ったほうが良さそうと考えている
- ・ すごく好きだけど、交通の不便を感じる。老後車が運転できなくなったら心配
- ・ 移民政策メガソーラー推進をするなら県外に行きたい
- ・ 今後の治安に因る
- ・ 住み続けたいが住みやすさと子育てのしやすさ、働く場所（工場など）がなく、将来性がないため、市外移住も視野に考えている
- ・ 住み続けたいが夫の都合で県外へ転居予定

《クロス集計》年齢別・いなべ市が好きかどうか別

年齢別でみると、すべての年齢で「住み続けたい」が最も高くなっています。

いなべ市が好きかどうか別でみると、〔好きである〕〔どちらかといえば好きである〕では「住み続けたい」、〔どちらかといえば好きでない〕では「できれば市外に移りたい」が最も高くなっています。

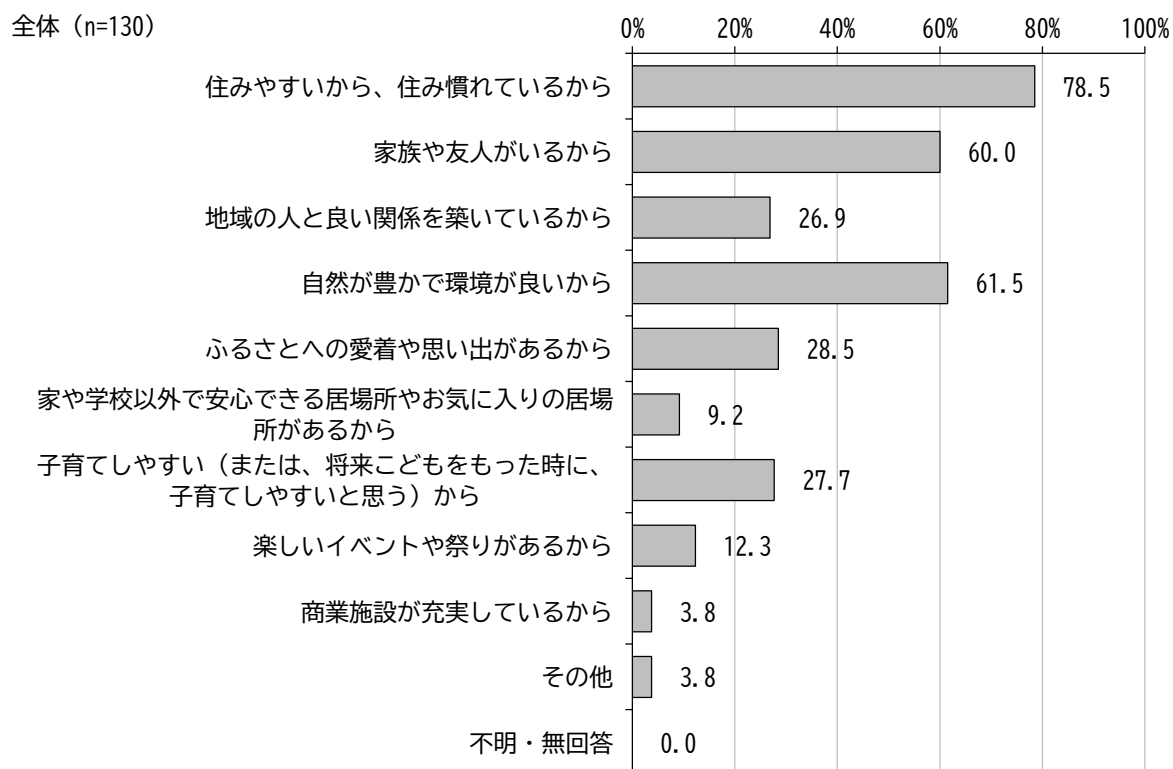
単位：％		住み続けたい	いれる進 る学・就 がへ・ま ゆたは・職 くは・転 ゆ離勤 くはな 戻かど りもで たし市 いれを な離	できれば市外に移りたい	わからない	その他	不明・無回答
全体 (n=197)		63.5	2.5	10.7	19.8	3.6	0.0
年齢別	18、19歳 (n=2)	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	20～24歳 (n=20)	35.0	10.0	20.0	30.0	5.0	0.0
	25～29歳 (n=24)	70.8	0.0	8.3	20.8	0.0	0.0
	30～34歳 (n=76)	68.4	3.9	9.2	14.5	3.9	0.0
	35～39歳 (n=72)	68.1	0.0	8.3	22.2	1.4	0.0
いなべ市が好きかどうか別	好きである (n=94)	87.2	2.1	4.3	4.3	2.1	0.0
	どちらかといえば好きである (n=80)	52.5	2.5	12.5	28.8	3.8	0.0
	どちらかといえば好きでない (n=12)	8.3	8.3	41.7	25.0	16.7	0.0
	きらいである (n=2)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	わからない (n=9)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

問 24 で「住み続けたい」または「進学・就職・転勤などで市を離れる（または離れるかもしれない）が、ゆくゆくは戻りたい」を選んだ方

問 24-1 いなべ市に「住み続けたい」または「戻りたい」と思う理由を、教えてください。

（複数回答）

「住みやすいから、住み慣れているから」が 78.5%と最も高く、次いで「自然が豊かで環境が良いから」が 61.5%、「家族や友人がいるから」が 60.0%となっています。



【その他回答】

- ・メガソーラーを増やさないでほしい
- ・嫁いだから
- ・滋賀に近い！
- ・自宅を購入したため

問 24 で「できれば市外に移りたい」を選んだ方

問 24-2 いなべ市から「できれば市外に移りたい」と思う理由を、教えてください。(複数回答)

「交通の便が悪いから」が 76.2% (16 件) と最も高く、次いで「商業施設が少ないから」「遊ぶ場所が少ないから」が 52.4% (11 件) となっています。

全体 (n=21)	件数	%
他の地域に行ってみたいから、住んでみたいから	6	28.6
進学先や就職先が少ないから	8	38.1
商業施設が少ないから	11	52.4
交通の便が悪いから	16	76.2
防犯・防災体制が不十分	2	9.5
医療・福祉のサービスが不十分	5	23.8
他の地域の方が、子育て環境が良いから	5	23.8
遊ぶ場所が少ないから	11	52.4
その他	2	9.5
不明・無回答	0	0.0

【その他回答】

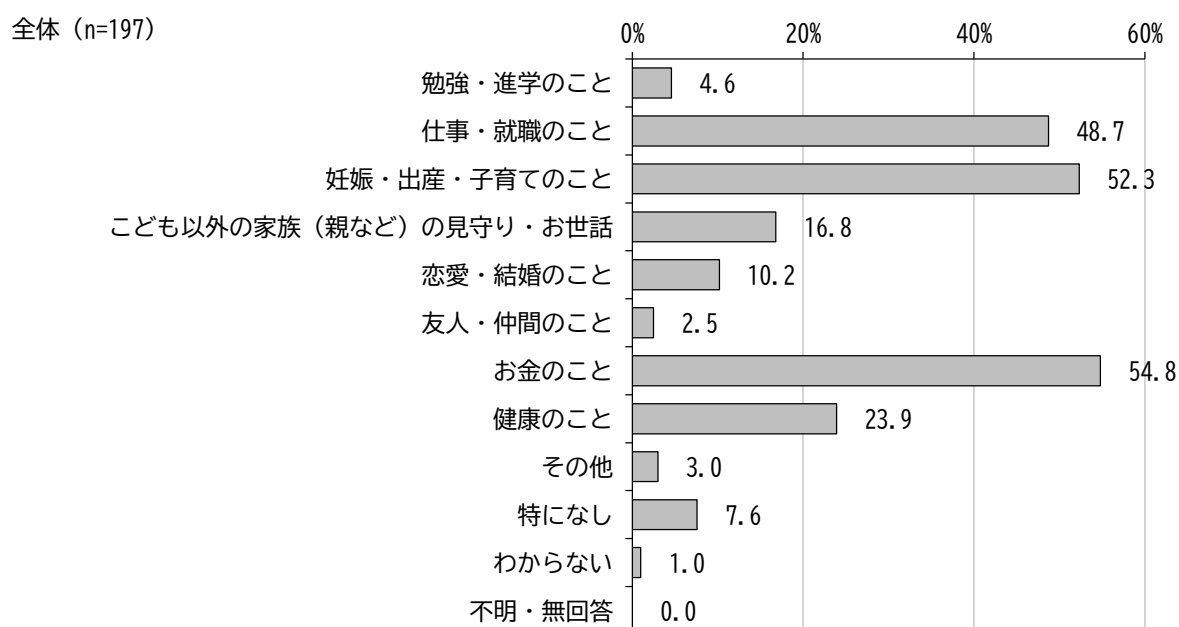
・ 地元に帰りたい

・ 地元に戻りたい為

5. 相談について

問 25 あなたは、現在どのような悩みや心配事がありますか。(複数回答)

「お金のこと」が 54.8%と最も高く、次いで「妊娠・出産・子育てのこと」が 52.3%、「仕事・就職のこと」が 48.7%となっています。



【その他回答】

- ・いなべ市の公共交通（福祉バス）について
- ・いなべ市の住みやすさと将来性。住みにくいため子供にとっていなべ市に住むことは不幸な選択だったか
と考えている
- ・近所に住む祖母の精神が不安定、将来について
- ・県外にある実家の後継をどうするか
- ・治安
- ・老後の生活

《クロス集計》年齢別・自尊感情別

年齢別でみると、〔20～24 歳〕では「仕事・就職のこと」、〔25～29 歳〕〔35～39 歳〕では「お金のこと」、〔30～34 歳〕では「妊娠・出産・子育てのこと」が最も高くなっています。

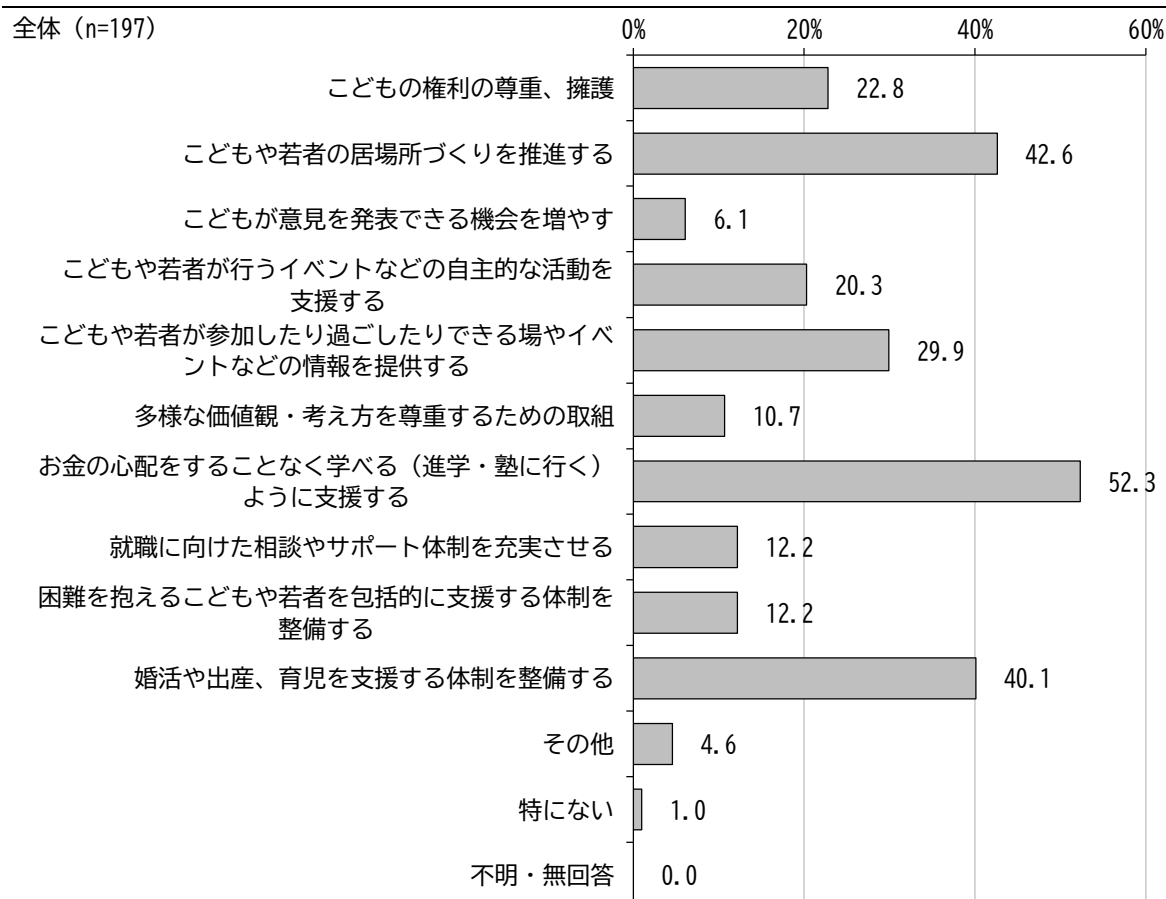
自尊感情別でみると、〔自尊感情高：15 以上〕では「妊娠・出産・子育てのこと」、〔自尊感情中：11～14〕では「お金のこと」、〔自尊感情低：0～10〕では「仕事・就職のこと」が最も高くなっています。

単位：%		勉強・進学のこと	仕事・就職のこと	妊娠・出産・子育てのこと	子ども以外の家族（親など）の見守り・お世話	恋愛・結婚のこと	友人・仲間のこと	お金のこと	健康のこと	その他	特になし	わからない	不明・無回答
全体（n=197）		4.6	48.7	52.3	16.8	10.2	2.5	54.8	23.9	3.0	7.6	1.0	0.0
年齢別	18、19 歳（n=2）	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～24 歳（n=20）	10.0	55.0	15.0	5.0	40.0	10.0	50.0	20.0	10.0	5.0	0.0	0.0
	25～29 歳（n=24）	0.0	45.8	41.7	20.8	37.5	0.0	54.2	16.7	0.0	8.3	4.2	0.0
	30～34 歳（n=76）	2.6	48.7	60.5	10.5	2.6	1.3	51.3	14.5	1.3	11.8	0.0	0.0
	35～39 歳（n=72）	5.6	44.4	58.3	26.4	1.4	2.8	59.7	37.5	4.2	4.2	1.4	0.0
自尊感情別	自尊感情高：15 以上（n=70）	1.4	41.4	51.4	20.0	12.9	0.0	35.7	11.4	0.0	14.3	0.0	0.0
	自尊感情中：11～14（n=92）	6.5	46.7	59.8	16.3	8.7	2.2	67.4	27.2	2.2	3.3	1.1	0.0
	自尊感情低：0～10（n=35）	5.7	68.6	34.3	11.4	8.6	8.6	60.0	40.0	11.4	5.7	2.9	0.0

6. いなべ市のこども政策等について

問 26 あなたは、今後のいなべ市に必要なこども・若者のための取組は何だと思いますか。
(3つまで複数回答)

「お金の心配をすることなく学べる（進学・塾に行く）ように支援する」が 52.3%と最も高く、次いで「こどもや若者の居場所づくりを推進する」が 42.6%、「婚活や出産、育児を支援する体制を整備する」が 40.1%となっています。



【その他回答】

- ・いなべ市外での生活環境を知る機会を作ること
- ・学びの支援は必要だが意欲によつての支援であり、子供だからと無差別に支援は違う。全ての人に必要。仕事しながらでもステップアップの為の勉強がしたいけれど、その方法や何が何をどうしたらいいのかの支援が欲しい
- ・企業誘致。養老のような大きな公園など子育てしやすい場所作り
- ・子どもをどんな時もどんな月齢、年齢も安心して頂けることができる場所や産後も退園させられることなく預ける事ができる保育園
- ・人の痛みを知り理解できる人間が教育に関わる仕事に就けるような環境にする
- ・他人に対しての考え方
- ・待機児童をなくす。子供が遊べる場（公園など）を増やす。
- ・地域治安強化。虐めを犯罪として扱う事。自転車のマナーが悪いので啓告。
- ・土日祝の救急窓口（桑名の救急は遠い）

《クロス集計》年齢別・自尊感情別

年齢別でみると、〔20～24 歳〕では「子どもや若者の居場所づくりを推進する」、〔25～29 歳〕では「婚活や出産、育児を支援する体制を整備する」、〔30～34 歳〕〔35～39 歳〕では「お金の心配をすることなく学べる（進学・塾に行く）ように支援する」が最も高くなっています。

自尊感情別でみると、すべての区分で「お金の心配をすることなく学べる（進学・塾に行く）ように支援する」が最も高くなっています。

単位：％		子どもの権利の尊重、擁護	子どもや若者の居場所づくりを推進する	子どもが意見を発表できる機会を増やす	子どもや若者が行うイベントなどの自主的な活動を支援する	子どもや若者が参加したり情報提供したりできる場やイベントなどの情報を提供する	多様な価値観・考え方を尊重するための取組	お金の心配をすることなく学べる（進学・塾に行く）ように支援する	就職に向けた相談やサポート体制を充実させる	困難を抱える子どもや若者を包括的に支援する体制を整備する	婚活や出産、育児を支援する体制を整備する	その他	特になし	不明・無回答
全体（n=197）		22.8	42.6	6.1	20.3	29.9	10.7	52.3	12.2	12.2	40.1	4.6	1.0	0.0
年齢別	18、19歳（n=2）	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～24歳（n=20）	20.0	40.0	0.0	25.0	20.0	10.0	25.0	20.0	25.0	30.0	10.0	0.0	0.0
	25～29歳（n=24）	25.0	37.5	4.2	20.8	29.2	12.5	41.7	12.5	4.2	54.2	0.0	4.2	0.0
	30～34歳（n=76）	25.0	47.4	3.9	10.5	30.3	9.2	57.9	9.2	6.6	43.4	2.6	1.3	0.0
	35～39歳（n=72）	20.8	43.1	11.1	30.6	34.7	11.1	55.6	12.5	16.7	34.7	2.8	0.0	0.0
自尊感情別	自尊感情高：15以上（n=70）	27.1	48.6	11.4	25.7	28.6	11.4	50.0	4.3	10.0	40.0	1.4	0.0	0.0
	自尊感情中：11～14（n=92）	21.7	42.4	4.3	19.6	33.7	10.9	51.1	15.2	12.0	41.3	3.3	1.1	0.0
	自尊感情低：0～10（n=35）	17.1	31.4	0.0	11.4	22.9	8.6	60.0	20.0	17.1	37.1	14.3	2.9	0.0

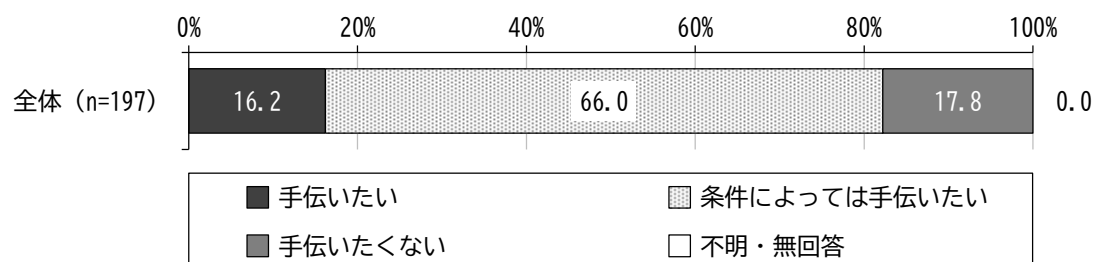
問 27 あなたは、下記のような「居場所」のお手伝いを頼まれたら、手伝いたいと思いますか。

(単数回答)

※いなべ市には次のような「こどもの居場所」があります。

放課後児童クラブ（学童）、放課後子ども教室（地域での体験教室）、子育てセンター（未就園児親子の交流の場）。

「条件によっては手伝いたい」が 66.0%と最も高く、次いで「手伝いたくない」が 17.8%、「手伝いたい」が 16.2%となっています。



《クロス集計》年齢別・自尊感情別

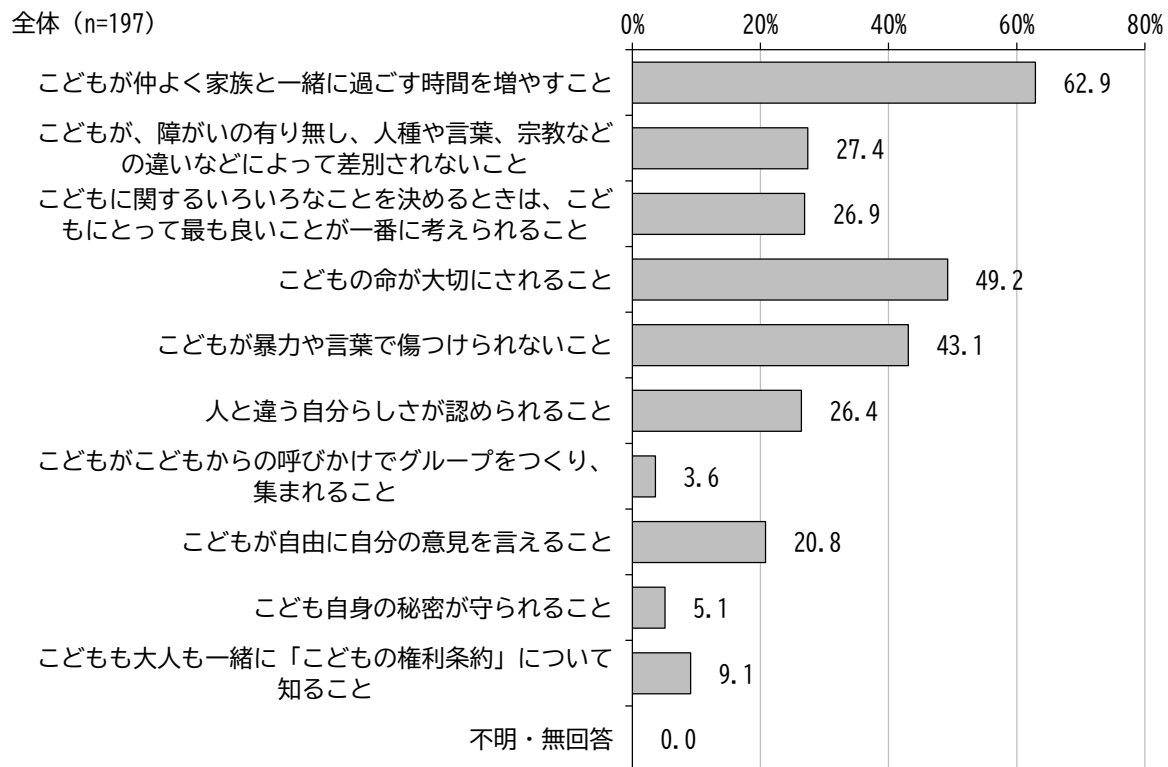
年齢別でみると、すべての年齢で「条件によっては手伝いたい」が最も高くなっています。

自尊感情別でみると、すべての区分で「条件によっては手伝いたい」が最も高くなっています。

単位：％		手伝いたい	条件によっては	手伝いたくない	不明・無回答
全体 (n=197)		16.2	66.0	17.8	0.0
年齢別	18、19歳 (n=2)	0.0	100.0	0.0	0.0
	20～24歳 (n=20)	30.0	55.0	15.0	0.0
	25～29歳 (n=24)	16.7	70.8	12.5	0.0
	30～34歳 (n=76)	19.7	59.2	21.1	0.0
	35～39歳 (n=72)	9.7	73.6	16.7	0.0
自尊感情別	自尊感情高：15以上 (n=70)	21.4	70.0	8.6	0.0
	自尊感情中：11～14 (n=92)	13.0	70.7	16.3	0.0
	自尊感情低：0～10 (n=35)	14.3	45.7	40.0	0.0

問 28 これから生まれ、育つこどものために、こどもの権利（人権）としてどんなことが特に大切だと思いますか。（3つまで複数回答）

「こどもが仲よく家族と一緒に過ごす時間を増やすこと」が 62.9%と最も高く、次いで「こどもの命が大切にされること」が 49.2%、「こどもが暴力や言葉で傷つけられないこと」が 43.1%となっています。



《クロス集計》年齢別・自尊感情別

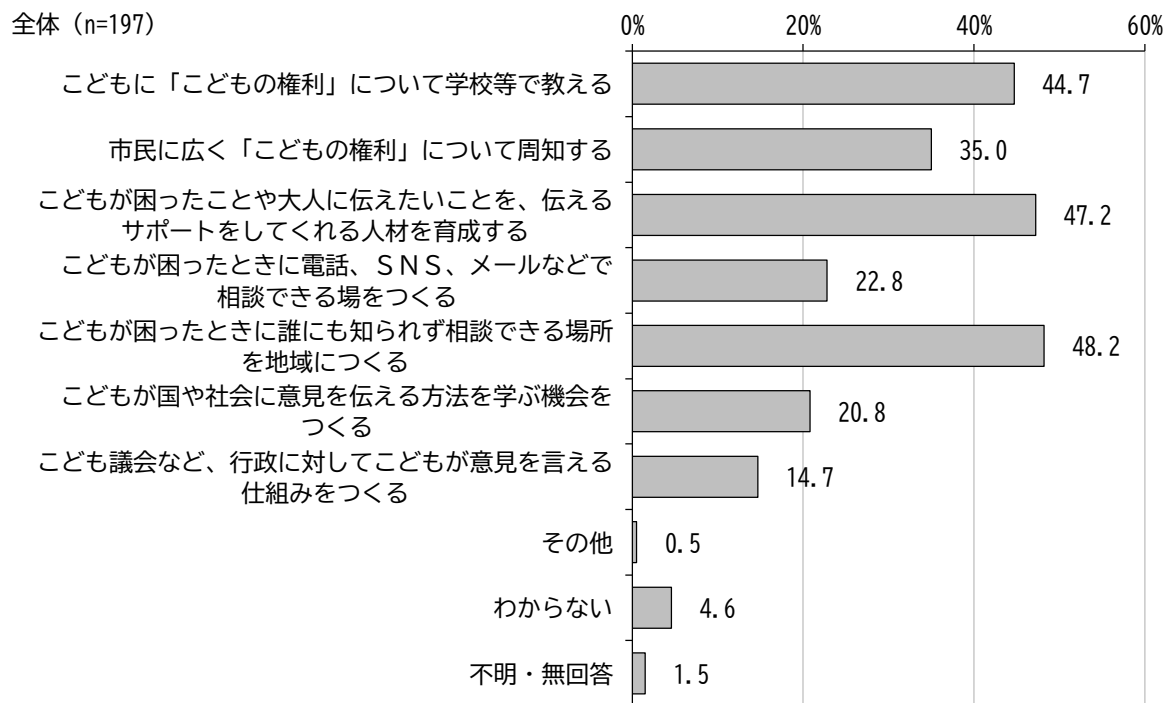
年齢別でみると、〔20～24 歳〕では「こどもが仲よく家族と一緒に過ごす時間を増やすこと」「こどもが暴力や言葉で傷つけられないこと」、その他の年齢では「こどもが仲よく家族と一緒に過ごす時間を増やすこと」が最も高くなっています。

自尊感情別でみると、すべての区分で「こどもが仲よく家族と一緒に過ごす時間を増やすこと」が最も高くなっています。

単位：％		こどもが仲よく家族と一緒に過ごす時間を増やすこと	こどもが暴力や言葉で傷つけられないこと	こどもが仲よく家族と一緒に過ごす時間を増やすこと	こどもが暴力や言葉で傷つけられないこと	こどもが仲よく家族と一緒に過ごす時間を増やすこと	こどもが暴力や言葉で傷つけられないこと	こどもが仲よく家族と一緒に過ごす時間を増やすこと	こどもが暴力や言葉で傷つけられないこと	こどもが仲よく家族と一緒に過ごす時間を増やすこと	こどもが暴力や言葉で傷つけられないこと	不明・無回答
全体 (n=197)		62.9	27.4	26.9	49.2	43.1	26.4	3.6	20.8	5.1	9.1	0.0
年齢別	18、19歳 (n=2)	50.0	0.0	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～24歳 (n=20)	65.0	20.0	5.0	40.0	65.0	45.0	10.0	25.0	10.0	5.0	0.0
	25～29歳 (n=24)	70.8	37.5	20.8	41.7	45.8	29.2	0.0	29.2	0.0	0.0	0.0
	30～34歳 (n=76)	64.5	27.6	32.9	48.7	39.5	21.1	2.6	15.8	6.6	7.9	0.0
	35～39歳 (n=72)	58.3	27.8	27.8	52.8	41.7	26.4	4.2	20.8	4.2	15.3	0.0
自尊感情別	自尊感情高：15以上 (n=70)	74.3	32.9	28.6	45.7	37.1	30.0	2.9	17.1	4.3	4.3	0.0
	自尊感情中：11～14 (n=92)	59.8	25.0	27.2	56.5	46.7	21.7	3.3	23.9	4.3	14.1	0.0
	自尊感情低：0～10 (n=35)	48.6	22.9	22.9	37.1	45.7	31.4	5.7	20.0	8.6	5.7	0.0

問 29 あなたは、「こどもの権利」を守るために、どのような仕組みがあると良いと思いますか。
(3つまで複数回答)

「こどもが困ったときに誰にも知られず相談できる場所を地域につくる」が48.2%と最も高く、次いで「こどもが困ったことや大人に伝えたいことを、伝えるサポートをしてくれる人材を育成する」が47.2%、「こどもに『こどもの権利』について学校等で教える」が44.7%となっています。



【その他回答】

- ・大人と分け隔てなく接すること

《クロス集計》年齢別

年齢別でみると、〔20～24 歳〕〔30～34 歳〕では「こどもが困ったことや大人に伝えたいことを、伝えるサポートをしてくれる人材を育成する」、〔25～29 歳〕では「こどもが困ったときに誰にも知られず相談できる場所を地域につくる」、〔35～39 歳〕では「こどもに『こどもの権利』について学校等で教える」が最も高くなっています。

単位：％		校 等 で 教 え る	市 民 に 広 く 「こ ど も の 権 利」 に つ い て 周 知 す る	こ ど も が 困 つ た こ と や 大 人 に 伝 え た い こ と を、 伝 え る サ ポ ー ト を し て く れ る 人 材 を 育 成 す る	こ ど も が 困 つ た と き に 電 話、 Ｓ Ｎ Ｓ、 メ ー ル な ど で 相 談 で き る 場 を つ く る	こ ど も が 困 つ た と き に 誰 に も 知 ら れ ず 相 談 で き る 場 所 を 地 域 に つ く る	こ ど も が 国 や 社 会 に 意 見 を 伝 え る 方 法 を 学 ぶ 機 会 を つ く る	こ ど も の 議 会 な ど、 行 政 に 対 し て こ ど も が 意 見 を 言 え る 仕 組 み を つ く る	そ の 他	わ か ら な い	不 明・無 回 答
全体（n=197）		44.7	35.0	47.2	22.8	48.2	20.8	14.7	0.5	4.6	1.5
年 齢 別	18、19歳（n=2）	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	20～24歳（n=20）	30.0	35.0	50.0	30.0	40.0	15.0	15.0	0.0	5.0	0.0
	25～29歳（n=24）	62.5	37.5	33.3	20.8	66.7	33.3	8.3	0.0	4.2	0.0
	30～34歳（n=76）	38.2	34.2	52.6	18.4	48.7	15.8	15.8	1.3	5.3	1.3
	35～39歳（n=72）	51.4	37.5	47.2	27.8	47.2	22.2	15.3	0.0	1.4	2.8

V 教職員・保育士対象調査結果

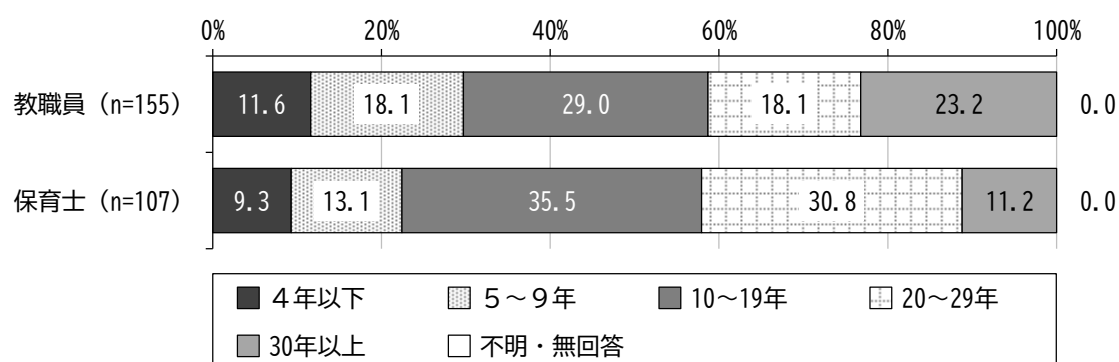
1. あなたの勤務状況について

問1 あなたの勤務年数は何年ですか。(単数回答)

※いなべ市外での学校(保育士)での勤務年数や正規以外の雇用形態での勤務年数も含みます。

教職員では「10～19年」が29.0%と最も高く、次いで「30年以上」が23.2%、「5～9年」「20～29年」が18.1%となっています。

保育士では「10～19年」が35.5%と最も高く、次いで「20～29年」が30.8%、「5～9年」が13.1%となっています。

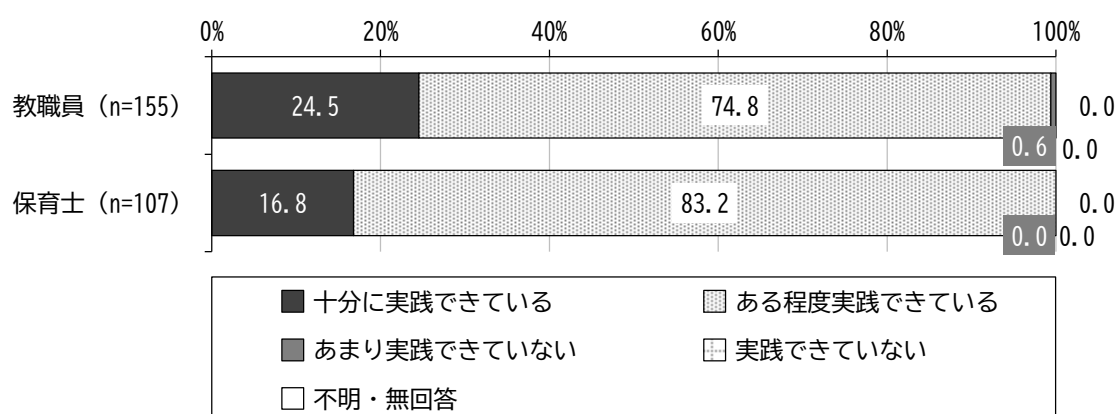


2. 「こどもの権利」について

問2 日常の教育（保育）実践において、こどもの意見を聞き、尊重することについて、あなたの現状に最も近いものをお答えください。（単数回答）

教職員では「ある程度実践できている」が74.8%と最も高く、次いで「十分に実践できている」が24.5%、「あまり実践できていない」が0.6%となっています。

保育士では「ある程度実践できている」が83.2%と最も高く、次いで「十分に実践できている」が16.8%となっています。



《クロス集計》教職員：勤務年数別

教職員の勤務年数別でみると、すべての区分で「ある程度実践できている」が最も高くなっています。

単位：%		十分に実践できている	ある程度実践できている	あまり実践できていない	実践できていない	不明・無回答
全体 (n=155)		24.5	74.8	0.6	0.0	0.0
勤務年数別	4年以下 (n=18)	22.2	77.8	0.0	0.0	0.0
	5～9年 (n=28)	17.9	82.1	0.0	0.0	0.0
	10～19年 (n=45)	13.3	84.4	2.2	0.0	0.0
	20～29年 (n=28)	28.6	71.4	0.0	0.0	0.0
	30年以上 (n=36)	41.7	58.3	0.0	0.0	0.0

《クロス集計》保育士：勤務年数別

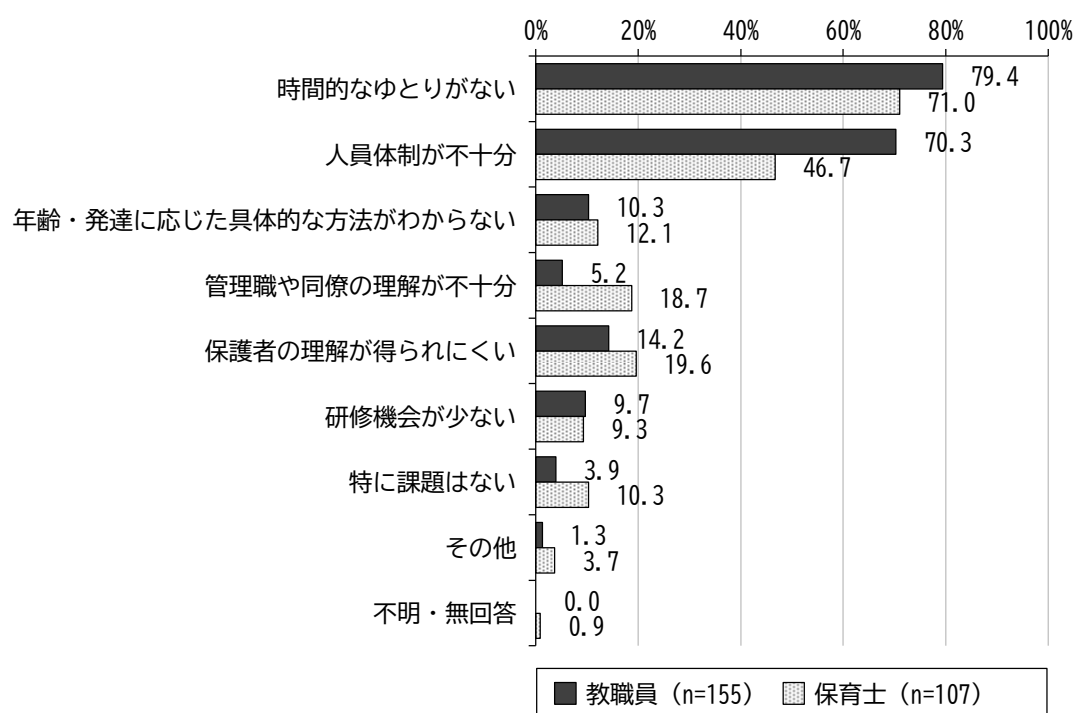
保育士の勤務年数別でみると、すべての区分で「ある程度実践できている」が最も高くなっています。

単位：％		十分に実践できている	ある程度実践できている	あまり実践できていない	実践できていない	不明・無回答
全体 (n=107)		16.8	83.2	0.0	0.0	0.0
勤務年数別	4年以下 (n=10)	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0
	5～9年 (n=14)	14.3	85.7	0.0	0.0	0.0
	10～19年 (n=38)	13.2	86.8	0.0	0.0	0.0
	20～29年 (n=33)	15.2	84.8	0.0	0.0	0.0
	30年以上 (n=12)	16.7	83.3	0.0	0.0	0.0

問3 こどもの意見を聞き、尊重するための環境づくりにおいて、課題と感ずることをお答えください。(主なもの3つまで複数回答)

教職員では「時間的なゆとりがない」が79.4%と最も高く、次いで「人員体制が不十分」が70.3%、「保護者の理解が得られにくい」が14.2%となっています。

保育士では「時間的なゆとりがない」が71.0%と最も高く、次いで「人員体制が不十分」が46.7%、「保護者の理解が得られにくい」が19.6%となっています。



【その他回答】

教職員 ・ 個別の悩みなどの相談を聞く時間が限られている ・ 仕事上子どもとの関わりが少ない

保育士 ・ 職員間の子どもへの共通理解が十分にできていないと感ずることがある。

・ 個々にあった対応が様々で難しさを感じる

・ 職員の意識 先進国に比べて配置基準が厳しいので時間などの余裕は持ちにくいと感ずます。

・ 部屋が早延長で使う為、急な変更をするのが厳しい

《クロス集計》教職員：勤務年数別

教職員の勤務年数別でみると、〔10～19 年〕〔20～29 年〕では「人員体制が不十分」、その他の区分では「時間的なゆとりがない」が最も高くなっています。

単位：％		時間的なゆとりがない	人員体制が不十分	年齢・方法が達わに 応じない 具体的	管理職や同僚の理解が不十分	保護者の理解が得られにくい	研修機会が少ない	特に課題はない	その他	不明・無回答
全体 (n=155)		79.4	70.3	10.3	5.2	14.2	9.7	3.9	1.3	0.0
勤務年数別	4年以下 (n=18)	88.9	22.2	16.7	0.0	5.6	5.6	5.6	0.0	0.0
	5～9年 (n=28)	85.7	78.6	14.3	7.1	7.1	3.6	0.0	0.0	0.0
	10～19年 (n=45)	75.6	77.8	11.1	6.7	26.7	15.6	2.2	0.0	0.0
	20～29年 (n=28)	67.9	75.0	7.1	3.6	14.3	3.6	10.7	3.6	0.0
	30年以上 (n=36)	83.3	75.0	5.6	5.6	8.3	13.9	2.8	2.8	0.0

《クロス集計》保育士：勤務年数別

保育士の勤務年数別でみると、すべての区分で「時間的なゆとりがない」が最も高くなっています。

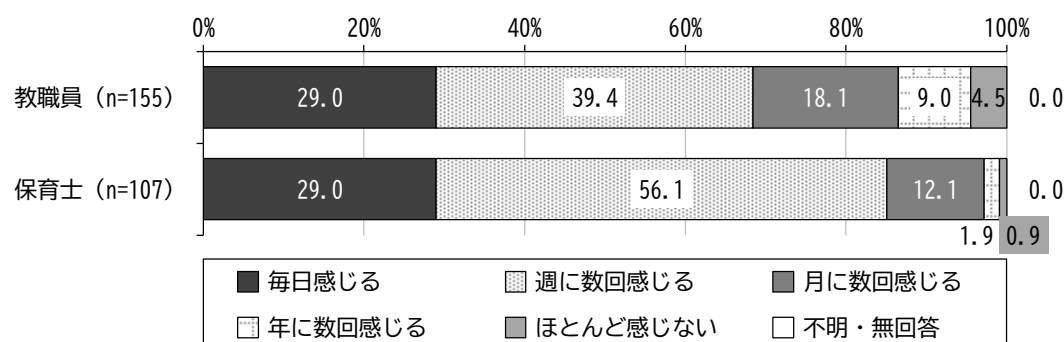
単位：％		時間的なゆとりがない	人員体制が不十分	年齢・発達に 応じた具体的な方法が わからない	十分な管理職や同僚の 理解が得られない	保護者の理解が得られ にくい	研修機会が少ない	特に課題はない	その他	不明・無回答
全体（n=107）		71.0	46.7	12.1	18.7	19.6	9.3	10.3	3.7	0.9
勤務年数別	4年以下（n=10）	60.0	40.0	30.0	0.0	10.0	0.0	30.0	0.0	0.0
	5～9年（n=14）	78.6	42.9	14.3	14.3	14.3	7.1	0.0	0.0	7.1
	10～19年（n=38）	73.7	55.3	10.5	21.1	28.9	5.3	5.3	5.3	0.0
	20～29年（n=33）	75.8	48.5	6.1	27.3	12.1	15.2	9.1	3.0	0.0
	30年以上（n=12）	50.0	25.0	16.7	8.3	25.0	16.7	25.0	8.3	0.0

3. 就労環境と働きがいについて

問5 仕事に喜びや幸せ、充実感を得る頻度について、あなたの現状に最も近いものをお答えください。(単数回答)

教職員では「週に数回感じる」が39.4%と最も高く、次いで「毎日感じる」が29.0%、「月に数回感じる」が18.1%となっています。

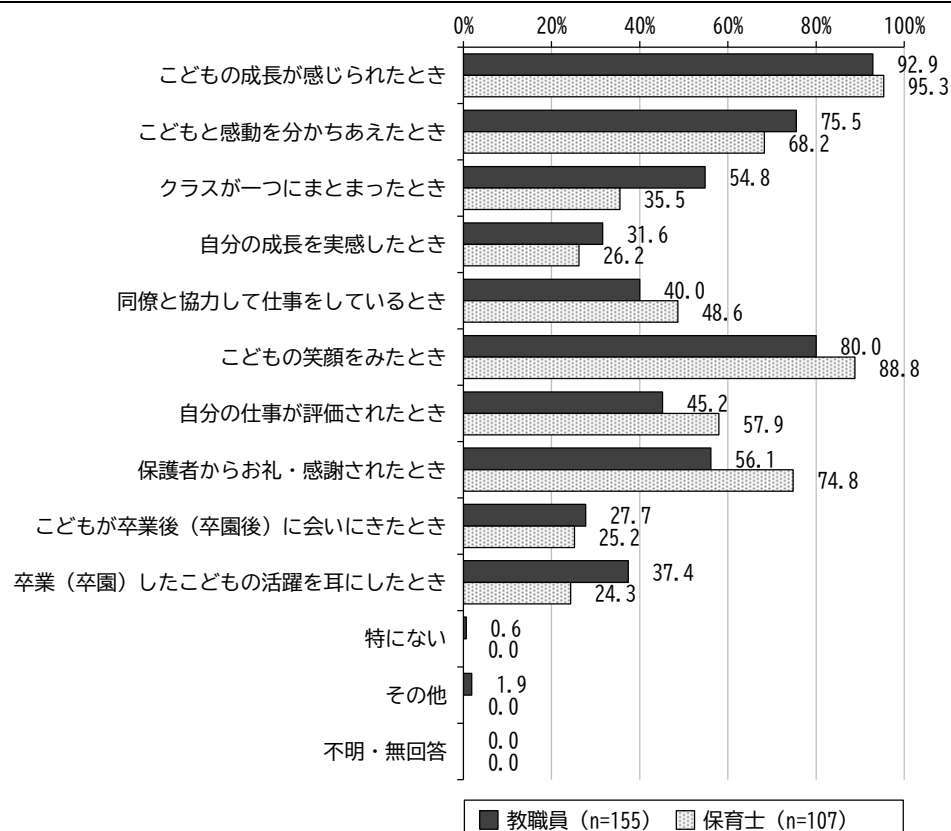
保育士では「週に数回感じる」が56.1%と最も高く、次いで「毎日感じる」が29.0%、「月に数回感じる」が12.1%となっています。



問6 教職員（保育士）としてどのようなときにやりがいを感じますか。(複数回答)

教職員では「こどもの成長を感じられたとき」が92.9%と最も高く、次いで「こどもの笑顔をみたとき」が80.0%、「こどもと感動を分かちあえたとき」が75.5%となっています。

保育士では「こどもの成長を感じられたとき」が95.3%と最も高く、次いで「こどもの笑顔をみたとき」が88.8%、「保護者からお礼・感謝されたとき」が74.8%となっています。



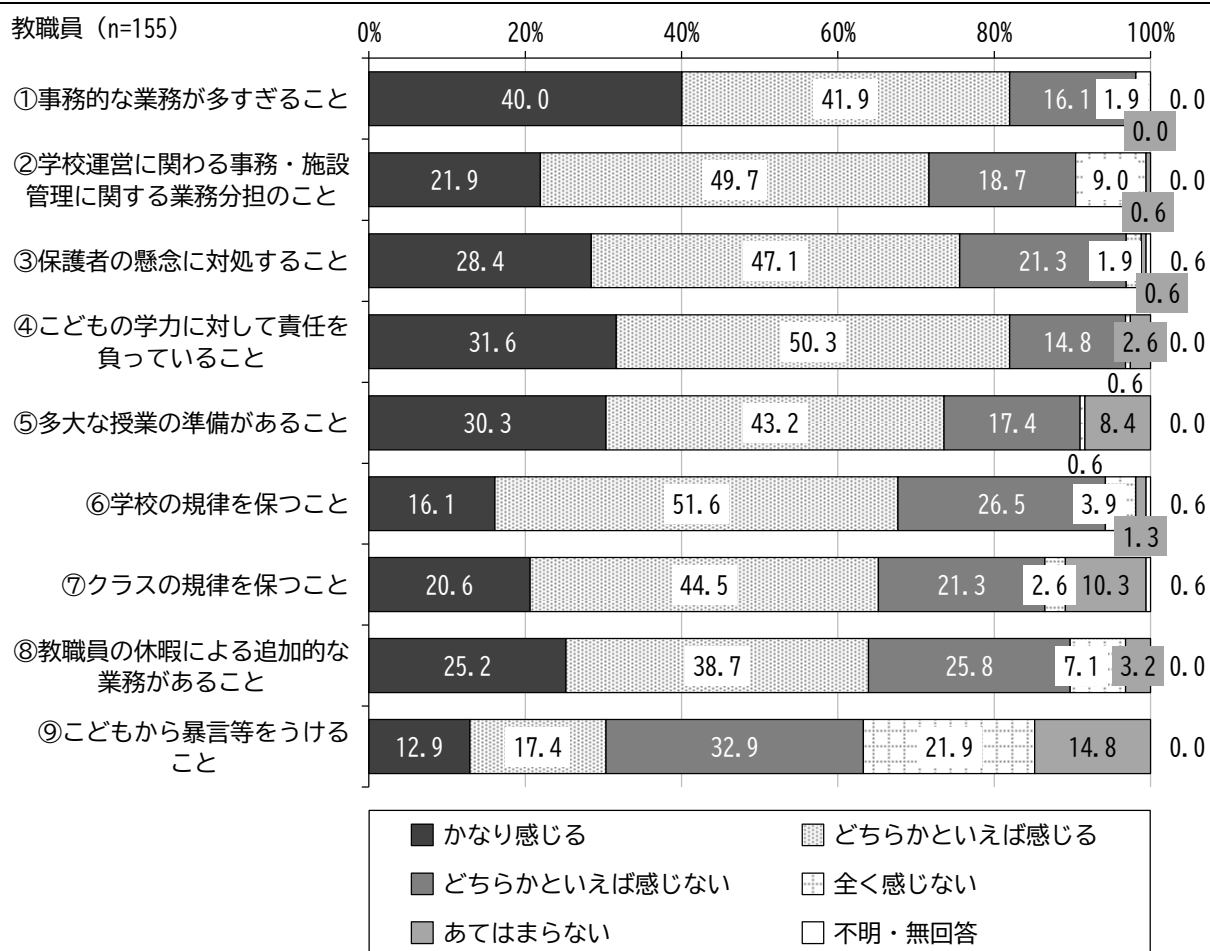
【その他回答】

教職員 ・ こどもが正直に弱みをみせてくれたとき ・ 子どもが生き生き元気に活動できている時
・ 子どもたちから、楽しいという言葉が聞こえる時。

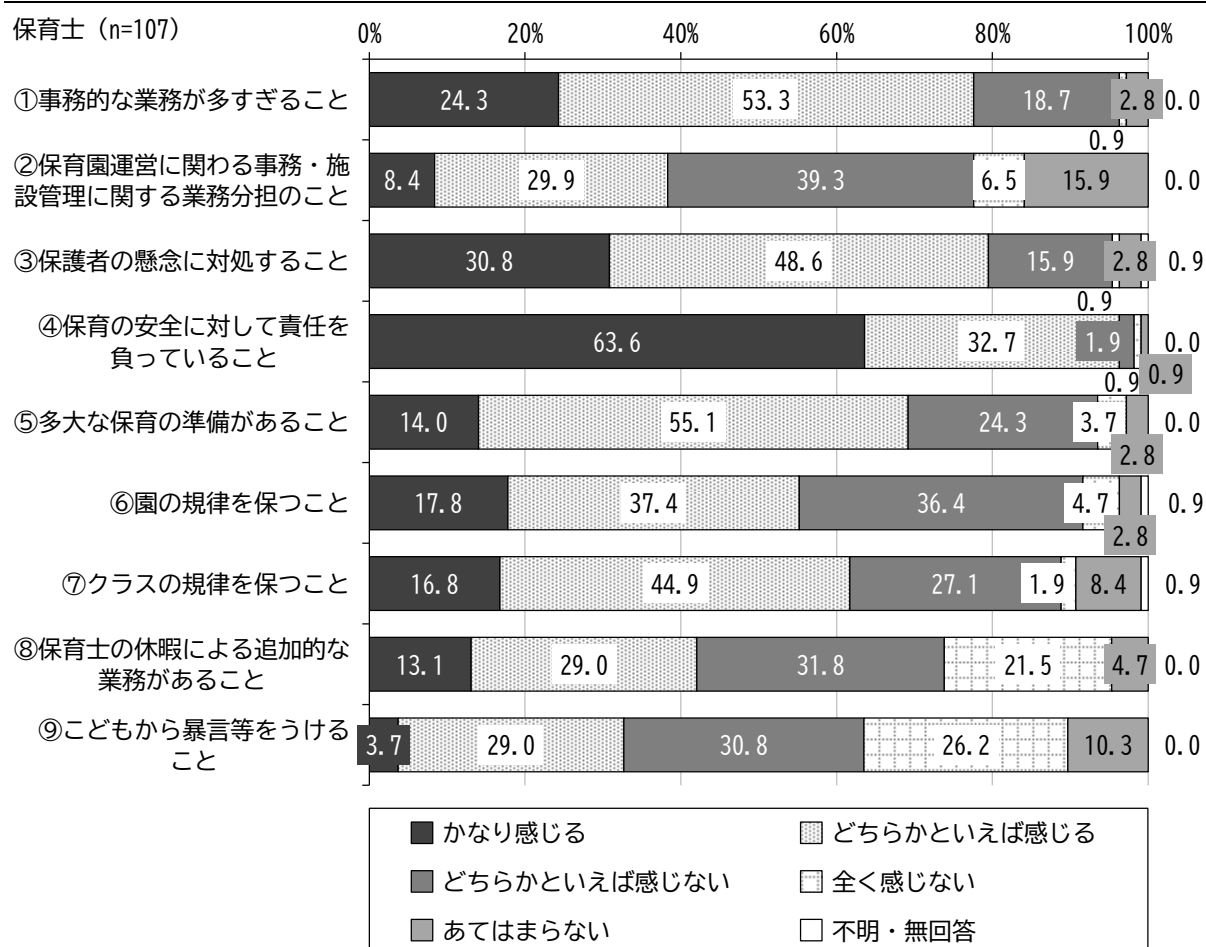
問7 業務上感じるストレスについて、あなたの考えに近いものを選んでください。

(それぞれ単数回答)

教職員では、『感じる』（「かなり感じる」と「どちらかといえば感じる」の合計）が〔①事務的な業務が多すぎること〕〔④こどもの学力に対して責任を負っていること〕で81.9%と最も高くなっています。また、〔⑨こどもから暴言等をうけること〕を除くすべての項目で『感じる』が『感じない』（「全く感じない」と「どちらかといえば感じない」の合計）の割合を上回っています。



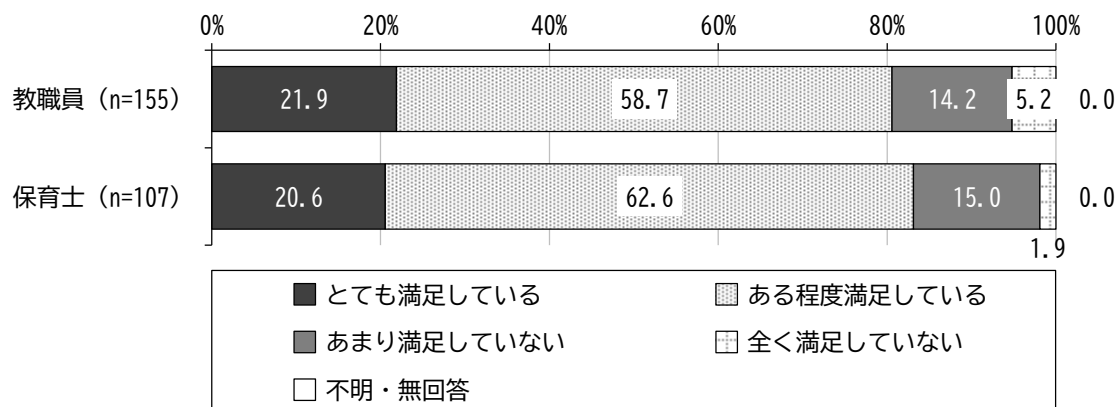
保育士では、『感じる』が〔④保育の安全に対して責任を負っていること〕で96.3%と最も高くなっています。また、〔②保育園運営に関わる事務・施設管理に関する業務分担のこと〕〔⑧保育士の休暇による追加的な業務があること〕〔⑨こどもから暴言等をうけること〕を除くすべての項目で『感じる』が『感じない』の割合を上回っています。



問8 現在の職場環境について、どの程度満足していますか。(単数回答)

教職員では「ある程度満足している」が58.7%と最も高く、次いで「とても満足している」が21.9%、「あまり満足していない」が14.2%となっています。

保育士では「ある程度満足している」が62.6%と最も高く、次いで「とても満足している」が20.6%、「あまり満足していない」が15.0%となっています。



《クロス集計》教職員：勤務年数別

教職員の勤務年数別でみると、すべての区分で「ある程度満足している」が最も高くなっています。

単位：%		とても満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	全く満足していない	不明・無回答
全体 (n=155)		21.9	58.7	14.2	5.2	0.0
勤務年数別	4年以下 (n=18)	11.1	77.8	11.1	0.0	0.0
	5～9年 (n=28)	25.0	53.6	21.4	0.0	0.0
	10～19年 (n=45)	15.6	60.0	13.3	11.1	0.0
	20～29年 (n=28)	32.1	50.0	14.3	3.6	0.0
	30年以上 (n=36)	25.0	58.3	11.1	5.6	0.0

《クロス集計》保育士：勤務年数別

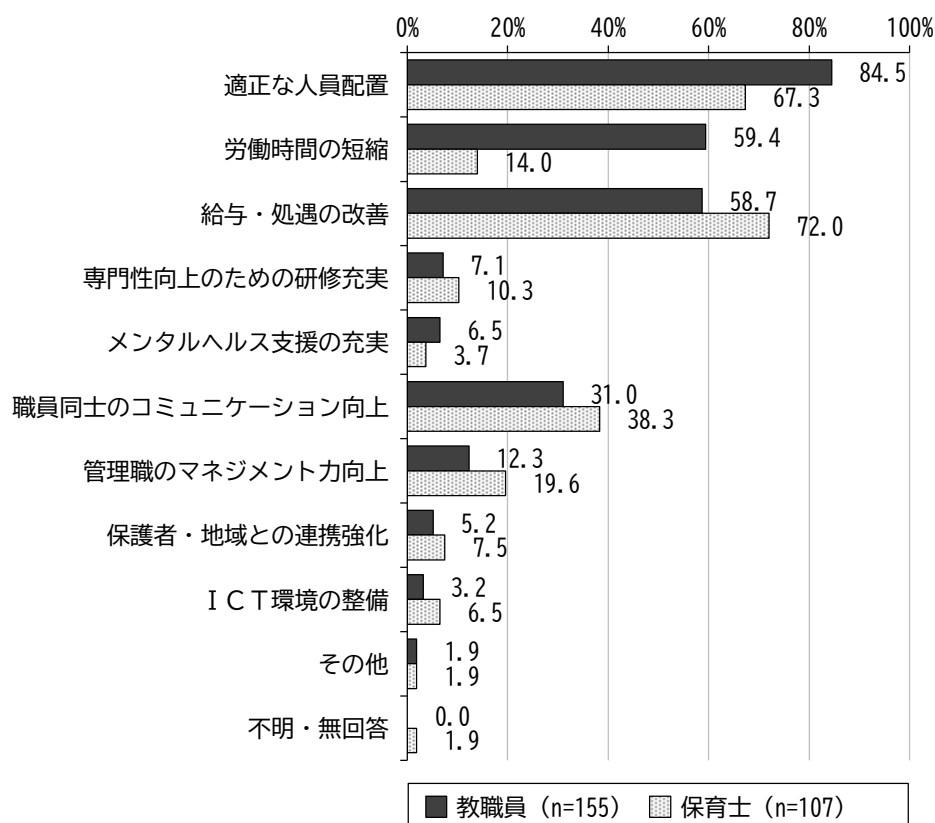
保育士の勤務年数別でみると、すべての区分で「ある程度満足している」が最も高くなっています。

単位：％		とても満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	全く満足していない	不明・無回答
全体（n=107）		20.6	62.6	15.0	1.9	0.0
勤務年数別	4年以下（n=10）	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0
	5～9年（n=14）	7.1	78.6	7.1	7.1	0.0
	10～19年（n=38）	23.7	55.3	18.4	2.6	0.0
	20～29年（n=33）	15.2	63.6	21.2	0.0	0.0
	30年以上（n=12）	41.7	50.0	8.3	0.0	0.0

問9 職場環境の改善において、特に重要だと思うことをお答えください。（3つまで複数回答）

教職員では「適正な人員配置」が84.5%と最も高く、次いで「労働時間の短縮」が59.4%、「給与・処遇の改善」が58.7%となっています。

保育士では「給与・処遇の改善」が72.0%と最も高く、次いで「適正な人員配置」が67.3%、「職員同士のコミュニケーション向上」が38.3%となっています。



【その他回答】

教職員 ・事務作業の効率化
・空き時間が少ない

・一人ひとりの仕事の責任感

保育士 ・希望保育に当たる、パート、臨時保育士の学びの場を保証すること。年齢別研修には、参加できないことが多いので、みんなに学びの場を作ること。

・休憩時間の保育要員不足

《クロス集計》教職員：勤務年数別

教職員の勤務年数別でみると、すべての区分で「適正な人員配置」が最も高くなっています。

単位：％		適正な人員配置	労働時間の短縮	給与・処遇の改善	専門性向上のための研修充実	メンタルヘルス支援の実施	職員同士のコミュニケーション向上	管理職のマネジメント力向上	保護者・地域との連携強化	ICT環境の整備	その他	不明・無回答
全体 (n=155)		84.5	59.4	58.7	7.1	6.5	31.0	12.3	5.2	3.2	1.9	0.0
勤務年数別	4年以下 (n=18)	66.7	38.9	61.1	11.1	11.1	33.3	11.1	5.6	0.0	0.0	0.0
	5～9年 (n=28)	96.4	64.3	57.1	7.1	10.7	28.6	0.0	3.6	7.1	3.6	0.0
	10～19年 (n=45)	82.2	64.4	64.4	6.7	2.2	26.7	15.6	4.4	4.4	4.4	0.0
	20～29年 (n=28)	85.7	57.1	42.9	3.6	3.6	53.6	14.3	10.7	0.0	0.0	0.0
	30年以上 (n=36)	86.1	61.1	63.9	8.3	8.3	19.4	16.7	2.8	2.8	0.0	0.0

《クロス集計》保育士：勤務年数別

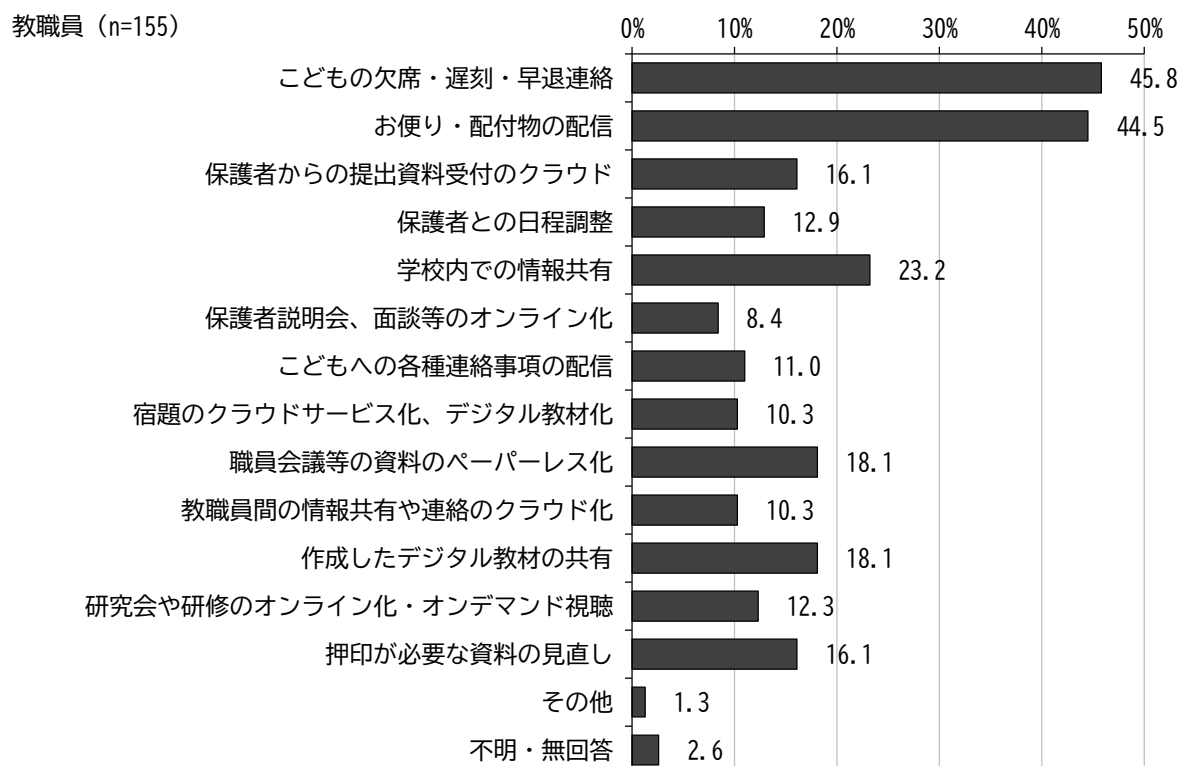
保育士の勤務年数別でみると、〔4年以下〕〔30年以上〕では「適正な人員配置」「給与・処遇の改善」、〔5～9年〕では「適正な人員配置」、その他の区分では「給与・処遇の改善」が最も高くなっています。

単位：％		適正な人員配置	労働時間の短縮	給与・処遇の改善	専門性向上のための研修充実	メンタルヘルス支援の実施	職員同士のコミュニケーション向上	管理職のマネジメント力向上	保護者・地域との連携強化	ICT環境の整備	その他	不明・無回答
全体 (n=107)		67.3	14.0	72.0	10.3	3.7	38.3	19.6	7.5	6.5	1.9	1.9
勤務年数別	4年以下 (n=10)	50.0	20.0	50.0	10.0	0.0	40.0	20.0	10.0	0.0	0.0	10.0
	5～9年 (n=14)	71.4	14.3	64.3	0.0	7.1	42.9	14.3	7.1	14.3	0.0	0.0
	10～19年 (n=38)	71.1	5.3	84.2	7.9	2.6	36.8	18.4	2.6	5.3	0.0	2.6
	20～29年 (n=33)	66.7	24.2	69.7	15.2	6.1	39.4	15.2	12.1	9.1	6.1	0.0
	30年以上 (n=12)	66.7	8.3	66.7	16.7	0.0	33.3	41.7	8.3	0.0	0.0	0.0

教職員対象設問

問10 以下の主な校務DXについて、取り組みによって業務の負担軽減が期待できると感じるもの
はありますか。(主なもの3つまで複数回答)

教職員では「こどもの欠席・遅刻・早退連絡」が45.8%と最も高く、次いで「お便り・配付物の配信」
が44.5%、「学校内での情報共有」が23.2%となっています。



【その他回答】

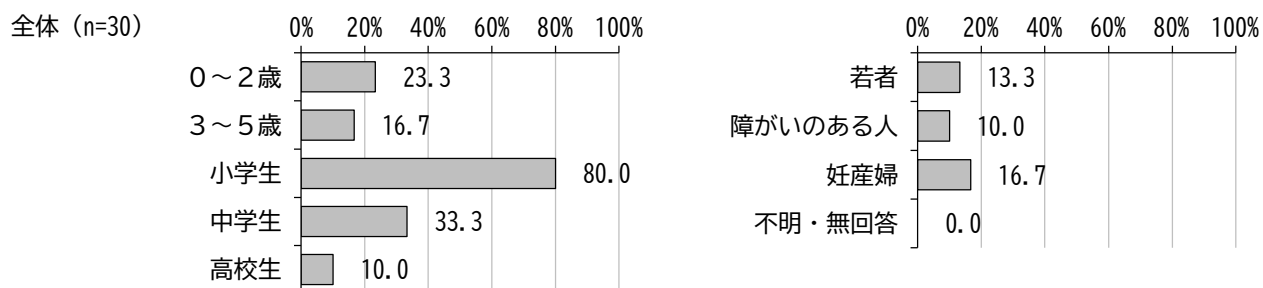
・ここに挙げられた校務DX等により負担軽減が進むとは感じません。

VI 関係機関・団体対象調査結果

1. 機関・団体について

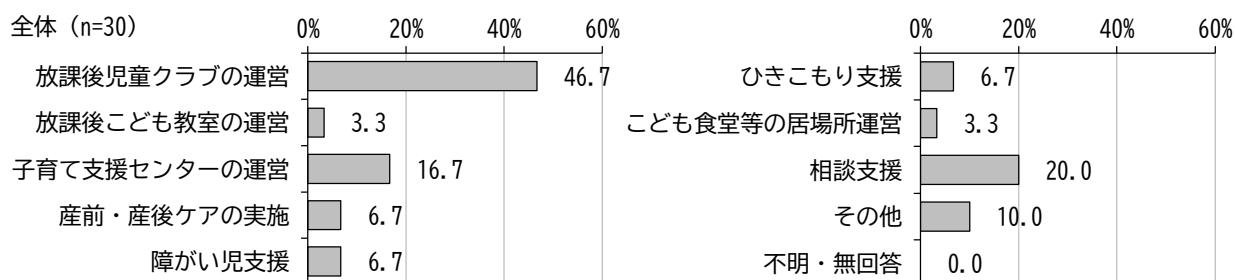
■貴機関・団体が業務で日頃接する対象についてお答えください。（複数回答）

「小学生」が80.0%と最も高く、次いで「中学生」が33.3%、「0～2歳」が23.3%となっています。



■主な活動・事業についてお答えください。（複数回答）

「放課後児童クラブの運営」が46.7%と最も高く、次いで「相談支援」が20.0%、「子育て支援センターの運営」が16.7%となっています。



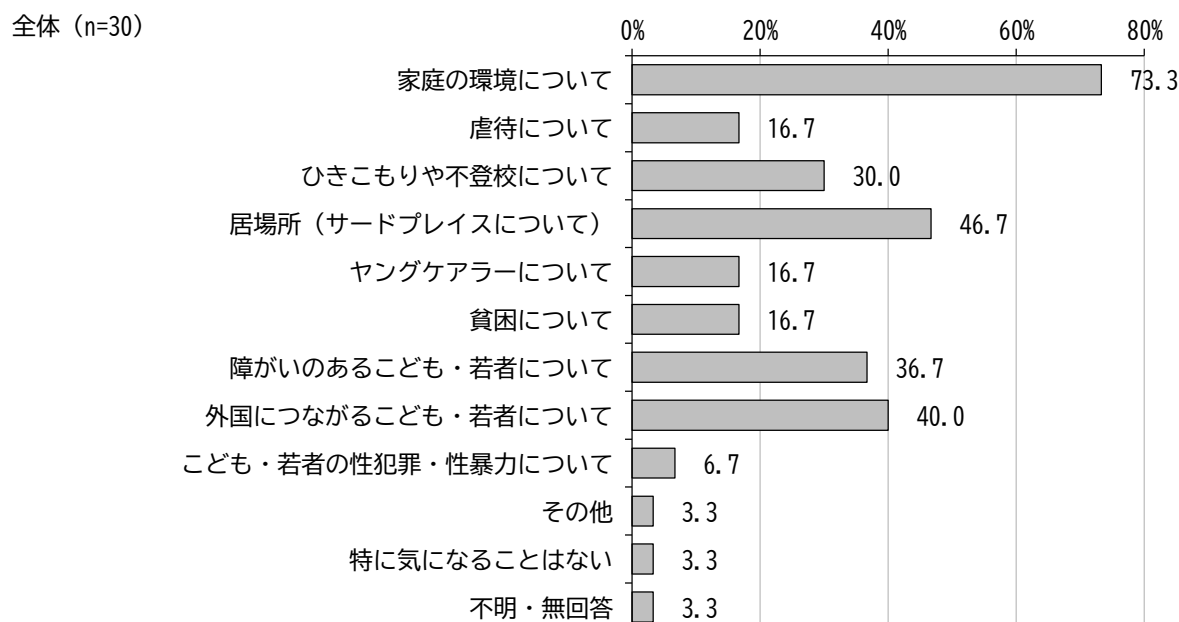
【その他回答】

- ・訪問支援、ファミリーサポートセンター事業訪問支援、ファミサポ、はあとふるリユース事業
- ・放課後等デイサービス

2. こども・若者の状況について

問1 こども・若者を取り巻く課題について、日頃の活動を通じて、こども・若者たちの様子が気になっていることがあれば教えてください。(複数回答)

「家庭の環境について」が73.3%と最も高く、次いで「居場所(サードプレイスについて)」が46.7%、「外国につながるこども・若者について」が40.0%となっています。



【その他回答】

・若者の育児不安

●上記で回答した選択肢について、具体例や問題とを感じる点等について記入してください。

【家庭の環境について】

回答内容
全般的に言える事かと思いますが、一人っ子家庭の子は特に大事に育てられていることもあり、わがままな子が多いように感じる。(2件)
家の中を子育てに適した環境に整えることが難しい家庭の支援。実際にサポートをしているが、サポートの時だけ整う。保護者に精神的疾患がある場合、改善されることは困難。子どもの成長への影響が心配される。
保護者と子どもの関わる時間が少ない
ルールの守れない保護者の躰寄せがこどもの生活や人間関係に支障をきたす
不登校の問題が生じると、それに伴って、親子関係まで壊れていく。
家族内の不和
家庭環境ではないのかもしれませんがひとり親さんや複数児童家庭で放課後児童クラブを利用していた場合、利用料金の負担が大きいので利用をあきらめる方が居ます。もう少しひとり親さんや複数児童家庭への補助があると助かるのかと思います
両親の精神状態が子どもに影響する。本人のことを両親が理解してない。

回答内容
共働き、祖父母も働いている。育休をとる保護者も多いが、子どもにゆったり関わるのが難しい
養育能力が低い家庭が増えている。保護者自身が核家族など経験が少ない中で育っており、そのような方が子育てをするため、ハイリスク家庭でなくても見守りや支援が必要な場合がある。
ひとり親家庭また両親が定職についていない
数日前の宿題のプリントや、お知らせのプリントがランドセルに入ったままの児童がいます。保護者の方がお子さんの様子を把握されていないのでは、と感じる時がある。
両親とも稼ぎの家庭が多く、子供との関りが少ない
メディアについて
保護者が精神疾患を患っていて、お金の管理や家事ができない（しない）がサービスは拒否。大人の見本が保護者なので、ゴミ屋敷状態でも片づけることをしないなど必要な習慣が備わっていない。
子どもが育つ環境をつくるために、制度や施設が充実されてきた感じはありますが、実際にこどもや若者世代の方と関わっていると、いまの親世代の子育て環境が、厳しいな（こどもの成長発達に必要な経験不足…知識や情報があるのに体験が伴わない、経済的にも教育も不安など）と思います。
保護者の中には精神疾患を抱えていたり、夫婦不仲だったりして、養育環境が不安定で、子どもに負荷がかかっている。
家庭では許してもらっていることが、外に出たら通用しない。そのため、物にやつあたりなどをする子どもがいたりする。
親が福祉サービスに任せばなしで子どもと向き合うことができない保護者が多く、子どもと親との関係性に懸念。

【虐待について】

回答内容
身体的虐待は保育園、学校、病院など関係機関で発見されやすいが、心理的虐待は分かりにくい。保護者が精神的に辛い時にいつでも発信できる関係性を築けるよう努めているが、時間外のSOSが発信しづらい。
親は子どものために思っているが、怖がらせたり脅したりして、結局は虐待となってしまう。
親の育ち、余裕のない生活で厳しいな、と思う場面があります。
学校が通告することに抵抗感は減ってきているが、通告後に家庭児童相談室に任せきりで、児相の動きが少ない。もっと児相の関与を求めたい。

【ひきこもりや不登校について】

回答内容
学校に居場所がない、話をきちんと聞いてもらえないなど、子どものことをきちんと教育が考えていく必要がある、
5年、10年前と比べて不登校への理解はすすんでいるように感じます。一方でひきこもり、特に義務教育を終えてからの方の支援は難しいと感じています。
家族間の会話ができないので、家族の理解が不足している。支援が進まない。
子供が置かれている環境を、教師と親と一緒に啓蒙しあえる環境でない

回答内容
保護者がひきこもり、不登校について保護者等の協力を得られないので進まないことが多い
不登校により、社会との接点が乏しくなり、家庭外の居場所がなく、学習権が阻害されている。家庭外の居場所や学習支援の場がさらに増えるといい。
カウンセラー業務の中では、不登校の問題は重要な問題である。件数も多い。

【居場所（サードプレイスについて）】

回答内容
世代間交流が少ない中、各世代の皆が集う事のできる場所が少ない。特に地域における居場所
土・日等に子ども同士で遊んでいる姿を見かけない。安全安心な場所（親にとって）が少ない。
クラブでは利用者以外の子も園庭には遊びに来てくれますが、学校が終わると毎日園庭に来る子がいて、真夏の暑い日や雨の日はお家に帰る様にいいですが建物の中には入れてあげられないので複雑な気持ちになります
土日祝日など遊べる場所、勉強できる場所があるといい。
学童に行くのが楽しいと思ってもらえる場所に出来たらと考える。
子どもが安全に遊べる施設や公園などが少ない。（室内施設も）
親子の居場所が少ない。公園は天候に左右されやすい。支援を必要とされる保護者、障がいを抱えるお子さんが、安心して過ごせる場所（見守ってくれる人、相談もできる）場所が必要。（利用しやすい広い場所で）
学校や家庭でうまく人間関係が取れない人には心休まる場所がない為、安心できる、素の自分を出せる場所が必要となり、居場所づくりは最優先事項にしている。
放課後等デイサービスなど福祉サービスを利用できる対象児は良いが、対象とならない児童、生徒の行き場がない
学校の教育活動についていけない子どもたちにとって、次の選択肢があるとよい。
市内に居場所が少ないので、増えるといい。

【障がいのあるこども・若者について】

回答内容
発達障がいのある子は、周りの空気を読めないことが多く、思ったことをそのまま、または思っているよりも過激に言うてしまうことがあり、他の子を刺激してしまうことがある。ある程度の期間一緒に過ごすうちに周囲の子も理解することもあるが、小学生のうちは自分の考える常識から外れる子を排除したり、攻撃しようとしてしまうことも多い。発達障がいの子とその周囲には、常に目をくばっておく必要があるが、他に問題が発生すると、注視できないこともある。
障がいがある子どもの18歳からの預け先、障がいがある子どもの将来の就職先、賃金
研修機会がコロナ禍以来減ってしまった。こどもたちの間で上手く関われない事が多い
特別支援学校の高等部の生徒の卒業後の進路は、ここ5年で、一般就労の増加など、良い方向にあるように感じています。ただ一度、退職をしてしまうと、高校ほどのサポートは受けられないような感じがしています。

回答内容
クラブには障害ではなく少し発達が心配なお子さんが居ます。保護者さんによってはその都度一緒に考える事できる保護者さんもみえます。小学校の先生にも相談できますがグレーゾーンと呼ばれる子が増えている様な気がします。
引きこもりの原因のひとつとして障がいがある。そのことを理解するのが難しい。
周りから理解されにくい子が増えており、ハンデを持っている人がきちんと伝える事、周りの人が理解して配慮する環境が必要。

【外国につながるこども・若者について】

回答内容
外国籍児童も利用して頂いてますが、すぐに通訳できる方がそばにいたら助かります。
いなべ市においても、外国人が増えており住民との考え方の違いがある。
外国にルーツのある子についても、日本の慣習と離れた言動があったりするため、周囲から浮きやすい。仲間外れにされたと感じる時もあるようだ。こちらも気をつけて見守っている。
日常会話は問題なくても、困ったときの相談のときの言語力には不安があるように感じます。
食べ物、日常生活で日本との文化の違いから生活に馴染めない子どももいる。
クラブでは宿題も一緒にしますが外国籍さんは漢字が苦手だったり算数の文章問題やかけ算の九九を覚えるのが一苦労です。保護者さんによってはコチラで育った方もいてご自分が苦労されたので、お子さんには一生懸命お勉強させる方も見えますが、保護者にも子ども自身も遊びたい気持ちが優先されてしまって苦手なお勉強をがんばろ！と言う私たちの言葉は届きません。この先どんどん勉強が難しくなるのに心配です
発達検査や医療に関する専門用語や制度の事は翻訳アプリでは伝わらず、「はい」の返事で支援者側が理解したと思ってしまいがち。

【その他】

回答内容
第一子の若者世代の妊産婦さんが育児に悩み、孤立しやすい。親以外に頼れる人がいない、親も働いているなどの理由で、SNSに頼りがちになり、より不安を抱えている。

3. こども・若者に対する支援の状況・課題について

問2 こども・若者やその家庭に対して、具体的にどのような支援を行っていますか。

回答内容
それぞれの特性に合った支援を心がけている。(2件)
子供たちに食育を通して、食べる事の重要性を認識してもらうために子供食堂を運営しています。
妊産婦さんへの支援は産後ママサポート。子育てで頼れる人がいない家庭には、ファミリーサポートセンター事業。生活困窮者、ひとり親、子育てが大変な家庭に訪問支援事業。お子さんの発達が心配な家庭に障がい児子育て支援事業。その他、子育て全般の相談を、利用者支援事業。子ども服、ベビー用品などの交換会(はあとふるリユース)などの活動をさせて頂いている。
「子ども達の居場所づくり」として、工作や料理教室、芸能等、多様な講座を開催し、いろいろな体験ができる機会を作っている。教室へ送迎してくれる親達との会話の場づくりを始めている。なかなか進まないが、親の気持ちもほぐれる場づくりも進めていきたい。
働く保護者を支援
ひとり親家庭補助、複数児童家庭の補助
カウンセラーとして、面談等を行いながら、来談者が考えを整理して、心理的に安定できるようにと努めている。
話をきいてやる、思いっきり遊ばせる
こども同士のトラブルについては、当事者、関係者の話を丁寧に聴いて、どちらか一方を悪いと決めることはなく、相手の事情も伝え、双方で「ごめんなさい」を言わせるケースが多い。しかし、相手の事情や気持ちを伝えるだけで終わる場合もある。主に上級生が仲裁に入る場合もあり、それを見守ることもある。私たちが気付かぬうちにその仲裁が終わり、その仲裁者から報告を受けることもある。基本的に保護者に支援や助言等を行うことはしていない。しかし、こどもの特異な行動やトラブル時の言動については、支援員の判断で伝えている。保護者からの問い合わせや改善要求には、丁寧に対応している。
昨今は共働き家庭が多く中にはシングルの方もあり子どもを安全に預かれる施設の一つとして子ども達が楽しく過ごせる場として遊びを提供したり制作の材料を与えたりして遊びが広がるように工夫をしている。
子どもの居場所作り、リフレッシュや気分転換、集団でのほかの人との接し方や社会性や人間関係の構築、余暇活動。家での困りごとの相談や将来についての相談など。
相談業務
放課後、保護者就業中又はひとり親家庭などの児童の預かり。安心、安全な居場所の提供をしています
訪問し伴走型の支援を実施している。
学校の下校からお迎えまで安全にお預かりする。
安心、安全に過ごせる、遊べる場の提供
家庭訪問や電話連絡、面接による具体的な育児の仕方の提供。
支援かどうか分からないが学童にいる時間内に安心安全に暮らせることが第一と考えられる
気になる事がある場合は、保護者の方にその旨を伝えて、解決策を考えて頂く。こちら側もいっしょに解決策を考える。
学童支援

回答内容
学習支援、挨拶などに対する礼儀、社会学習
チラシ配布
家庭訪問、学校へ福祉制度、サービスの情報提供
育児不安と向き合う、こどもの成長発達に関する情報提供など
こどもや家庭を学校や関係機関につないだり、思いを表明してもらう支援。
施設や遊び場の提供。子どもや大人も楽しめるイベントの提案と実施。必要性があれば個別に相談やお宅訪問。他機関との連携もあり。

問3 貴機関・団体の支援対象となるようなこども・若者及びその家庭に対するアプローチについて、工夫されている点がありますか。また、課題となっている点がありますか。

回答内容
すべての世代に参加して欲しいが中々上手くいきません。子供食堂に一般に食べにいけないと考える人がいるため、参加者などに周知して貰っています。Instagramを活用してもあります。
SNSでの発信、通信の発行の周知。また、子育て支援センターに赴き、対面での紹介。関係機関の活動を紹介など。未就園児家庭へは広く周知されていると思うが、支援が必要とされている保育園、学校のお子さんのいる家庭にしっかり周知されているかどうか分かりづらい。(特に中・高生のこどものいる世帯)活動内容の理解と周知を広く展開する方法を検討していきたい。
こどもゆめ教室へ送迎する親(保護者)の意見等を聞く場づくり。親同士の交流ができる場づくりを模索している。その一つに、ベルマーク集めを昨年から始めた。
チラシ
緊急時のA IやSMSの活用、アナログな紙ベースのおたより
問題が軽微なうちにカウンセラーや専門機関につながって、組織的な動きの中で解決できるように心がけている。
よく話を聴くことに留意し、早急に判断しないようにしている。こどもには、できるだけびのびと過ごしてもらおうと考えているが、他の子に迷惑がかかったり、影響を受けて集団としての收拾がつかなくなるといけないので、判断に迷うことがある。家庭の教育方針に口を挟むような言い方を避けながらも、こちらが困っていることを伝えるようにしている。この加減も難しい。
提出物の期限が守られていない家庭があったりするのでその都度声掛けをしたりしているが中々難しいかだいではあります。
とことん話を聞く。子どもの言葉に耳を傾け気持ちに寄り添っている。
相談者が相談しやすいような雰囲気づくり。
放課後児童クラブは年間通しての利用になりますので、毎年1月頃新1年生(保育所)小学校1.2年生に案内を配布しています。その後2月に説明会を開催しています。
たとえ会えなくても継続して訪問する。
子どもを安心して預けれるよう、保護者との信頼関係を大切にする。
関係機関との連携。利用のない家庭へは、おたより配布時に声をかける等の工夫をしている。
タイムリーな支援を心がけており、支援者から相談があった際には即支援、即訪問を心掛けている。
少人数で対応できている。高齢者との触れ合いができる。

回答内容
家庭訪問のきっかけとして、学校の事務員と情報交換したり各委員会に出席し情報交換をする。
地域との連携を深め、世代を越えた交流ができるよう試行錯誤している。地域に理解者が増えるよう、便りや口コミでアピールしている。課題は、そればかりできない(他にもやらなければいけないことが山ほどあります)ことです。
当事者から得られた情報提供を抱え込まず、了解の得られた範囲で、関係者と情報共有している。
その日にあった出来事など指導者同士でも共有して、良い事は誉める、悪事には同じ過ちを繰り返さないよう話しかける。保護者には伝えるべきか相談してから伝える。
家庭の都合になるべく合わせ、家庭に負担がないようなアプローチをしている。連絡が取れない家庭などは他機関にも協力してもらい、家庭の安否も確認している。

問4 支援活動をする中で、つなぐ支援機関や紹介・活用する支援制度はどのようなものがありますか。

回答内容
地域食堂（2件）
三重県子供課との関わり。県社会福祉協議会を通じての研修会、マッチングの活用
関係する行政機関、子育て支援センター。リンク。いなべ10。
員弁町内、小・中学校、保育園とは、長年、地域教育力会議を開催し、交流を持っている。教室運営に関わってくれる方に民生委員もいる。
ファミリーサポート
いなべ市発達支援課、員弁総合病院が受け入れられない保護者には個人開業の医療機関
最近事例がないが、数年前までは、発達障がいを抱える子について、放課後等デイサービスを紹介したり、保護者の了解を得てデイサービスの支援員に相談したりすることもあった。また、発達支援課や学校教育課に照会し、保育上の注意点をきくこともある。ひとり親については、児童扶養手当受給状況を尋ね、利用希望の有無を尋ねることもある。
校区内での施設の慰問などを通じて繋がりを深めて行きたい。
本人にあった場所があれば提案し、子どもにとってプラスになるようにできる範囲内で行っている。
いなべ市各担当課
小学校、チャイルドサポート、ファミリーサポート、いなべ市の各放課後児童クラブとは連携しています
専門的な医療相談やカウンセリングにつなげる。生活困窮者は生活支援課につなげる。
こども活動支援、あそびの支援
母子保健課、保健師、栄養士、家庭相談室、発達支援課、ファミサポ、こどもパレット、ママサポート
庁舎内関係機関、子育て支援センター、医療機関、教育機関等
常に学校や市役所などと連携をとらなければならない
ファミサポ、産後ケア
社協、子ども家庭支援課、ファミサポ、病院、放課後等デイサービス、相談支援事業所
公的機関に相談し、情報共有しながら専門機関を案内する。
教育支援センター、家庭児童相談室、発達支援課、ヴェリタス、縁
育児相談、ファミサポ、こどもの発達に関する療育機関

問5 支援活動をする中で、いなべ市の中で足りていないと感じる社会資源、取り組みはありますか。

回答内容
食堂を開催する場所がない。大安町です。自治会館を借りるにもコストがかかります。
子育て家庭・若者が自由に集える場所。(遊ぶ・集う・活動するなど)。支援が必要な家庭に配慮されたスペースも。フードパントリーやはあとふるリユースのような取り組みのスペース。
夏休み等、長期休暇の時の子どもの居場所。特に中高生が宿題したり、話をしたりとくつろげる場所。(例:旧員弁庁舎のJAバンクの東のスペースを開放して欲しい)
会社側がもっと子育てに優くなれば良いと思います。
職員の福利厚生、処遇改善の為の人材不足や人材派遣
読み書きや算数に関わるアセスメントについて、検査ができる人をもっと増やして、身近な方法として受けられるとよい。学習で困っている子どもたちが多くいる。また、作業療法士が学校教育の中に位置付くと、もっと適切な教育がなされるようになると考えられる。
お金のかかることなので、贅沢は言えないが、利用している施設が老朽化しているので、補修などをして欲しい。電化が進んでいるので電源のコンセントを増やしてもらおうとありがたい。こどもが安心して遊べる場所が減ってきていると感じるが、こども自身の遊びの傾向も変わってきているので、無理に増やしても利用してくれないかもしれない。
手厚いサポートが必要な子に対する支援。保護者が子どもと向き合う環境などの機会。
害獣対策
中高生、学生、社会人～の図書館などの自習室。運動したい人のための取り組みのアピール。
地域の見守り支援
全国で定められている敷地部屋の大きさではいっぱい遊べない。
居場所
取り組みはいまのところ十分だと思います。増やすことより、今の取り組みの中身を見直したり、充実した方がよいと思います。
こどもの居場所、学習支援の場（ひとり親家庭や貧困家庭以外で使えない）

問6 他機関・団体や市（教育や福祉等）との連携において、どのような課題がありますか。また、連携したいと考えている機関等がありますか。

回答内容
教育委員会
現在、子育て支援センター、保育園との連携はしているが、今後とも、中・高生の家庭の困り事を理解するために、学校・教育関係の機関との連携が必要と考える。
各地域にある公民館・自治会を子どもに開放できる方法はないか？
現場を把握した、補助金制度が実施されていない気がします。
教育委員会、発達支援課、こども政策課
対応する職員の数を増やして、迅速に敏感に対応できるようになるとよい。

回答内容
利用申込書や情報共有承諾書を受け取る前の段階で、その子にどのような特性があり、特別な支援が必要なのか、そもそも当方で受け入れ可能な子なのかがわかるとありがたい。どうしても申込書、承諾書を受け取ってからは受け入れを断りにくい。預かってみないと分からないという状態。共有の承諾書を先にもらって照会をかけるのが常道だとは思いますが、手間の関係で申込書と同時にになってしまう。申込以前に発達支援課や学校教育課、学校から情報をいただけるとありがたい。
他の地区の児童クラブとの関わりを持つきっかけがあればと思います。
学校の先生とのつながり、情報交換。
周知が足りないのか連携が進まないと感じる時がある。自助努力が必要。
担当者の異動により、お願いしていたことが難しくなることがあった。
学校の道具、運動場など学童にはないものなどを日にちを決めて遊べたらと思います。
公共施設（図書館・街中博物館等）への見学
相談支援事業所を利用できない児童、生徒の関わりで司令塔となる人がいない。それぞれの支援になっている。
市民の方、ボランティアの方に周知し、協力し合えたらベストなのですが、思うようには理解者を増やすことが難しいです。

問7 支援活動をする中で、支障となる課題はありますか。

回答内容
指導員の確保（2件）
開催場所と荷物の保管場所。事務をする人材の育成
夕方に活動できるサポーターの不足。
少子化
縦割り行政
知能検査を受けさせたいのに、受けられるまでに期間が空きすぎる。
施設の間取りが狭くて子ども達の遊びに制限があり伸び伸びと遊べない。
大量に発生する猿。外での活動ができなくなる時がある。
施設の維持管理、指導員の人員不足（時期により）、入所希望者の定員問題
発達が他の子より、かなり遅い子の対応
職員も最低限の人数の為、外出支援が困難であったり、高齢者との兼ね合いで人数に制限がでる
家庭、保護者の考え
評価や効率、結果重視の支援になりがちなタイプの方もいるので、支援や福祉に携わる人は、懐深くみることができる人である方を望ましいと思っています。中身を重視できる人が少ないと感じます。

4. 市での取り組みについて

問8 更なるこどもの施策の充実のために、市が取り組むべきと考える支援・制度・連携等について、ご意見、ご要望がありましたらご記入ください。

回答内容
金銭だけでなく、研修、意見交換会の実施。食材の斡旋。子供達を大事にする活動をする人材の育成
正規職員での共働き家庭が増え、病児・病後児保育が必要と考えます。市外病院との連携はあるが、利用者にとっては、遠くて利用しづらい。発達が心配な子ども・児童・若者の家族が、気軽に相談に来られる場所が行政の窓口ではなく、子どもが遊べるスペースが独立して確保されていて安心して居られる場所があると良いと思う。平日の9～5時ではなく、この時間外。土日祝に行政サービスを受けられるような制度があったら良いかと思います。
柔軟性を持った補助金制度。一律ではないそれぞれ現場にあった制度。
おとなが見本となる。こどもの施策の為の色々な会議に参加する機会があるが、モラハラ、パワハラ、セクハラな発言が目にする。おとなが歪み合わず、足を引っ張らず、幸せな姿で子どもたちは将来の自分に希望が持てる。
発達障害を対象とする通級指導教室を学校に1教室ずつ設置してほしい。実際に、教室が設置された学校では、以前に比べて柔軟に前向きに対応できている。
保護者と子どもが向き合う取り組み。ハンデのある子が学校になど自分の思いを伝えられる環境。
もう少し給食を改善してほしいです。他市と比べ、ここだけはやや改善の余地ありと思います。
それぞれの放課後児童クラブの現状を平等に見てほしい
子どもの社会であるがいじめのない社会としてほしい。
保育所、学校、学童、学びの家それぞれが家庭と密にし困り事を出し合い解決できるように願う。
学校の先生方は、子どものことだけでなく、家庭の課題に時間を費やしている時間が多くを占めていると感じます。子どもの事に専念してもらえよう専門職の配置
市として取り組むのであれば、人材育成とサポートする側として適正な人、人数の確保が必要だと思います。
医療連携の更なる充実
勤め先に来館される母達からは、小学校の学童についての意見がよく聞かれます。職員体制のこともあると思いますが、小学校6年までみてもらいたい、年度途中からの利用もしてもらいたい、などの意見が多いです。

問9 最後に、こどもが自分らしく、権利を守られながら幸せに成長していくためには、どのようなことが大切だと思いますか。ご自由にご記入ください。

回答内容
子供達が自由に活動できる場所の提供。何がしたいのかを私たちを含めて見つめ直すこと。
一番大事なことは、社会全体が「こどもが自分らしく、権利を守られながら幸せに成長できる社会へ」との認識で、あらゆる事が進んでいくこと。大人が自分には何ができるか・考えられること。そこへの幅広い啓発が必要だと思います。それは、家庭であり、職場であり、子育てに関わる専門家であり、いろんな「今いる自分の立場」で意識していけたらと思います。
貧困の格差をなくし、親の生活の安定が一番大事。一人親家庭への十分な支援。子どもの医療費、保育料、給食費等、18歳までの教育費はすべて無料とする。特に、学童保育料は一人親家庭は、完全無料化を。
保護者との関わる時間が増えない限り、将来の子どもが心配
こどもの世界はきれいごとでは無い。ひとりひとりが大切にされていることを実感できる経験が大事。また、関わるおとな達の時間的、精神的、金銭的な余裕がないと穏やかに接することはできないのでは？こどもに媚びうる事なく、正しい経験をしてほしい。
発達の再近接領域が意識され、エリクソンのいう発達段階が大切にされる学校教育の実現です。学校と家庭、連携する機関にその意識が共有されることで、子どもの主体的な育ちが促されると考えられます。
学校、家庭、社会で管理し過ぎないように、子供の自発性を伸ばして欲しい。
やはり家族の愛情に包まれて成長する事が大切だと思うので一人親家庭への支援。虐待などを早期に発見して対策をする事が大事だと思います。
子どものことを第一に考える社会。子どもにとっては学校は住んでいる場所で決められ、先生も選ぶことができない中で子どもの成長をしっかりと考える必要がある。そのような状況できちんと子どものことを考えていく環境が必要。子ども優先にしていくことが必要。
表現の自由、ゲーム、ネット以外の遊びの充実
私たち支援員、指導員は寄り添って見守るのが仕事ですが、子ども達はもちろん、保護者とも沢山お話しして沢山遊ぶ沢山笑う事だと思います
一人ひとりを尊重し信じてあげることが大切だと思います。
放課後児童クラブの場所を増やし、人材の確保をする。家庭、地域等との連携で、発達段階に応じた主体的な遊びや生活。児童の自主性、社会性、創造性の向上、基本的な生活習慣。放課後に適切な遊び、生活の場の環境を整える。
習い事だけでなく、いろんな経験をさせてあげられる環境作りが大切だと思います。
発言する場、意見を求められる場の保証。育つ場の保証として、衣食住が安定していること。安定していない場合は、市や地域が見守る仕組みがあることが大切だと思う。
まずはご家庭での親子の繋がりを基に、ご家庭と学校側でコミュニケーションを取りつつ、学童保育や地域の方の見守りの中で、一人一人の児童が成長して行く事が望ましいと思います。
家庭支援や学習支援や生活支援または食支援が大切
地域の人とも巻き込みながらみんなで楽しんで子育てしていく。
解決できないこともたくさんある社会で、いかに支えや役割を見つけることができるかが大切な事の1つと考えます。そして、漠然としていますが、子どもたちが生きづらくない社会になったらいいと感じます。

回答内容
不適切な対応がないか、市や地域で見守る体制ができていたり、子育て家庭が孤立しないように支援することがまず一歩かと思います。あと、こどもが存分に遊べる施設(子育て支援センターだけでなく、公園や海南こどもの国のような施設…駐車場がたくさんあって、気軽にコストも押さえながら大人も子どもも楽しめる場所など)があると、充実するのではないかなと思います。
子どもの意見に耳を傾け意見が、いえる環境を作る
こども自身が自分にどのような権利があるのかを知り、大人はその権利を実現するように支えること。
物事の良し悪しを子供達で考えることを増やしたい。頭ごなしに押さえつけるのではなく、子供の想いに寄り添い共に考え、成長してもらうよう導く。
こどもが自分らしくいられるのは、保護者の安定なのかなと感じます。こども園やその他機関でも全てを受け入れるのはできなくても保護者支援の充実があればこどもの心身も自然と安定するのではないかと思います。

いなべ市
こども計画に関するアンケート調査
結果報告書

発行：いなべ市 健康こども部 こども政策課
TEL：0594-86-7821
FAX：0594-86-7864

発行年月：令和7年11月